

重層的支援体制整備事業のための福祉事業等

意向調査及び鳩山町障害者福祉計画

策定のためのアンケート調査

調査結果報告書(概要版)

令和5年2月

鳩山町



## 目次

I 調査の概要.....	1
II 調査結果.....	2
1. あなたご自身について.....	3
2. あなたの生活について.....	20
3. 健康、医療について.....	27
4. 日中の過ごし方について.....	35
5. 外出について.....	52
6. 重層的支援体制整備事業について.....	60
7. 福祉サービスについて.....	77
8. 地域との交流について.....	90
9. 防災対策について.....	92
10. 権利擁護について.....	100
11. 介助者について.....	105
12. 自由記述.....	120
資料 調査票.....	127
用語ガイド.....	143



## I 調査の概要

### I 調査の概要

#### 1)目的

本調査は、困りごとがある場合にすべての人が気軽に相談でき、複合化・複雑化した相談を受け止める重層的支援体制の充実と「第3次鳩山町障がい者福祉計画」を策定するため、町民の福祉に対する意識などの実態把握と計画策定の基礎資料として活用するためにアンケート調査を実施しました。

#### 2)調査の対象及び調査方法

対象者	調査方法	調査期間
鳩山町内に住所を有する身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方	郵送による配布、回収	令和4年11月14日 ～11月30日

#### 3)回収率等

対象者	対象者数	有効回収数	有効回収率
障がい者調査	657人	341通	51.9%

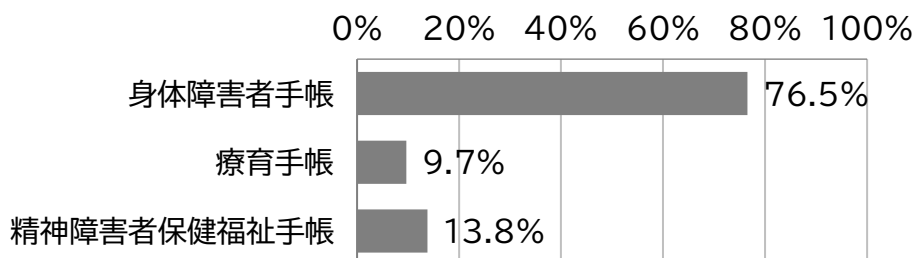
#### 4)報告書の見方

- ①単数回答の設問における各選択肢の回答割合(構成比)は、非該当者を除いた回答者数「n」(当該設問での該当者数)を基数とした百分率(%)で示しています。  
各数値は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、構成比の合計は100%にならないことがあります。
- ②複数回答の設問における各選択肢の回答割合(比率)は、非該当者を除いた回答者数「n」(当該設問での該当者数)を基数とした百分率(%)で示しています。したがって、比率の合計値は100%にならない場合もあります。
- ③図や表、本文では、選択肢の一部や数値の一部を省略している場合があります。
- ④記述式回答および「その他」に記述されていた文章については、誤字等の軽微な修正にとどめ、内容面の修正は加えていません。

## II 調査結果

### 調査票の種別

回答者の障害者手帳の種別については、「身体障害者手帳」が76.5%、「療育手帳」が9.7%、「精神障害者保健福祉手帳」が13.8%となっています。

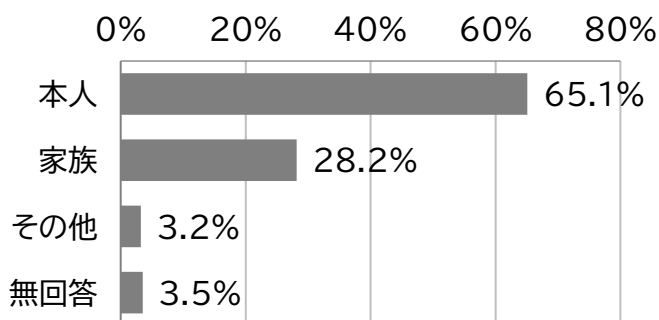


項目	件数	構成比
身体障害者手帳	261	76.5%
療育手帳	33	9.7%
精神障害者保健福祉手帳	47	13.8%
合計	341	100.0%

### 問1 このアンケートにご記入いただく方はどなたですか。

(該当する番号1つに○をつけてください。)

記入者については、「本人」が65.1%で最も多く、ついで「家族」が28.2%となっています。障がい別にみると、身体障がい者で「本人」が65.1%で多く、知的障がい者で「家族」が57.6%で多く、精神障がい者では「本人」が89.4%で多くなっています。



項目	件数	構成比
本人	222	65.1%
家族	96	28.2%
その他	11	3.2%
無回答	12	3.5%
合計	341	100.0%

### 【問1 その他の記述】

- 成年後見人
- 施設の長 ×3件
- 施設職員 ×5件
- 入所施設相談員

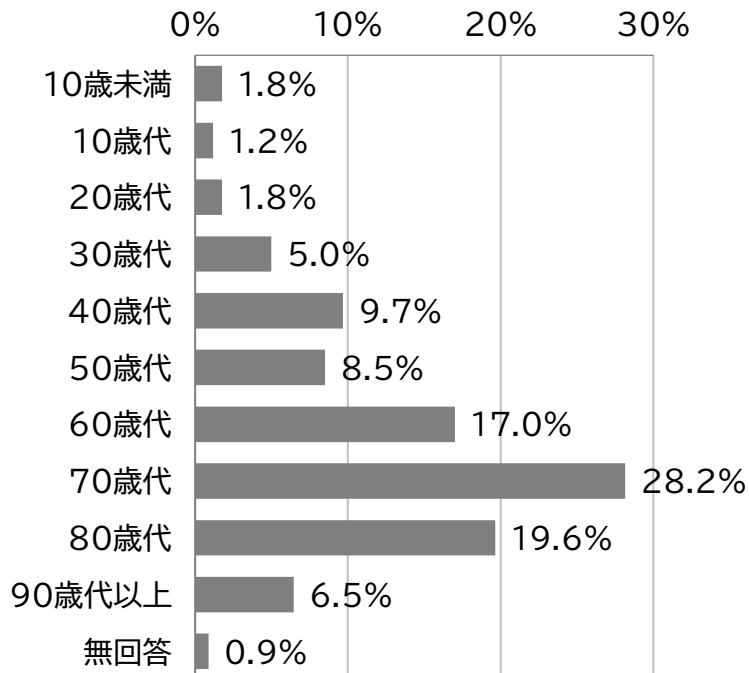
項目	本人	家族	その他	無回答	合計
身体障がい者	170	73	7	11	261
	65.1%	28.0%	2.7%	4.2%	100.0%
知的障がい者	10	19	4	0	33
	30.3%	57.6%	12.1%	0.0%	100.0%
精神障がい者	42	4	0	1	47
	89.4%	8.5%	0.0%	2.1%	100.0%

## 1. あなたご自身について

問2 あなたは何歳ですか。 ※「あなた」とは、宛名の方のことです。

年齢については、「70歳代」が28.2%で最も多く、ついで「80歳代」が19.6%、「60歳代」が17.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「70歳代」が34.1%で多く、知的障がい者では「40歳代」が30.3%で多く、精神障がい者では「40歳代」が25.5%で多くなっています。



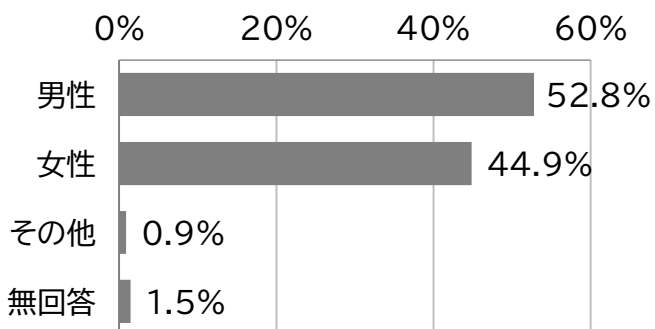
項目	件数	構成比
10歳未満	6	1.8%
10歳代	4	1.2%
20歳代	6	1.8%
30歳代	17	5.0%
40歳代	33	9.7%
50歳代	29	8.5%
60歳代	58	17.0%
70歳代	96	28.2%
80歳代	67	19.6%
90歳代以上	22	6.5%
無回答	3	0.9%
合計	341	100.0%

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
10歳未満	1	0.4%	5	15.2%	0	0.0%
10歳代	3	1.1%	1	3.0%	0	0.0%
20歳代	0	0.0%	3	9.1%	3	6.4%
30歳代	5	1.9%	3	9.1%	9	19.1%
40歳代	11	4.2%	10	30.3%	12	25.5%
50歳代	15	5.7%	3	9.1%	11	23.4%
60歳代	46	17.6%	4	12.1%	8	17.0%
70歳代	89	34.1%	3	9.1%	4	8.5%
80歳代	66	25.3%	1	3.0%	0	0.0%
90歳代以上	22	8.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	3	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

**問3 あなたの性別は。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

性別については、「男性」が52.8%、「女性」が44.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「男性」が49.8%「女性」が45.3%となっています。知的障がい者では「男性」が63.6%、「女性」が33.3%となっています。精神障がい者では「男性」が55.3%、「女性」が44.7%となっています。



項目	件数	構成比
男性	180	52.8%
女性	153	44.9%
その他	3	0.9%
無回答	5	1.5%
合計	341	100.0%

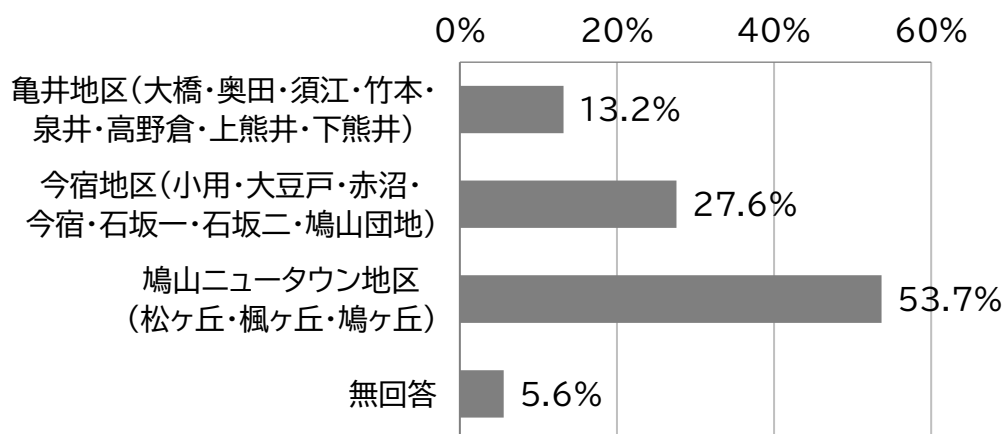
項目	男性	女性	その他	無回答	合計
身体障がい者	133	121	2	11	267
	49.8%	45.3%	0.7%	4.1%	100.0%
知的障がい者	21	11	1	0	33
	63.6%	33.3%	3.0%	0.0%	100.0%
精神障がい者	26	21	0	0	47
	55.3%	44.7%	0.0%	0.0%	100.0%



**問4 あなたが住んでいる地域はどこですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

住まいの地域については、「亀井地区」が13.2%、「今宿地区」が27.6%、「鳩山ニュータウン地区」が53.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「鳩山ニュータウン地区」が55.6%で多く、知的障がい者では「今宿地区」が45.5%で多く、精神障がい者では「鳩山ニュータウン地区」が61.7%で多くなっています。



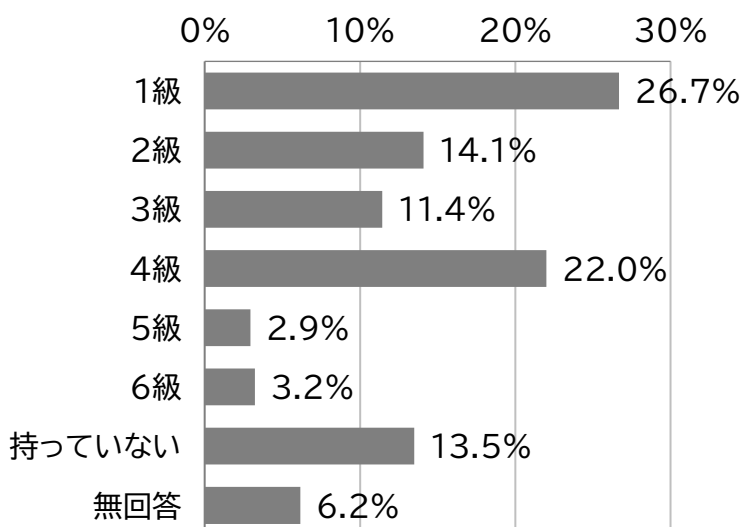
	件数	構成比
亀井地区	45	13.2%
今宿地区	94	27.6%
鳩山ニュータウン地区	183	53.7%
無回答	19	5.6%
合計	341	100.0%

項目	亀井地区	今宿地区	鳩山ニュータウン地区	無回答	合計
身体障がい者	37	65	145	14	261
	14.2%	24.9%	55.6%	5.4%	100.0%
知的障がい者	5	15	9	4	33
	15.2%	45.5%	27.3%	12.1%	100.0%
精神障がい者	3	14	29	1	47
	6.4%	29.8%	61.7%	2.1%	100.0%

問5 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

身体障害者手帳の種類については、「1級」が26.7%で最も多く、ついで「4級」が22.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「1級」が34.5%で多く、知的障がい者及び精神障がい者では「持っていない」が多くなっています。

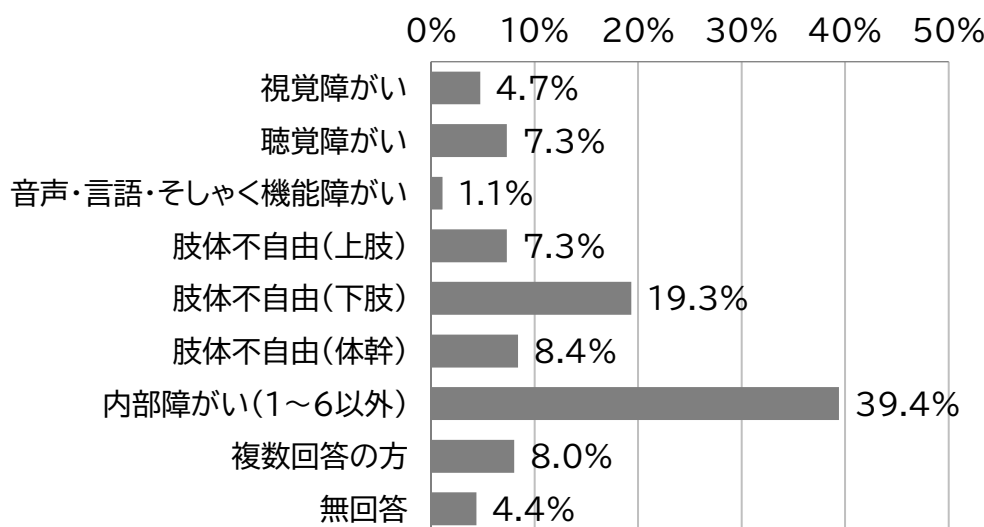


項目	件数	構成比
1級	91	26.7%
2級	48	14.1%
3級	39	11.4%
4級	75	22.0%
5級	10	2.9%
6級	11	3.2%
持っていない	46	13.5%
無回答	21	6.2%
合計	341	100.0%

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1級	90	34.5%	0	0.0%	1	2.1%
2級	30	11.5%	2	6.1%	16	34.0%
3級	35	13.4%	1	3.0%	3	6.4%
4級	75	28.7%	0	0.0%	0	0.0%
5級	10	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
6級	11	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
持っていない	5	1.9%	21	63.6%	20	42.6%
無回答	5	1.9%	9	27.3%	7	14.9%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

問6 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(該当する番号1つに○をつけてください。)

身体障害者手帳の主たる障がいについては、「内部障がい」が39.4%で最も多く、ついで「肢体不自由(下肢)」が19.3% となっています。



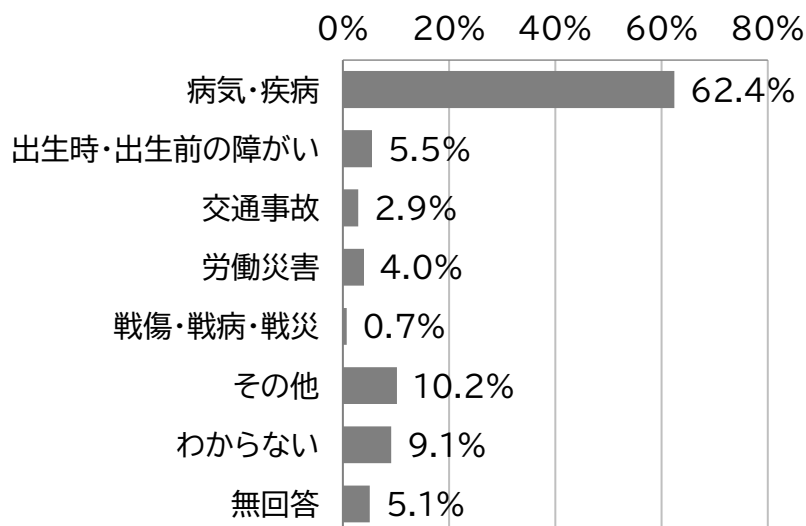
項目	件数	構成比
視覚障がい	13	4.7%
聴覚障がい	20	7.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	3	1.1%
肢体不自由(上肢)	20	7.3%
肢体不自由(下肢)	53	19.3%
肢体不自由(体幹)	23	8.4%
内部障がい(1～6以外)	108	39.4%
複数回答の方	22	8.0%
無回答	12	4.4%
回答者数	274	100.0%
非該当	67	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
視覚障がい	13	5.2%	0	0.0%	0	0.0%
聴覚障がい	20	8.0%	0	0.0%	0	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
肢体不自由(上肢)	20	8.0%	0	0.0%	0	0.0%
肢体不自由(下肢)	53	21.1%	0	0.0%	0	0.0%
肢体不自由(体幹)	23	9.2%	0	0.0%	0	0.0%
内部障がい(1～6以外)	95	37.8%	1	33.3%	12	60.0%
複数所持回答	22	8.8%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.8%	2	66.7%	8	40.0%
回答者数	251	100.0%	3	100.0%	20	100.0%
非該当	10	-	30	-	27	-
合計	261	-	33	-	47	-

問7 身体障がいの原因は、次のうちどれにあたりますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

身体障がいの原因については、「病気・疾病」が62.4%で最も多く、ついで「出生時・出生前の障がい」が5.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「病気・疾病」が64.5%（162件）で多く、知的障がい者では「わからない」が1件、精神障がい者では「病気・疾病」が8件となっています。



項目	件数	構成比
病気・疾病	171	62.4%
出生時・出生前の障がい	15	5.5%
交通事故	8	2.9%
労働災害	11	4.0%
戦傷・戦病・戦災	2	0.7%
その他	28	10.2%
わからない	25	9.1%
無回答	14	5.1%
回答者数	274	100.0%
非該当	67	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
病気・疾病	162	64.5%	0	0.0%	8	40.0%
出生時・出生前の障がい	15	6.0%	0	0.0%	0	0.0%
交通事故	8	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
労働災害	9	3.6%	0	0.0%	2	10.0%
戦傷・戦病・戦災	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
その他	25	10.0%	0	0.0%	2	10.0%
わからない	22	8.8%	1	33.3%	3	15.0%
無回答	8	3.2%	2	66.7%	5	25.0%
回答者数	251	100.0%	3	100.0%	20	100.0%
非該当	10	-	30	-	27	-
合計	261	-	33	-	47	-

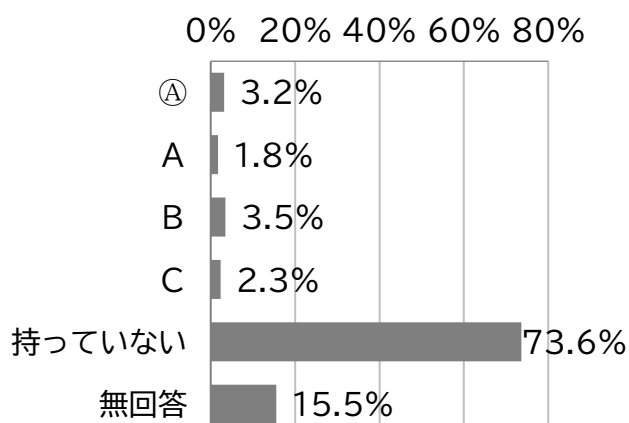
### 【問 7 その他の記述】

- 転倒骨折
- 脳内出血
- 先天性
- 右下肢切断、右膝下障害
- 転落
- 病因での間違い
- 幼少期の事故
- 転倒して股関節の骨折
- 老化
- ポリオ
- 事故
- 老化
- 怪我
- 脳出血
- たばこ、酒
- 股関節足
- 怪我
- スポーツ事故
- 暴飲食
- 心臓
- 統合失調症

### 問8 あなたは療育手帳をお持ちですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

療育手帳については、「B」が3.5%、「A」が3.2%となっています。また、「持っていない」が73.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「持っていない」が80.5%、知的障がい者では「B」が30.3%、精神障がい者では「持っていない」が74.5%となっています。



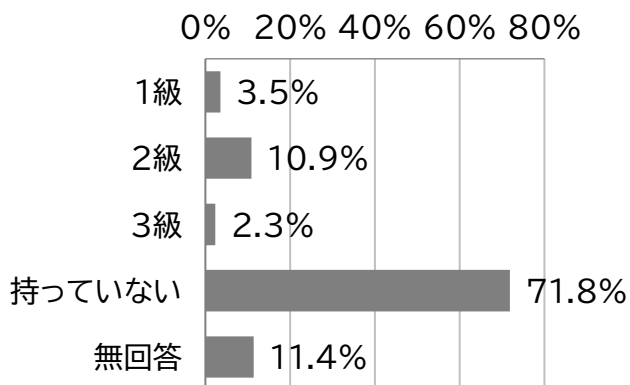
項目	件数	構成比
①	11	3.2%
A	6	1.8%
B	12	3.5%
C	8	2.3%
持っていない	251	73.6%
無回答	53	15.5%
合計	341	100.0%

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
④	8	3.1%	3	9.1%	0	0.0%
A	2	0.8%	4	12.1%	0	0.0%
B	1	0.4%	10	30.3%	1	2.1%
C	3	1.1%	5	15.2%	0	0.0%
持っていない	210	80.5%	6	18.2%	35	74.5%
無回答	37	14.2%	5	15.2%	11	23.4%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

問9 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

精神障害者保健福祉手帳については、「持っていない」が71.8%、「2級」が10.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者、知的障がい者では「持っていない」が多く、精神障がい者では「2級」が68.1%となっています。



項目	件数	構成比
1級	12	3.5%
2級	37	10.9%
3級	8	2.3%
持っていない	245	71.8%
無回答	39	11.4%
合計	341	100.0%

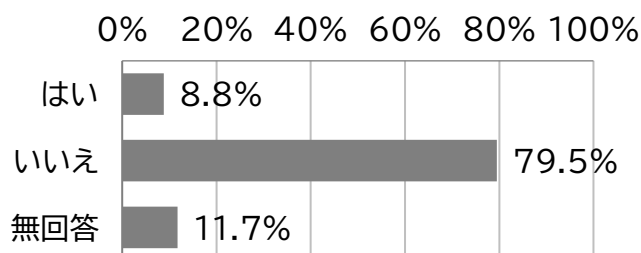
項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1級	6	2.3%	0	0.0%	6	12.8%
2級	2	0.8%	3	9.1%	32	68.1%
3級	1	0.4%	1	3.0%	6	12.8%
持っていない	222	85.1%	22	66.7%	1	2.1%
無回答	30	11.5%	7	21.2%	2	4.3%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

**問 10 あなたは、難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

※難病（特定疾患）とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

難病（特定疾患）の認定については、「はい」が 8.8%、「いいえ」が 79.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「はい」が 9.2%、知的障がい者では 12.1%、精神障がい者では 4.3%となっています。



項目	件数	構成比
はい	30	8.8%
いいえ	271	79.5%
無回答	40	11.7%
合計	341	100.0%

項目	はい	いいえ	無回答	合計
身体障がい者	24 9.2%	210 80.5%	27 10.3%	261 100.0%
知的障がい者	4 12.1%	24 72.7%	5 15.2%	33 100.0%
精神障がい者	2 4.3%	37 78.7%	8 17.0%	47 100.0%

**【問 10 その他の記述】**

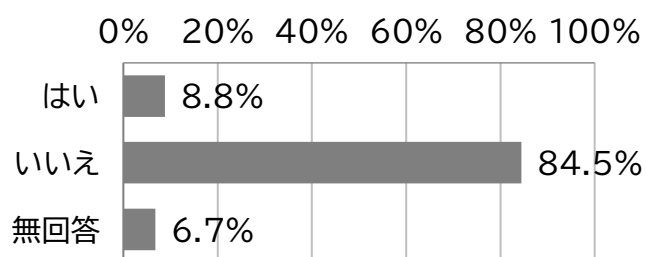
- リウマチ ×4 件
- 網膜色素変性症 ×3 件
- 顕微鏡的血管炎
- 心筋拡張
- パーキンソン
- 心臓機能障害(ペースメーカー)
- 強皮症
- 甲状腺バセドウ病
- 関節リウマチ
- 心サルコイドーシス
- 強皮症
- 多系統萎縮症
- エプスタイン奇形
- パーキンソン症候群
- 心臓
- もやもや病
- 人工腎臓を実施している慢性腎不全
- 神経線維腫症 1 型
- リウマチ
- 神経線維腫症
- 結節性硬化症
- 統合失調症 ×2 件
- 症候性てんかん

問 11 あなたは、発達障害として診断されたことがありますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

発達障害の診断については、「はい」が8.8%、「いいえ」が84.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「はい」が1.1%、知的障がい者では51.5%、精神障がい者では21.3%となっています。



項目	件数	構成比
はい	30	8.8%
いいえ	288	84.5%
無回答	23	6.7%
合計	341	100.0%

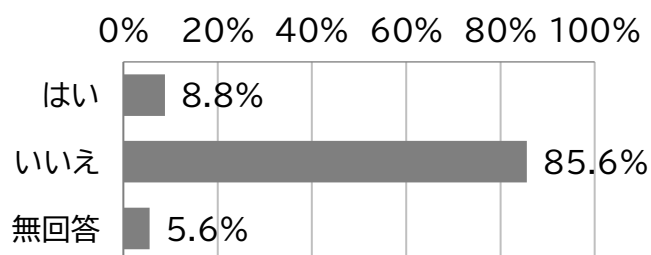
項目	はい	いいえ	無回答	合計
身体障がい者	3	242	16	261
	1.1%	92.7%	6.1%	100.0%
知的障がい者	17	14	2	33
	51.5%	42.4%	6.1%	100.0%
精神障がい者	10	32	5	47
	21.3%	68.1%	10.6%	100.0%



問 12 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

※高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

高次脳機能障害の診断については、「はい」が 8.8%、「いいえ」が 85.6%となっています。障がい別にみると、身体障がい者では「はい」が 9.2%、知的障がい者では 9.1%、精神障がい者では 6.4%となっています。



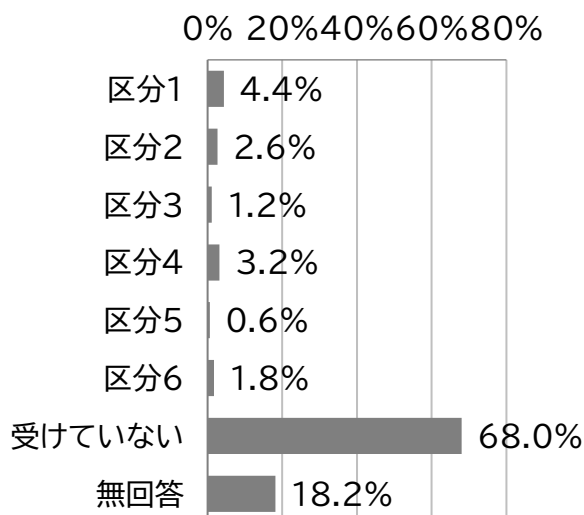
項目	件数	構成比
はい	30	8.8%
いいえ	292	85.6%
無回答	19	5.6%
合計	341	100.0%

項目	はい	いいえ	無回答	合計
身体障がい者	24 9.2%	227 87.0%	10 3.8%	261 100.0%
知的障がい者	3 9.1%	27 81.8%	3 9.1%	33 100.0%
精神障がい者	3 6.4%	38 80.9%	6 12.8%	47 100.0%

問 13 あなたは障害程度(支援)区分の認定を受けていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

障害程度(支援)区分の認定については、「受けていない」が68.0%、「区分1」が4.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「区分1」が14件で、知的障がい者では「区分2」、「区分4」がそれぞれ2件、精神障がい者では「区分2」が5件となっています。



項目	件数	構成比
区分1	15	4.4%
区分2	9	2.6%
区分3	4	1.2%
区分4	11	3.2%
区分5	2	0.6%
区分6	6	1.8%
受けていない	232	68.0%
無回答	62	18.2%
合計	341	100.0%

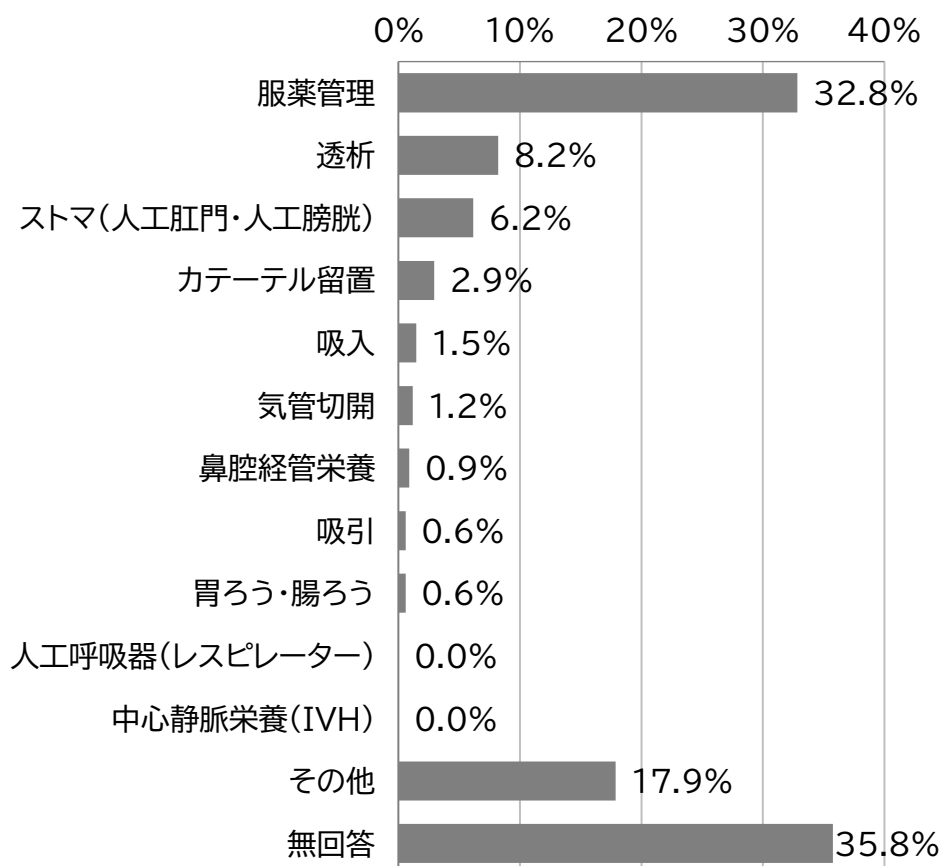
項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
区分1	14	5.4%	1	3.0%	0	0.0%
区分2	2	0.8%	2	6.1%	5	10.6%
区分3	4	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
区分4	9	3.4%	2	6.1%	0	0.0%
区分5	1	0.4%	1	3.0%	0	0.0%
区分6	5	1.9%	1	3.0%	0	0.0%
持っていない	184	70.5%	18	54.5%	30	63.8%
無回答	42	16.1%	8	24.2%	12	25.5%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

**問 14 あなたが現在受けている医療行為をご回答ください。**

(該当する番号すべてに○をつけてください)

現在受けている医療行為については、「服薬管理」が 32.8%で最も多く、ついで「透析」が 8.2%、「ストマ(人工肛門・人工膀胱)」が 6.2%となっています。

障がい別にみると、すべての障がい種別で「服薬管理」が多くなっています。



項目	件数	比率
服薬管理	112	32.8%
透析	28	8.2%
ストマ(人工肛門・人工膀胱)	21	6.2%
カテーテル留置	10	2.9%
吸入	5	1.5%
気管切開	4	1.2%
鼻腔経管栄養	3	0.9%
吸引	2	0.6%
胃ろう・腸ろう	2	0.6%
人工呼吸器(レスピレーター)	0	0.0%
中心静脈栄養(IVH)	0	0.0%
その他	61	17.9%
無回答	122	35.8%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
気管切開	4	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
人工呼吸器(レスピレーター)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
吸入	5	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
吸引	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
胃ろう・腸ろう	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
鼻腔経管栄養	3	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
中心静脈栄養(IVH)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
透析	28	10.7%	0	0.0%	0	0.0%
カテーテル留置	10	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
ストマ(人工肛門・人工膀胱)	21	8.0%	0	0.0%	0	0.0%
服薬管理	83	31.8%	4	12.1%	25	53.2%
その他	53	20.3%	3	9.1%	5	10.6%
無回答	76	29.1%	26	78.8%	20	42.6%
回答者数	261	-	33	-	47	-

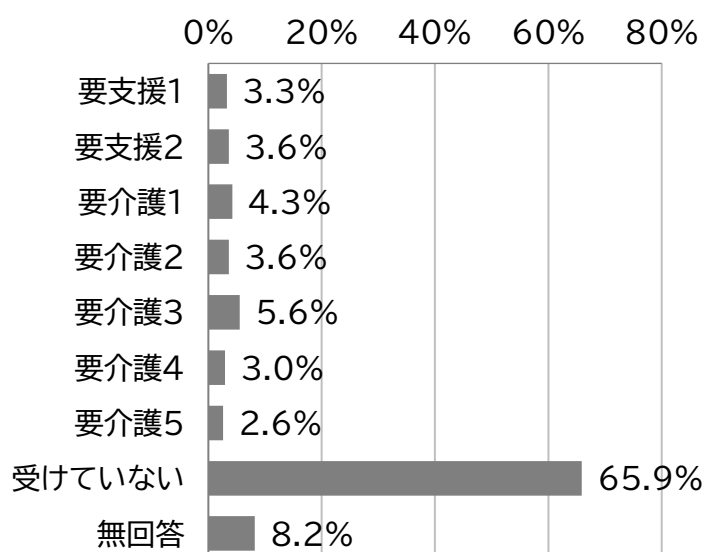
#### 【問 14 その他の記述】

- ペースメーカー ×15 件
- 耳 ×3 件
- 人工股関節
- ない
- シーバップ
- 人工股関節
- 膀胱内視カメラ
- 1 年に 1 回レントゲン
- 呼吸器機能障害
- 精神科定期通院
- 自己注射
- 糖尿病、大動脈弁狭窄症
- 高血圧
- 経過観察
- 脳波検査
- 視力検査
- 在宅酸素 ×2 件
- 投薬治療
- 膀胱留置カテーテル
- 通院 1 回
- 導尿
- 投薬
- リハビリ ×2 件
- 人工関節
- 枝
- 精神
- 心療内科受診
- 注射
- 尿道カテーテル
- カウンセリング

問 15 現在、40 歳以上の方にお聞きします。あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。受けている方は、要介護度をお答えください。(該当する番号1つに○をつけてください。)

要介護認定については、「受けていない」が 65.9%、「要介護 3」が 5.6%、「要介護 1」が 4.3%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「要介護 3」が 6.0% (15 件)、知的障がい者では「要介護 2」、「要介護 3」がそれぞれ 1 件、精神障がい者では「要支援 2」、「要介護 3」、「要介護 4」がそれぞれ 1 件となっています。



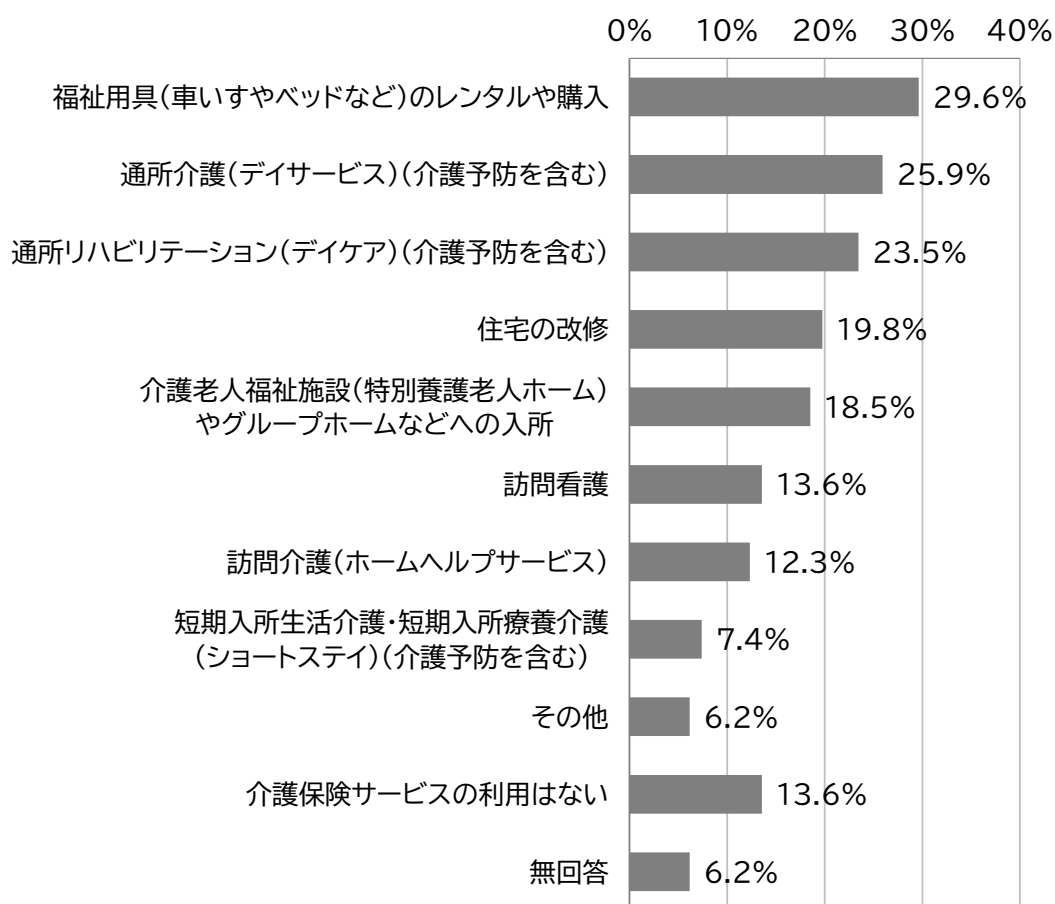
項目	件数	構成比
要支援1	10	3.3%
要支援2	11	3.6%
要介護1	13	4.3%
要介護2	11	3.6%
要介護3	17	5.6%
要介護4	9	3.0%
要介護5	8	2.6%
受けていない	201	65.9%
無回答	25	8.2%
合計	305	100.0%
非該当	36	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
要支援1	10	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
要支援2	10	4.0%	0	0.0%	1	2.9%
要介護1	13	5.2%	0	0.0%	0	0.0%
要介護2	10	4.0%	1	4.8%	0	0.0%
要介護3	15	6.0%	1	4.8%	1	2.9%
要介護4	8	3.2%	0	0.0%	1	2.9%
要介護5	8	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
受けていない	159	63.9%	16	76.2%	26	74.3%
無回答	16	6.4%	3	14.3%	6	17.1%
合計	249	100.0%	21	100.0%	35	100.0%
非該当	12	-	12	-	12	-
合計	261	-	33	-	47	-

**問 16 要介護認定を受けている方にお聞きします。利用している介護保険サービスは次のどれですか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)**

利用している介護保険サービスについては、「福祉用具（車いすやベッドなど）のレンタルや購入」が 29.6%で最も多く、ついで「通所介護（デイサービス）（介護予防を含む）」が 25.9%、「通所リハビリテーション（デイケア）（介護予防を含む）」が 23.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「福祉用具（車いすやベッドなど）のレンタルや購入」が 29.7%（22 件）で多く、知的障がい者では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）やグループホームなどへの入所」が 2 件、精神障がい者では「通所介護（デイサービス）（介護予防を含む）」、「福祉用具（車いすやベッドなど）のレンタルや購入」がそれぞれ 2 件となっています。



項目	件数	比率
福祉用具(車いすやベッドなど)のレンタルや購入	24	29.6%
通所介護(デイサービス)(介護予防を含む)	21	25.9%
通所リハビリテーション(デイケア)(介護予防を含む)	19	23.5%
住宅の改修	16	19.8%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) やグループホームなどへの入所	15	18.5%
訪問看護	11	13.6%
訪問介護(ホームヘルプサービス)	10	12.3%
短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートステイ)(介護予防を含む)	6	7.4%
その他	5	6.2%
介護保険サービスの利用はない	11	13.6%
無回答	5	6.2%
回答者数	81	-
非該当	260	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
訪問介護(ホームヘルプサービス)	9	12.2%	0	0.0%	1	33.3%
訪問看護	10	13.5%	0	0.0%	1	33.3%
通所介護(デイサービス)(介護予防を含む)	19	25.7%	0	0.0%	2	66.7%
通所リハビリテーション(デイケア)(介護予防 を含む)	19	25.7%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートステイ)(介護予防を含む)	5	6.8%	0	0.0%	1	33.3%
福祉用具(車いすやベッドなど) のレンタルや購入	22	29.7%	0	0.0%	2	66.7%
住宅の改修	15	20.3%	0	0.0%	1	33.3%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) やグループホームなどへの入所	12	16.2%	2	100.0%	0	0.0%
その他	5	6.8%	0	0.0%	0	0.0%
介護保険サービスの利用はない	10	13.5%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	5	6.8%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	74	-	2	-	3	-

#### 【問 16 その他の記述】

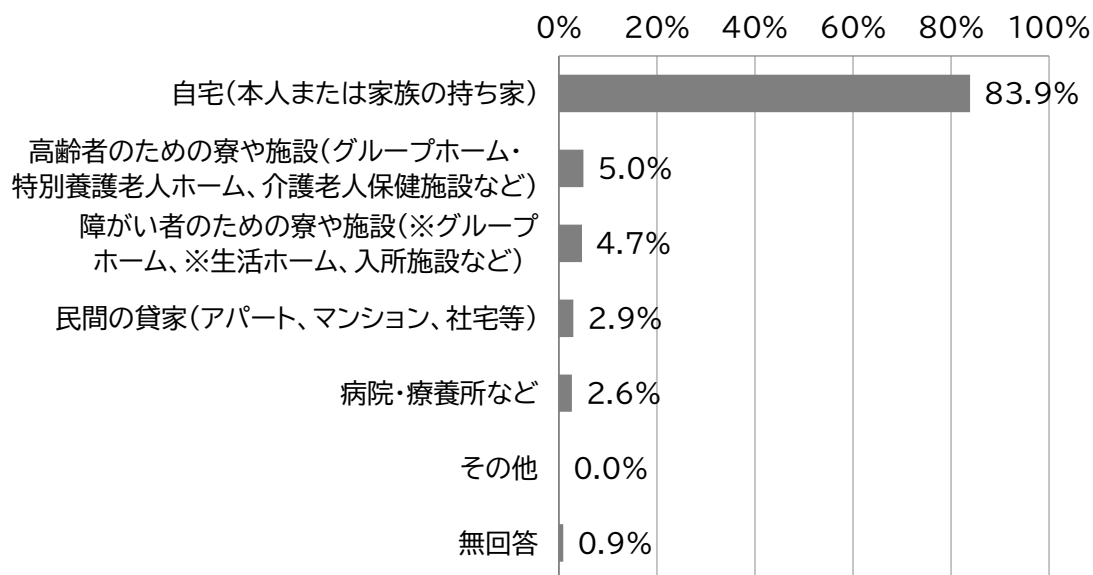
- 医療機関に入院
- 手すり(室内) レンタル
- 医療機関の介護保険病棟
- 風呂場に手すり付き
- 今は入院中
- 入院中、一生?
- 訪問リハビリ、訪問入浴

## 2. あなたの生活について

問17 あなたはどこで暮らしていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

生活の場については、「自宅(本人または家族の持ち家)」が83.9%で最も多くなっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「自宅(本人または家族の持ち家)」が87.0%で最も多く、知的障がい者では「自宅(本人または家族の持ち家)」が57.6%で最も多く、「障がい者のための寮や施設(※グループホーム、※生活ホーム、入所施設など)」が27.3%、精神障がい者では「自宅(本人または家族の持ち家)」が85.1%となっています。



項目	件数	構成比
自宅(本人または家族の持ち家)	286	83.9%
高齢者のための寮や施設(グループホーム・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)	17	5.0%
障がい者のための寮や施設(※グループホーム、※生活ホーム、入所施設など)	16	4.7%
民間の貸家(アパート、マンション、社宅等)	10	2.9%
病院・療養所など	9	2.6%
その他	0	0.0%
無回答	3	0.9%
合計	341	100.0%

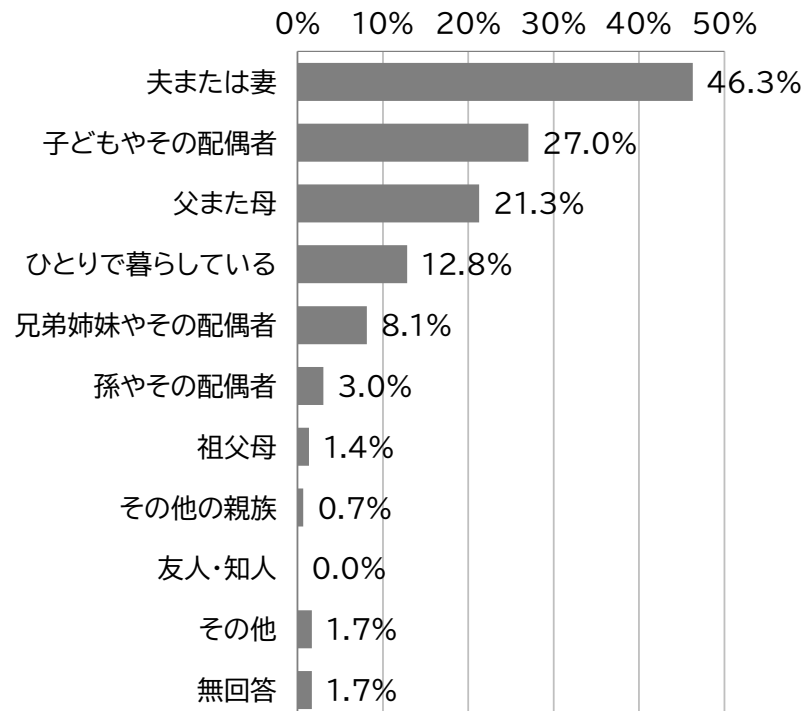


項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
自宅(本人または家族の持ち家)	227	87.0%	19	57.6%	40	85.1%
民間の貸家(アパート、マンション、社宅等)	5	1.9%	2	6.1%	3	6.4%
障がい者のための寮や施設(※グループホーム、※生活ホーム、入所施設など)	4	1.5%	9	27.3%	3	6.4%
高齢者のための寮や施設(グループホーム・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など)	15	5.7%	2	6.1%	0	0.0%
病院・療養所など	9	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	0.4%	1	3.0%	1	2.1%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

問 17-1 問 17 で「自宅」、「民間の貸家」、「その他」と答えた方にお聞きします。  
あなたは現在、誰と一緒に生活していますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

誰と生活しているかについては、「夫または妻」が 46.3%で最も多く、ついで「子どもやその配偶者」が 27.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「夫または妻」が 54.3% (126 件) で多く、知的障がい者では「父または母」が 15 件、精神障がい者では「父または母」が 23 件で多くなっています。



項目	件数	比率
夫または妻	137	46.3%
子どもやその配偶者	80	27.0%
父また母	63	21.3%
ひとりで暮らしている	38	12.8%
兄弟姉妹やその配偶者	24	8.1%
孫やその配偶者	9	3.0%
祖父母	4	1.4%
その他の親族	2	0.7%
友人・知人	0	0.0%
その他	5	1.7%
無回答	5	1.7%
回答者数	296	-
非該当	45	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
父また母	25	10.8%	15	71.4%	23	53.5%
夫または妻	126	54.3%	1	4.8%	10	23.3%
子どもやその配偶者	77	33.2%	2	9.5%	1	2.3%
孫やその配偶者	8	3.4%	1	4.8%	0	0.0%
兄弟姉妹やその配偶者	10	4.3%	7	33.3%	7	16.3%
祖父母	0	0.0%	2	9.5%	2	4.7%
その他の親族	1	0.4%	1	4.8%	0	0.0%
友人・知人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ひとりで暮らしている	30	12.9%	2	9.5%	6	14.0%
その他	4	1.7%	0	0.0%	1	2.3%
無回答	4	1.7%	0	0.0%	1	2.3%
回答者数	232	-	21	-	43	-

【問 17-1 その他の記述】

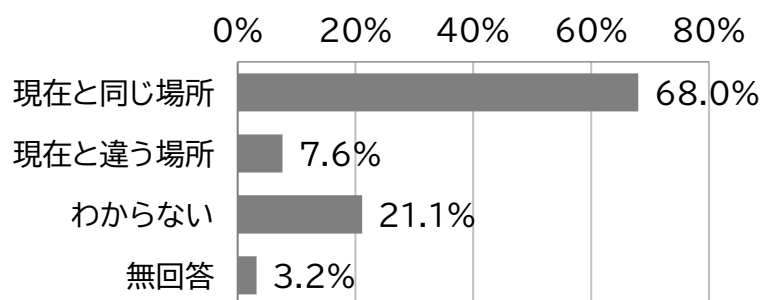
- 夫と息子
- 子ども二人
- 子ども
- ハムスター
- 子ども。長男と二人暮らし
- 孫

**問 18** すべての方にお聞きします。

あなたは将来(未成年の方は成人になったら)、どこで暮らしたいですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

将来暮らしたい場所については、「現在と同じ場所」が 68.0%、「現在と違う場所」が 7.6% となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「現在と同じ場所」が 73.2%、知的障がい者では 54.5% 精神障がい者では 48.9%となっています。



項目	件数	構成比
現在と同じ場所	232	68.0%
現在と違う場所	26	7.6%
わからない	72	21.1%
無回答	11	3.2%
合計	341	100.0%

項目	現在と同じ場所	現在と違う場所	わからない	無回答	合計
身体障がい者	191	14	47	9	261
	73.2%	5.4%	18.0%	3.4%	100.0%
知的障がい者	18	3	11	1	33
	54.5%	9.1%	33.3%	3.0%	100.0%
精神障がい者	23	9	14	1	47
	48.9%	19.1%	29.8%	2.1%	100.0%

問 18-1 問 18 で「現在と違う場所」と答えた方は、どこで暮らしたいですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

現在と違うどこに暮らしたいかについては、「本人または家族の持ち家」が8件、「民間の貸家(アパート、マンション、社宅等)」が7件となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「本人または家族の持ち家」が50.0% (7件)、知的障がい者では「グループホーム」が2件、精神障がい者では「民間の貸家(アパート、マンション、社宅等)」が3件となっています。

項目	件数	構成比
本人または家族の持ち家	8	30.8%
民間の貸家(アパート、マンション、社宅等)	7	26.9%
グループホーム	3	11.5%
福祉施設	3	11.5%
病院	0	0.0%
その他	2	7.7%
無回答	3	11.5%
回答者数	26	100.0%
非該当	315	-
合計	341	-

※回答者数が少ないため表のみ掲載(回答者数が50件未満は、以下同様)

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
本人または家族の持ち家	7	50.0%	0	0.0%	1	11.1%
民間の貸家(アパート、マンション、社宅等)	3	21.4%	1	33.3%	3	33.3%
グループホーム	0	0.0%	2	66.7%	1	11.1%
福祉施設	1	7.1%	0	0.0%	2	22.2%
病院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	7.1%	0	0.0%	1	11.1%
無回答	2	14.3%	0	0.0%	1	11.1%
合計	14	100.0%	3	100.0%	9	100.0%

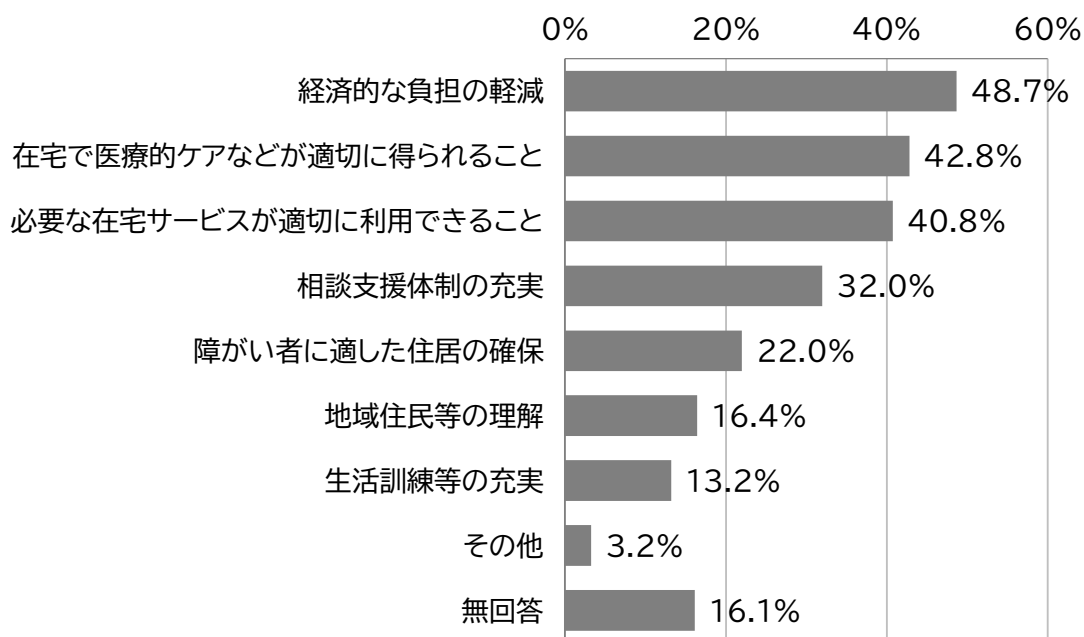
【問 18-1 その他の記述】

- ケアハウス
- 高齢者施設
- 県外の家

**問 19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)**

地域で生活するための支援については、「経済的な負担の軽減」が 48.7%で最も多く、ついで「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が 42.8%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 40.8%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が 48.7% (127 件)、知的障がい者では「相談支援体制の充実」が 17 件、精神障がい者では「経済的な負担の軽減」が 31 件となっています。



項目	件数	比率
経済的な負担の軽減	166	48.7%
在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	146	42.8%
必要な在宅サービスが適切に利用できること	139	40.8%
相談支援体制の充実	109	32.0%
障がい者に適した住居の確保	75	22.0%
地域住民等の理解	56	16.4%
生活訓練等の充実	45	13.2%
その他	11	3.2%
無回答	55	16.1%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	127	48.7%	10	30.3%	9	19.1%
障がい者に適した住居の確保	59	22.6%	10	30.3%	6	12.8%
必要な在宅サービスが適切に利用できること	116	44.4%	12	36.4%	11	23.4%
生活訓練等の充実	29	11.1%	9	27.3%	7	14.9%
経済的な負担の軽減	119	45.6%	16	48.5%	31	66.0%
相談支援体制の充実	74	28.4%	17	51.5%	18	38.3%
地域住民等の理解	36	13.8%	9	27.3%	11	23.4%
その他	8	3.1%	2	6.1%	1	2.1%
無回答	39	14.9%	6	18.2%	10	21.3%
回答者数	261	-	33	-	47	-

### 【問 19 その他の記述】

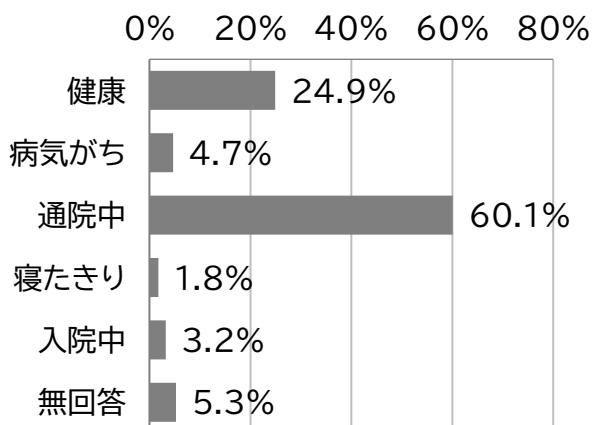
- 働ける場所
- 経済支援
- 医療的ケアが必要条件です。病院付きの入院施設
- 文字情報の充実
- 健常者との同等のサービス。時間等の制度が多すぎる。
- ヘルプマークの認知度向上

### 3. 健康、医療について

問 20 あなたの現在の健康状態は、次のどれにあたりますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

現在の健康状態については、「通院中」が 60.1%で最も多く、ついで「健康」が 24.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「通院中」が 62.5% (163 件)、知的障がい者では「健康」が 21 件、精神障がい者では「通院中」が 31 件となっています。



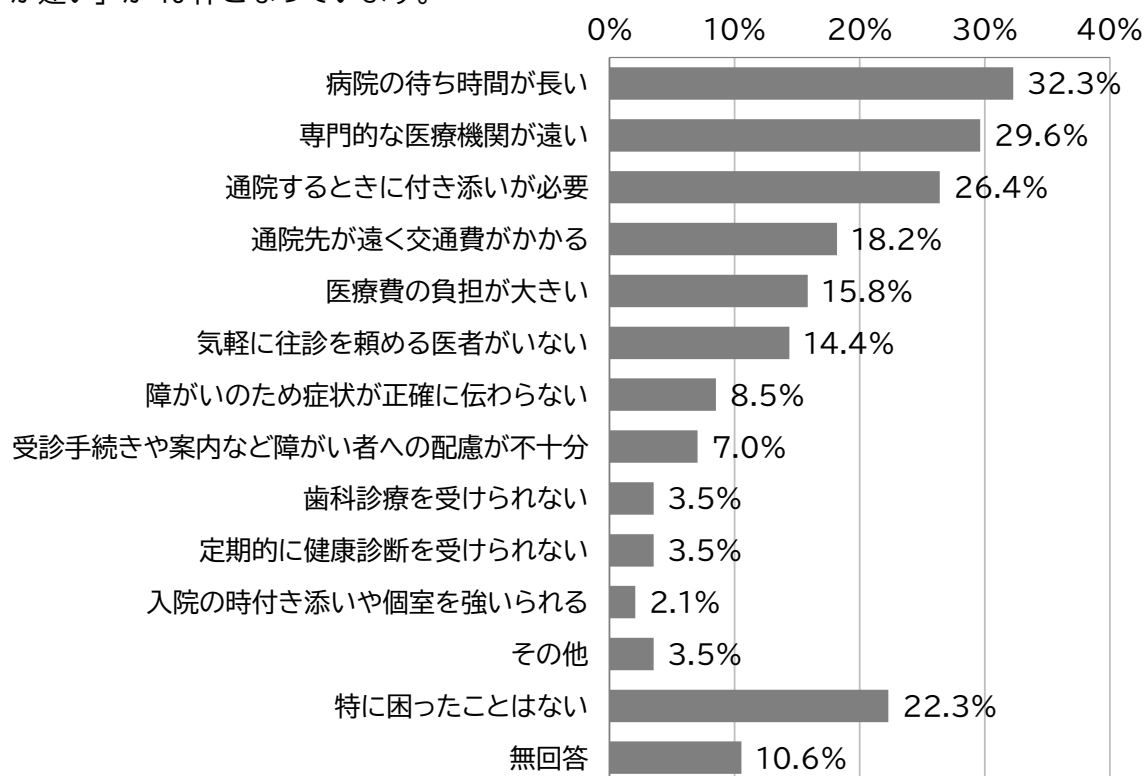
項目	件数	構成比
健康	85	24.9%
病気がち	16	4.7%
通院中	205	60.1%
寝たきり	6	1.8%
入院中	11	3.2%
無回答	18	5.3%
合計	341	100.0%

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
健康	57	21.8%	21	63.6%	7	14.9%
病気がち	11	4.2%	1	3.0%	4	8.5%
通院中	163	62.5%	11	33.3%	31	66.0%
寝たきり	5	1.9%	0	0.0%	1	2.1%
入院中	11	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	14	5.4%	0	0.0%	4	8.5%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

問 21 あなたは、健康管理や医療について、困ったり不便に思ったことがありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

健康管理や医療で困ったり不便なことについては、「病院の待ち時間が長い」が 32.3%で最も多く、ついで「専門的な医療機関が遠い」が 29.6%、「通院するときに付き添いが必要」が 26.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「病院の待ち時間が長い」が 33.7% (88 件)、知的障がい者では「通院するときに付き添いが必要」が 15 件、精神障がい者では「専門的な医療機関が遠い」が 18 件となっています。



項目	件数	比率
病院の待ち時間が長い	110	32.3%
専門的な医療機関が遠い	101	29.6%
通院するときに付き添いが必要	90	26.4%
通院先が遠く交通費がかかる	62	18.2%
医療費の負担が大きい	54	15.8%
気軽に往診を頼める医者がない	49	14.4%
障がいのため症状が正確に伝わらない	29	8.5%
受診手続きや案内など障がい者への配慮が不十分	24	7.0%
歯科診療を受けられない	12	3.5%
定期的に健康診断を受けられない	12	3.5%
入院の時付き添いや個室を強いられる	7	2.1%
その他	12	3.5%
特に困ったことはない	76	22.3%
無回答	36	10.6%
回答者数	341	-



項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
専門的な医療機関が遠い	79	30.3%	4	12.1%	18	38.3%
通院するときに付き添いが必要	65	24.9%	15	45.5%	10	21.3%
通院先が遠く交通費がかかる	51	19.5%	1	3.0%	10	21.3%
病院の待ち時間が長い	88	33.7%	6	18.2%	16	34.0%
気軽に往診を頼める医者がいない	39	14.9%	3	9.1%	7	14.9%
歯科診療を受けられない	10	3.8%	1	3.0%	1	2.1%
定期的に健康診断を受けられない	9	3.4%	1	3.0%	2	4.3%
障がいのため症状が正確に伝わらない	15	5.7%	8	24.2%	6	12.8%
受診手続きや案内など障がい者への配慮が不十分	16	6.1%	2	6.1%	6	12.8%
医療費の負担が大きい	38	14.6%	2	6.1%	14	29.8%
入院の時付き添いや個室を強いられる	6	2.3%	1	3.0%	0	0.0%
その他	10	3.8%	0	0.0%	2	4.3%
特に困ったことはない	57	21.8%	11	33.3%	8	17.0%
無回答	27	10.3%	3	9.1%	6	12.8%
回答者数	261	-	33	-	47	-

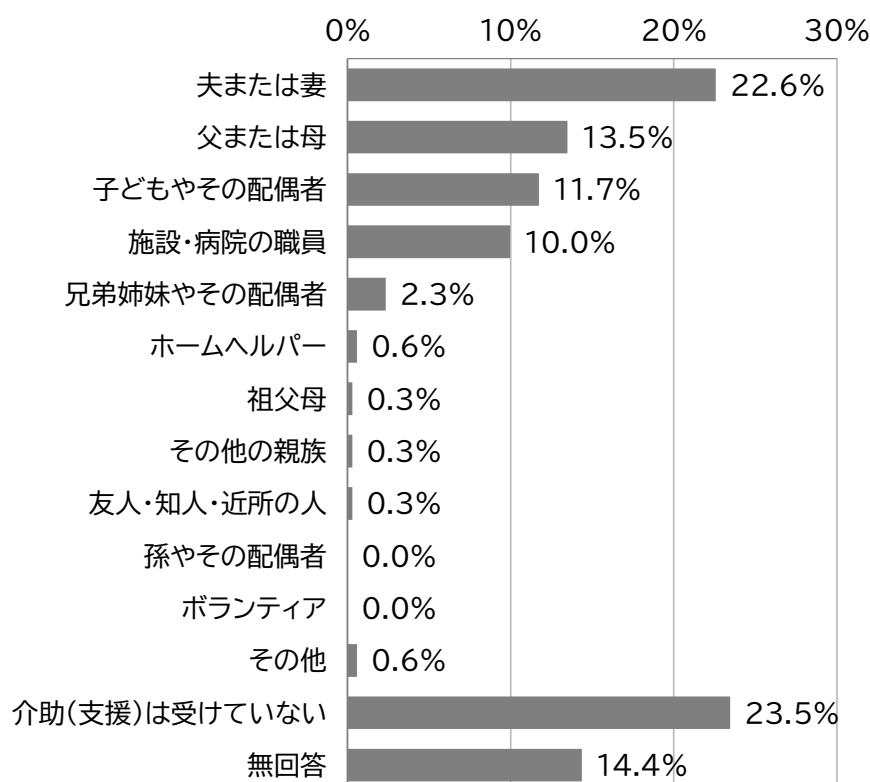
#### 【問 21 その他の記述】

- 頻尿、ストマからの尿もれ
- 車を手放した時の移動手段
- 収入より支出の方が大きい
- 今は困っていないが、これから先が、やや心配。
- 病院付き施設にて看護と介護が手厚くされています。
- 白内障の手術をしたいが主人の面倒を見る人も私の面倒を見る人もいない。いい方法があれば知りたい。
- 施設に入所
- 通院先が遠く体の負担が多い。
- 通院の際の移送サービス
- 医師・看護師とのコミュニケーション
- 仕事
- いい先生が見つからない。
- デイケアが近くにない。

問 22 あなたの介助(支援)を主にしているのはどなたですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

介助をしている方については、「夫または妻」が 22.6%で最も多く、ついで「父または母」が 13.5%となっています。一方、「介助(支援)は受けていない」が 23.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「夫または妻」が 27.6% (72 件)、知的障がい者では「父または母」が 12 件、精神障がい者では「父または母」が 18 件となっています。



項目	件数	構成比
夫または妻	77	22.6%
父または母	46	13.5%
子どもやその配偶者	40	11.7%
施設・病院の職員	34	10.0%
兄弟姉妹やその配偶者	8	2.3%
ホームヘルパー	2	0.6%
祖父母	1	0.3%
その他の親族	1	0.3%
友人・知人・近所の人	1	0.3%
孫やその配偶者	0	0.0%
ボランティア	0	0.0%
その他	2	0.6%
介助(支援)は受けていない	80	23.5%
無回答	49	14.4%
合計	341	100.0%

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
父または母	16	6.1%	12	36.4%	18	38.3%
夫または妻	72	27.6%	0	0.0%	5	10.6%
子どもやその配偶者	39	14.9%	0	0.0%	1	2.1%
孫やその配偶者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
兄弟姉妹やその配偶者	2	0.8%	2	6.1%	4	8.5%
祖父母	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%
その他の親族	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
友人・知人・近所の人	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ホームヘルパー	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
施設・病院の職員	21	8.0%	11	33.3%	2	4.3%
その他	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
介助(支援)は受けていない	68	26.1%	2	6.1%	10	21.3%
無回答	37	14.2%	5	15.2%	7	14.9%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

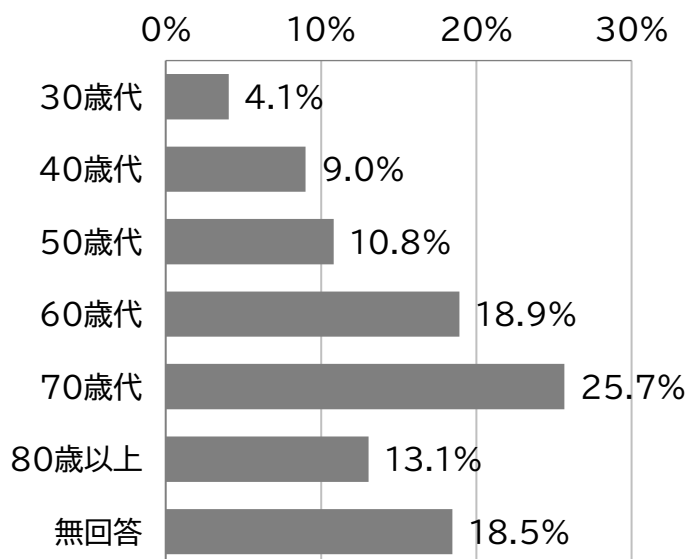
【問 22 その他の記述】

- 誰もいない
- 手話通訳者

問 22-1 問 22 で「父または母」「夫または妻」「子どもやその配偶者」「孫やその配偶者」「兄弟姉妹やその配偶者」「祖父母」「その他の親族」とお答えの方にお聞きします。  
介助(支援)をしている方は何歳ですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

介助をしている方の年齢については、「70 歳代」が 25.7%で最も多く、ついで「60 歳代」が 18.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「70 歳代」が 25.7% (43 件)、知的障がい者では「70 歳代」が 6 件、精神障がい者では「60 歳代」が 10 件となっています。



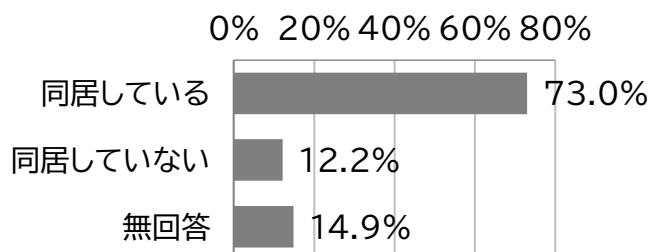
項目	件数	構成比
30歳代	9	4.1%
40歳代	20	9.0%
50歳代	24	10.8%
60歳代	42	18.9%
70歳代	57	25.7%
80歳以上	29	13.1%
無回答	41	18.5%
回答者数	222	100.0%
非該当	119	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
30歳代	5	3.0%	4	20.0%	0	0.0%
40歳代	13	7.8%	3	15.0%	4	11.4%
50歳代	22	13.2%	0	0.0%	2	5.7%
60歳代	30	18.0%	2	10.0%	10	28.6%
70歳代	43	25.7%	6	30.0%	8	22.9%
80歳以上	25	15.0%	0	0.0%	4	11.4%
無回答	29	17.4%	5	25.0%	7	20.0%
回答者数	167	100.0%	20	100.0%	35	100.0%

問 22-2 問 22 で「父または母」「夫または妻」「子どもやその配偶者」「孫やその配偶者」「兄弟姉妹やその配偶者」「祖父母」「その他の親族」とお答えの方にお聞きします。  
あなたは、主な介助者(支援者)と同居していますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

介助をしている方との同居については、「同居している」が 73.0%、「同居していない」が 12.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「同居している」が 74.3% (124 件)、知的障がい者では 14 件、精神障がい者では 24 件となっています。



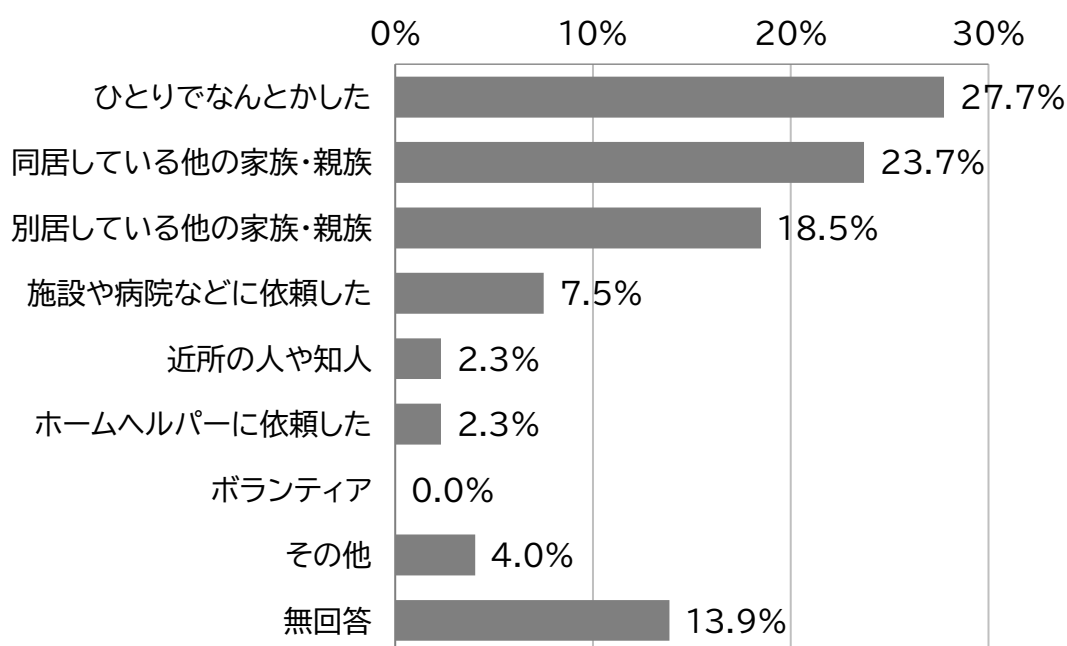
項目	件数	構成比
同居している	162	73.0%
同居していない	27	12.2%
無回答	33	14.9%
回答者数	222	100.0%
非該当	119	-
合計	341	-

項目	同居している	同居していない	無回答	合計
身体障がい者	124	19	24	167
	74.3%	11.4%	14.4%	100.0%
知的障がい者	14	3	3	20
	70.0%	15.0%	15.0%	100.0%
精神障がい者	24	5	6	35
	68.6%	14.3%	17.1%	100.0%

問 22-3 問 22 で「父または母」「夫または妻」「子どもやその配偶者」「孫やその配偶者」「兄弟姉妹やその配偶者」「祖父母」「その他の親族」とお答えの方にお聞きします。  
 今までに、主な介助者(支援者)が一時的に介助(支援)できなかったときは、どなたが介助(支援)しましたか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

おもな介助者が解除できないときの介助者については、「ひとりでなんとかした」が 27.7%で最も多く、ついで「同居している他の家族・親族」が 23.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「ひとりでなんとかした」が 27.7% (36 件)、知的障がい者では「同居している他の家族・親族」が 5 件、精神障がい者では「ひとりでなんとかした」が 11 件となっています。



項目	件数	構成比
ひとりでなんとかした	48	27.7%
同居している他の家族・親族	41	23.7%
別居している他の家族・親族	32	18.5%
施設や病院などに依頼した	13	7.5%
近所の人や知人	4	2.3%
ホームヘルパーに依頼した	4	2.3%
ボランティア	0	0.0%
その他	7	4.0%
無回答	24	13.9%
回答者数	173	100.0%
非該当	168	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
同居している他の家族・親族	31	23.8%	5	33.3%	5	17.9%
別居している他の家族・親族	24	18.5%	4	26.7%	4	14.3%
近所の人や知人	4	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ホームヘルパーに依頼した	3	2.3%	0	0.0%	1	3.6%
施設や病院などに依頼した	11	8.5%	1	6.7%	1	3.6%
ひとりでなんとかした	36	27.7%	1	6.7%	11	39.3%
その他	4	3.1%	1	6.7%	2	7.1%
無回答	17	13.1%	3	20.0%	4	14.3%
回答者数	130	100.0%	15	100.0%	28	100.0%

**【問 22-3 その他の記述】**

- あきらめた
- 代替する人は居ない。
- 本人が今までに病院に入院以外ない。
- 両親共に健康なため今のところは問題ありません。
- 特になし
- 妻以外の人と関わることができないので頼むことができない。

#### 4. 日中の過ごし方について

問 23 未就学児(小学校に入学する前の方)の保護者の方にお聞きします。

現在、お子さんは日中を主にどこで過ごしていますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

未就学のお子さんの日中過ごしている場所については、「保育園」「幼稚園」「障がい児が入所する施設」「障がい児が通う施設」「自宅」がそれぞれ1件となっています。この回答はすべて知的障がい者の回答となっています。

項目	件数	比率
保育園	1	25.0%
幼稚園	1	25.0%
盲・ろう・特別支援学校幼稚部	0	0.0%
障がい児が入所する施設	1	25.0%
障がい児が通う施設	1	25.0%
自宅	1	25.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	25.0%
回答者数	4	-
非該当	337	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
保育園	0	0.0%	1	33.3%	0	-
幼稚園	0	0.0%	1	33.3%	0	-
盲・ろう・特別支援学校幼稚部	0	0.0%	0	0.0%	0	-
障がい児が入所する施設	0	0.0%	1	33.3%	0	-
障がい児が通う施設	0	0.0%	1	33.3%	0	-
自宅	0	0.0%	1	33.3%	0	-
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無回答	1	100.0%	0	0.0%	0	-
回答者数	1	-	3	-	0	-

問 24 未就学児(小学校に入学する前の方)の保護者の方にお聞きします。

小学校についてはどのように考えていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

今後の小学校については、「小学校の通常学級に通いたい」「小学校の特別支援学級に通いたい」「特別支援学校、盲学校、ろう学校等に通いたい」がそれぞれ1件となっています。この回答はすべて知的障がい者の回答となっています。

項目	件数	構成比
小学校の通常学級に通いたい	1	25.0%
小学校の特別支援学級に通いたい	1	25.0%
特別支援学校、盲学校、ろう学校等に通いたい	1	25.0%
わからない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	1	25.0%
回答者数	4	100.0%
非該当	337	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
小学校の通常学級に通いたい	0	0.0%	1	33.3%	0	-
小学校の特別支援学級に通いたい	0	0.0%	1	33.3%	0	-
特別支援学校、盲学校、ろう学校等に通いたい	0	0.0%	1	33.3%	0	-
わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無回答	1	100.0%	0	0.0%	0	-
回答者数	1	100.0%	3	100.0%	0	-



問 25 学校に通っている方にお聞きします。

現在、あなたは日中を主にどこで過ごしていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

学校に通っている方の日中過ごしている場所については、「小・中学校の特別支援学級」が4件、「小・中学校の通常学級」が2件となっています。

障がい別にみると、身体障がい者、知的障がい者ともに「小・中学校の特別支援学級」がそれぞれ2件となっています。

項目	件数	構成比
小・中学校の通常学級	2	33.3%
小・中学校の特別支援学級	4	66.7%
盲・ろう・特別支援学校	0	0.0%
高等学校	0	0.0%
障がい児が入所する施設	0	0.0%
障がい児が通う施設	0	0.0%
専門学校・職業能力開発校等	0	0.0%
短大・大学	0	0.0%
自宅	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%
非該当	335	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
小・中学校の通常学級	1	33.3%	1	33.3%	0	-
小・中学校の特別支援学級	2	66.7%	2	66.7%	0	-
盲・ろう・特別支援学校	0	0.0%	0	0.0%	0	-
高等学校	0	0.0%	0	0.0%	0	-
障がい児が入所する施設	0	0.0%	0	0.0%	0	-
障がい児が通う施設	0	0.0%	0	0.0%	0	-
専門学校・職業能力開発校等	0	0.0%	0	0.0%	0	-
短大・大学	0	0.0%	0	0.0%	0	-
自宅	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	-
回答者数	3	100.0%	3	100.0%	0	-

問 26 学校に通っている方にお聞きします。

学校を卒業した後の進路をどのように考えていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

学校を卒業した後の進路については、「中学校（通常学級）・高等学校・短大・大学・専門学校等に進学したい」「中学校（特別支援学級）・特別支援学校・盲学校・ろう学校等に進学したい」がそれぞれ3件となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「中学校（特別支援学級）・特別支援学校・盲学校・ろう学校等に進学したい」が2件、知的障がい者では「中学校（通常学級）・高等学校・短大・大学・専門学校等に進学したい」が2件となっています。

項目	件数	構成比
中学校(通常学級)・高等学校・短大・大学・専門学校等に進学したい	3	50.0%
中学校(特別支援学級)・特別支援学校・盲学校・ろう学校等に進学したい	3	50.0%
学校に通いながら福祉施設に通いたい	0	0.0%
福祉施設に通いたい	0	0.0%
福祉施設に入所したい	0	0.0%
就職したい	0	0.0%
その他	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%
非該当	335	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
中学校(通常学級)・高等学校・短大・大学・専門学校等に進学したい	1	33.3%	2	66.7%	0	-
中学校(特別支援学級)・特別支援学校・盲学校・ろう学校等に進学したい	2	66.7%	1	33.3%	0	-
学校に通いながら福祉施設に通いたい	0	0.0%	0	0.0%	0	-
福祉施設に通いたい	0	0.0%	0	0.0%	0	-
福祉施設に入所したい	0	0.0%	0	0.0%	0	-
就職したい	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	-
わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	-
回答者数	3	100.0%	3	100.0%	0	-

問 27 学校に通っている方にお聞きします。

幼稚園、保育園、学校に望むことは何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

幼稚園、保育園、学校に望むことについては、「相談体制を充実してほしい」「施設、設備、教材を充実してほしい」「特別支援教育支援員やコーディネーターの増員」がそれぞれ 3 件となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「医療的ケア（導尿、経管栄養、痰の吸引など）が受けられるようにしてほしい」「特別支援教育支援員やコーディネーターの増員」がそれぞれ 1 件、知的障がい者では「相談体制を充実してほしい」「施設、設備、教材を充実してほしい」がそれぞれ 3 件となっています。

項目	件数	比率
相談体制を充実してほしい	3	50.0%
施設、設備、教材を充実してほしい	3	50.0%
特別支援教育支援員やコーディネーターの増員	3	50.0%
能力や障がいの状態に応じた指導をしてほしい	2	33.3%
まわりの子どもたちの理解を深めるような交流の機会を増やしてほしい	2	33.3%
医療的ケア(導尿、経管栄養、痰の吸引など)が受けられるようにしてほしい	2	33.3%
通常学校での支援促進	2	33.3%
障がい特性の理解と支援	2	33.3%
通常の学級への受け入れを進めてほしい	1	16.7%
療育指導(理学療法、言語や難聴指導など)が受けられるようにしてほしい	1	16.7%
通級の時間を増やしてほしい	1	16.7%
通常の学級での教員・職員の加配	1	16.7%
障がいを理由としたいじめや不登校等の対応	1	16.7%
その他	1	16.7%
特に望むことはない	0	0.0%
無回答	1	16.7%
回答者数	6	-
非該当	335	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
相談体制を充実してほしい	0	0.0%	3	100.0%	0	-
能力や障がいの状態に応じた指導をしてほしい	0	0.0%	2	66.7%	0	-
施設、設備、教材を充実してほしい	0	0.0%	3	100.0%	0	-
通常の学級への受け入れを進めてほしい	0	0.0%	1	33.3%	0	-
まわりの子どもたちの理解を深めるような交流の機会を増やしてほしい	0	0.0%	2	66.7%	0	-
医療的ケア(導尿、経管栄養、痰の吸引など)が受けられるようにしてほしい	1	33.3%	1	33.3%	0	-
療育指導(理学療法、言語や難聴指導など)が受けられるようにしてほしい	0	0.0%	1	33.3%	0	-
通級の時間を増やしてほしい	0	0.0%	1	33.3%	0	-
通常学校での支援促進	0	0.0%	2	66.7%	0	-
通常の学級での教員・職員の加配	0	0.0%	1	33.3%	0	-
障がい特性の理解と支援	0	0.0%	2	66.7%	0	-
障がいを理由としたいじめや不登校等の対応	0	0.0%	1	33.3%	0	-
特別支援教育支援員やコーディネーターの増員	1	33.3%	2	66.7%	0	-
その他	1	33.3%	0	0.0%	0	-
特に望むことはない	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無回答	1	33.3%	0	0.0%	0	-
回答者数	3	-	3	-	0	-

#### 【問 27 その他の記述】

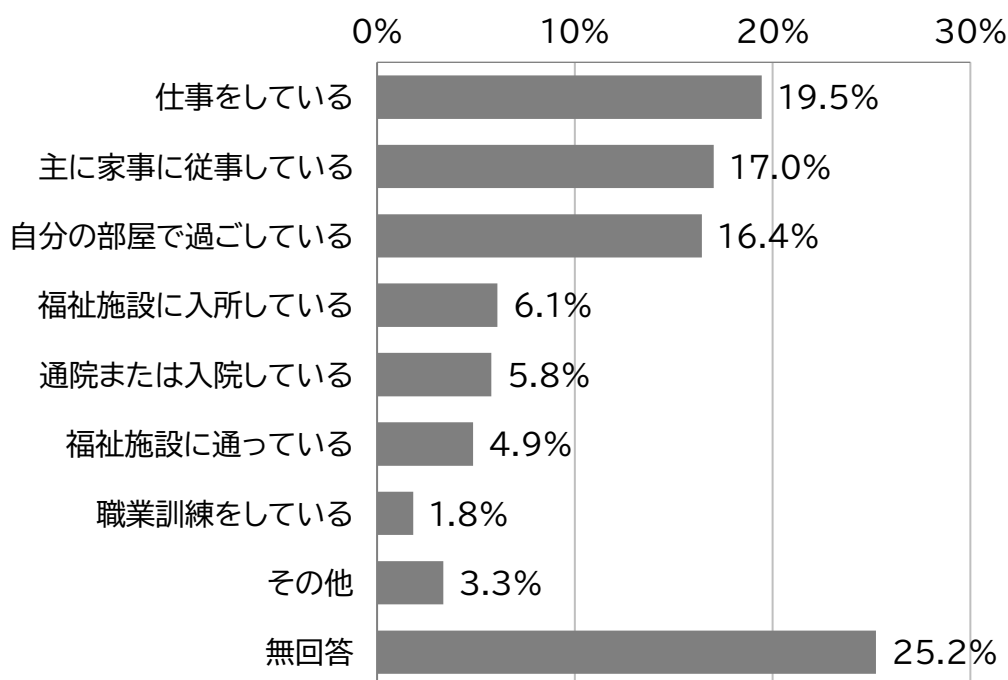
- 遠方の学校に通う際の送迎支援

**問 28 学校に通っていない方にお聞きします。**

現在、あなたは日中をどのように過ごしていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

学校に通っていない方の日中過ごしている場所については、「仕事をしている」が 19.5%で最も多く、ついで「主に家事に従事している」が 17.0%、「自分の部屋で過ごしている」が 16.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「主に家事に従事している」が 19.2% (49 件)、知的障がい者では「仕事をしている」「福祉施設に入所している」がそれぞれ 10 件、精神障がい者では「自分の部屋で過ごしている」が 12 件となっています。



項目	件数	構成比
仕事をしている	64	19.5%
主に家事に従事している	56	17.0%
自分の部屋で過ごしている	54	16.4%
福祉施設に入所している	20	6.1%
通院または入院している	19	5.8%
福祉施設に通っている	16	4.9%
職業訓練をしている	6	1.8%
その他	11	3.3%
無回答	83	25.2%
回答者数	329	100.0%
非該当	12	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
仕事をしている	43	16.9%	10	37.0%	11	23.4%
福祉施設に通っている	11	4.3%	3	11.1%	2	4.3%
福祉施設に入所している	9	3.5%	10	37.0%	1	2.1%
職業訓練をしている	2	0.8%	0	0.0%	4	8.5%
主に家事に従事している	49	19.2%	0	0.0%	7	14.9%
通院または入院している	17	6.7%	0	0.0%	2	4.3%
自分の部屋で過ごしている	42	16.5%	0	0.0%	12	25.5%
その他	11	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	71	27.8%	4	14.8%	8	17.0%
回答者数	255	100.0%	27	100.0%	47	100.0%

### 【問 28 その他の記述】

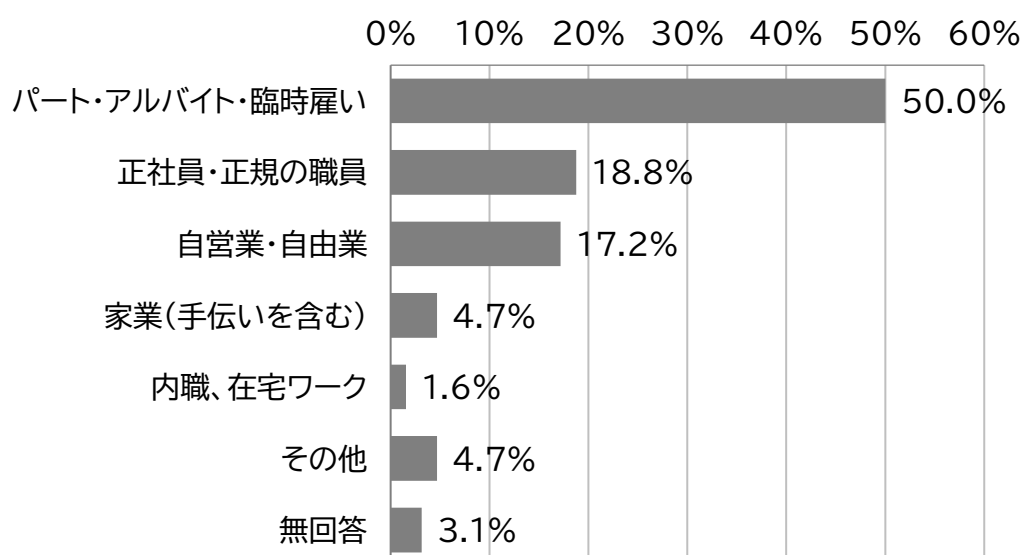
- 家のまわりの片付け、草刈、その他
- 畑を借りて、野菜づくり
- 病院付きの施設で過ごしている。
- 絵をかいたり、散歩している。
- 主人の介護
- 孫を時々見る。
- 後期高齢者、日中庭の手入れ等

問 28-1 問 28 で「仕事をしている」とお答えの方にお聞きします。

あなたの仕事の形態は、次のどれですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

仕事をしている方の就業形態については、「パート・アルバイト・臨時雇い」が 50.0%で最も多く、ついで「正社員・正規の職員」が 18.8%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「パート・アルバイト・臨時雇い」が 15 件、知的障がい者では 8 件、精神障がい者では 9 件となっています。



項目	件数	構成比
パート・アルバイト・臨時雇い	32	50.0%
正社員・正規の職員	12	18.8%
自営業・自由業	11	17.2%
家業(手伝いを含む)	3	4.7%
内職、在宅ワーク	1	1.6%
その他	3	4.7%
無回答	2	3.1%
回答者数	64	100.0%
非該当	277	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
正社員・正規の職員	10	23.3%	2	20.0%	0	0.0%
パート・アルバイト・臨時雇い	15	34.9%	8	80.0%	9	81.8%
内職、在宅ワーク	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
家業(手伝いを含む)	3	7.0%	0	0.0%	0	0.0%
自営業・自由業	11	25.6%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	4.7%	0	0.0%	1	9.1%
無回答	1	2.3%	0	0.0%	1	9.1%
回答者数	43	100.0%	10	100.0%	11	100.0%

【問 28-1 その他の記述】

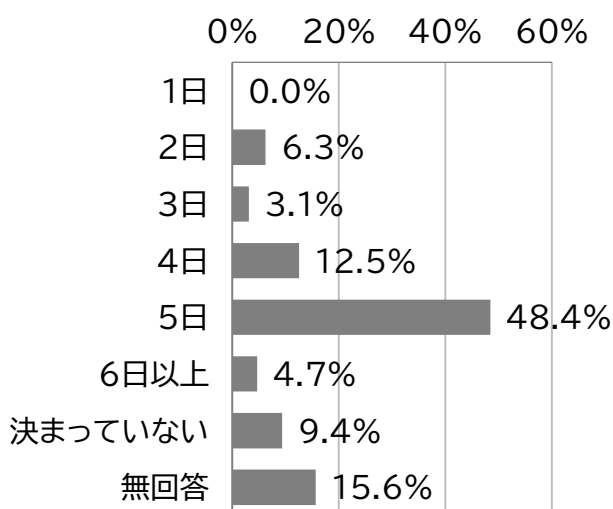
- 陶芸をしている。
- 農業
- 就労定着支援

問 28-2 問 28 で「仕事をしている」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、1週間に何日くらい働いていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

仕事をしている方の1週間の就業日数については、「5日」が48.4%で最も多くなっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「5日」が16件、知的障がい者では6件、精神障がい者では9件となっています。



項目	件数	構成比
1日	0	0.0%
2日	4	6.3%
3日	2	3.1%
4日	8	12.5%
5日	31	48.4%
6日以上	3	4.7%
決まっていない	6	9.4%
無回答	10	15.6%
回答者数	64	100.0%
非該当	277	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2日	4	9.3%	0	0.0%	0	0.0%
3日	2	4.7%	0	0.0%	0	0.0%
4日	5	11.6%	1	10.0%	2	18.2%
5日	16	37.2%	6	60.0%	9	81.8%
6日以上	3	7.0%	0	0.0%	0	0.0%
決まっていない	6	14.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	16.3%	3	30.0%	0	0.0%
回答者数	43	100.0%	10	100.0%	11	100.0%

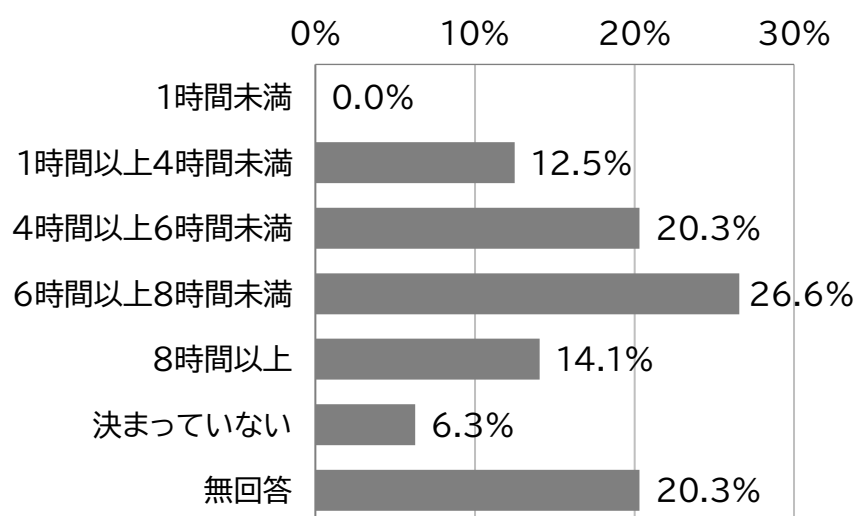


問 28-3 問 28 で「仕事をしている」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、1日に何時間くらい働いていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

仕事をしている方の1日の就業時間については、「6時間以上8時間未満」が26.6%で最も多く、ついで「4時間以上6時間未満」が20.3%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「6時間以上8時間未満」が10件、知的障がい者では4件、精神障がい者では「4時間以上6時間未満」が6件となっています。



項目	件数	構成比
1時間未満	0	0.0%
1時間以上4時間未満	8	12.5%
4時間以上6時間未満	13	20.3%
6時間以上8時間未満	17	26.6%
8時間以上	9	14.1%
決まっていない	4	6.3%
無回答	13	20.3%
回答者数	64	100.0%
非該当	277	-
合計	341	-

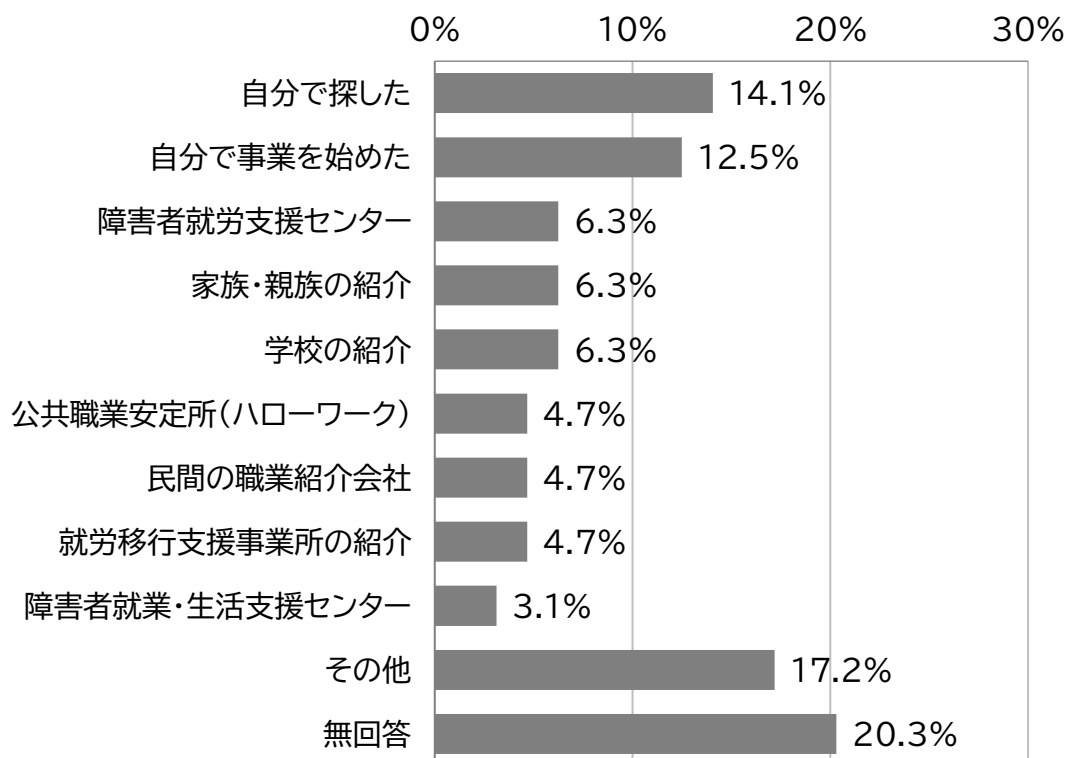
項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1時間未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1時間以上4時間未満	6	14.0%	1	10.0%	1	9.1%
4時間以上6時間未満	6	14.0%	1	10.0%	6	54.5%
6時間以上8時間未満	10	23.3%	4	40.0%	3	27.3%
8時間以上	7	16.3%	1	10.0%	1	9.1%
決まっていない	4	9.3%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	23.3%	3	30.0%	0	0.0%
回答者数	43	100.0%	10	100.0%	11	100.0%

問 28-4 問 28 で「仕事をしている」とお答えの方にお聞きします。

あなたは、現在の仕事をどうやって見つけましたか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

仕事をしている方の仕事の見つけた方法については、「自分で探した」が14.1%で最も多く、ついで「自分で事業を始めた」が12.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「自分で事業を始めた」が8件、知的障がい者では「学校の紹介」が3件、精神障がい者では「就労移行支援事業所の紹介」が3件となっています。



項目	件数	構成比
自分で探した	9	14.1%
自分で事業を始めた	8	12.5%
障害者就労支援センター	4	6.3%
家族・親族の紹介	4	6.3%
学校の紹介	4	6.3%
公共職業安定所(ハローワーク)	3	4.7%
民間の職業紹介会社	3	4.7%
就労移行支援事業所の紹介	3	4.7%
障害者就業・生活支援センター	2	3.1%
その他	11	17.2%
無回答	13	20.3%
回答者数	64	100.0%
非該当	277	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
公共職業安定所(ハローワーク)	2	4.7%	0	0.0%	1	9.1%
民間の職業紹介会社	2	4.7%	0	0.0%	1	9.1%
障害者就労支援センター	1	2.3%	2	20.0%	1	9.1%
自分で事業を始めた	8	18.6%	0	0.0%	0	0.0%
家族・親族の紹介	3	7.0%	0	0.0%	1	9.1%
学校の紹介	1	2.3%	3	30.0%	0	0.0%
自分で探した	7	16.3%	1	10.0%	1	9.1%
就労移行支援事業所の紹介	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%
障害者就業・生活支援センター	0	0.0%	1	10.0%	1	9.1%
その他	9	20.9%	0	0.0%	2	18.2%
無回答	10	23.3%	3	30.0%	0	0.0%
回答者数	43	100.0%	10	100.0%	11	100.0%

**【問 28-4 その他の記述】**

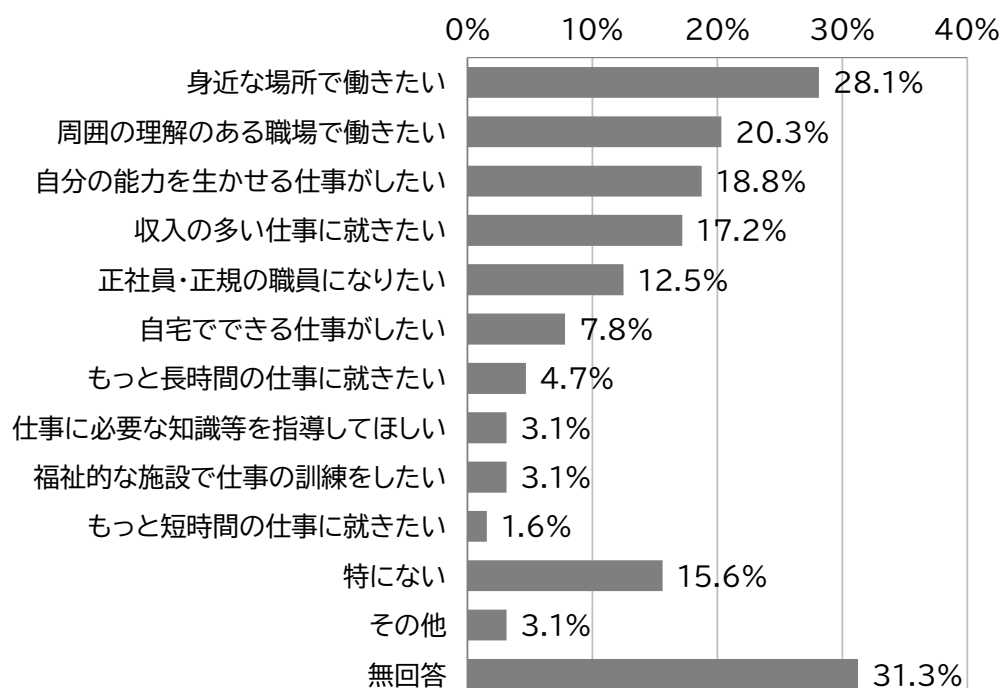
- 紹介してもらった
- チラシ
- 友人の紹介
- 広告
- 友人の紹介
- 新聞広告
- 両親が探し、勧められた。
- 友達から
- デイケア

問 28-5 問 28 で「仕事をしている」とお答えの方にお聞きします。

仕事に関して希望することはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

仕事に関しての希望については、「身近な場所で働きたい」が 28.1%で最も多く、ついで「周囲の理解のある職場で働きたい」が 20.3%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「身近な場所で働きたい」が 12 件、知的障がい者では「周囲の理解のある職場で働きたい」が 2 件、精神障がい者では「身近な場所で働きたい」「自分の能力を生かせる仕事がしたい」がそれぞれ 6 件となっています。



項目	件数	比率
身近な場所で働きたい	18	28.1%
周囲の理解のある職場で働きたい	13	20.3%
自分の能力を生かせる仕事がしたい	12	18.8%
収入の多い仕事に就きたい	11	17.2%
正社員・正規の職員になりたい	8	12.5%
自宅でできる仕事がしたい	5	7.8%
もっと長時間の仕事に就きたい	3	4.7%
仕事に必要な知識等を指導してほしい	2	3.1%
福祉的な施設で仕事の訓練をしたい	2	3.1%
もっと短時間の仕事に就きたい	1	1.6%
特にない	10	15.6%
その他	2	3.1%
無回答	20	31.3%
回答者数	64	-
非該当	277	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
身近な場所で働きたい	12	27.9%	0	0.0%	6	54.5%
自宅でできる仕事がしたい	4	9.3%	0	0.0%	1	9.1%
自分の能力を生かせる仕事がしたい	6	14.0%	0	0.0%	6	54.5%
仕事に必要な知識等を指導してほしい	1	2.3%	0	0.0%	1	9.1%
もっと短時間の仕事に就きたい	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
もっと長時間の仕事に就きたい	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%
正社員・正規の職員になりたい	4	9.3%	0	0.0%	4	36.4%
収入の多い仕事に就きたい	6	14.0%	1	10.0%	4	36.4%
周囲の理解のある職場で働きたい	6	14.0%	2	20.0%	5	45.5%
福祉的な施設で仕事の訓練をしたい	2	4.7%	0	0.0%	0	0.0%
特にない	7	16.3%	2	20.0%	1	9.1%
その他	1	2.3%	1	10.0%	0	0.0%
無回答	14	32.6%	5	50.0%	1	9.1%
回答者数	43	-	10	-	11	-

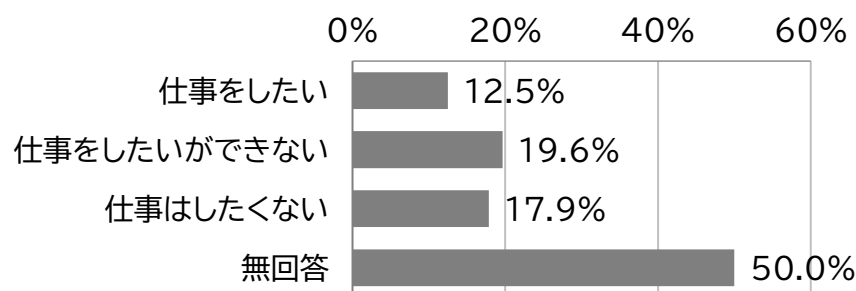
### 【問 28-5 その他の記述】

- 自分の好きな仕事
- 現在のまま、続けていきたい。

問 28-6 問 28 で、「仕事をしている」以外を選択した 15～65 歳の方にお聞きします。  
あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思えますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

仕事をしていない方の今後の仕事については、「仕事をしたい」が 12.5%、「仕事をしたいができない」が 19.6%、「仕事はしたくない」が 17.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「仕事はしたくない」が 6 件、知的障がい者では「仕事をしたい」「仕事はしたくない」がそれぞれ 1 件、精神障がい者では「仕事をしたいができない」が 7 件となっています。

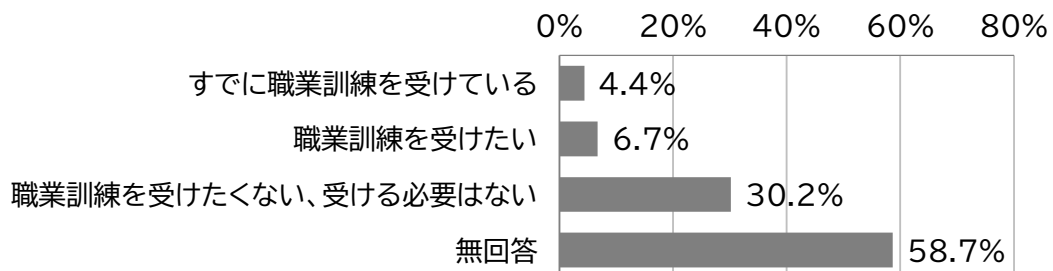


項目	件数	構成比
仕事をしたい	7	12.5%
仕事をしたいができない	11	19.6%
仕事はしたくない	10	17.9%
無回答	28	50.0%
回答者数	56	100.0%
非該当	285	-
合計	341	-

項目	仕事をしたい	仕事をしたい ができない	仕事はしたく ない	無回答	合計
身体障がい者	3	4	6	10	23
	13.0%	17.4%	26.1%	43.5%	100.0%
知的障がい者	1	0	1	8	10
	10.0%	0.0%	10.0%	80.0%	100.0%
精神障がい者	3	7	3	10	23
	13.0%	30.4%	13.0%	43.5%	100.0%

問 29 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

職業訓練を受けたいかについては、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 30.2%、「職業訓練を受けたい」が 6.7%、「すでに職業訓練を受けている」が 4.4%となっています。障がい別にみると、身体障がい者では「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 31.4% (82 件)、知的障がい者では 10 件、精神障がい者では 11 件となっています。



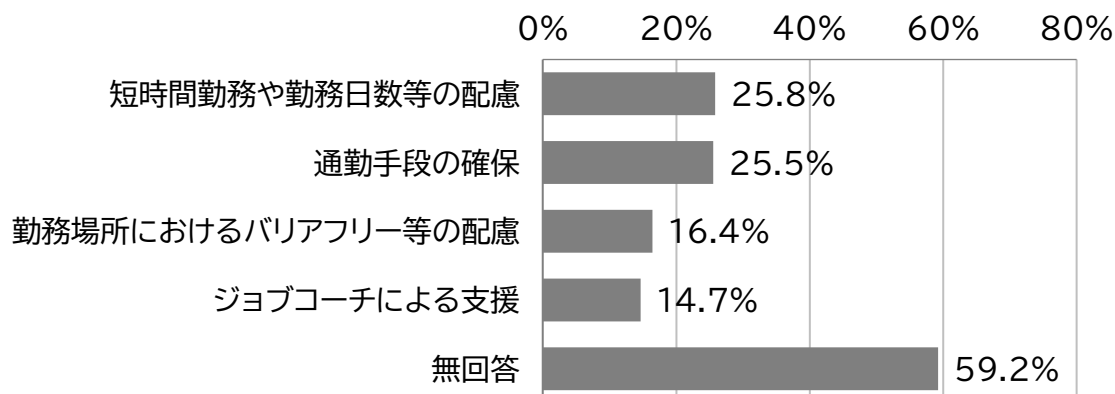
項目	件数	構成比
すでに職業訓練を受けている	15	4.4%
職業訓練を受けたい	23	6.7%
職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	103	30.2%
無回答	200	58.7%
合計	341	100.0%

項目	すでに職業訓練を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	無回答	合計
身体障がい者	6	9	82	164	261
	2.3%	3.4%	31.4%	62.8%	100.0%
知的障がい者	2	8	10	13	33
	6.1%	24.2%	30.3%	39.4%	100.0%
精神障がい者	7	6	11	23	47
	14.9%	12.8%	23.4%	48.9%	100.0%

問 30 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

就労支援として必要なことについては、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が 25.8%で最も多く、ついで「通勤手段の確保」が 25.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が 23.8% (62 件)、知的障がい者では「通勤手段の確保」が 14 件、精神障がい者では「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が 18 件となっています。



項目	件数	比率
短時間勤務や勤務日数等の配慮	88	25.8%
通勤手段の確保	87	25.5%
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	56	16.4%
ジョブコーチによる支援	50	14.7%
無回答	202	59.2%
回答者数	341	-

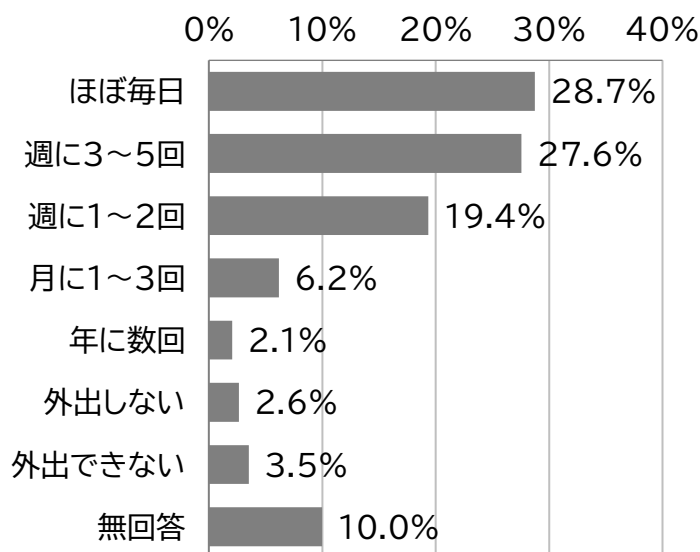
項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
通勤手段の確保	60	23.0%	14	42.4%	13	27.7%
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	48	18.4%	6	18.2%	2	4.3%
短時間勤務や勤務日数等の配慮	62	23.8%	8	24.2%	18	38.3%
ジョブコーチによる支援	31	11.9%	10	30.3%	9	19.1%
無回答	166	63.6%	16	48.5%	20	42.6%
回答者数	261	-	33	-	47	-

## 5. 外出について

問 31 あなたは、ふだんどのくらい外出しますか。職場や学校への通勤・通学も含めてください。(該当する番号1つに○をつけてください。)

ふだんの外出については、「ほぼ毎日」が28.7%で最も多く、ついで「週に3～5回」が27.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「週に3～5回」が28.4%（74件）、知的障がい者、精神障がい者では「ほぼ毎日」がそれぞれ15件となっています。



項目	件数	構成比
ほぼ毎日	98	28.7%
週に3～5回	94	27.6%
週に1～2回	66	19.4%
月に1～3回	21	6.2%
年に数回	7	2.1%
外出しない	9	2.6%
外出できない	12	3.5%
無回答	34	10.0%
合計	341	100.0%

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ほぼ毎日	68	26.1%	15	45.5%	15	31.9%
週に3～5回	74	28.4%	9	27.3%	11	23.4%
週に1～2回	52	19.9%	1	3.0%	13	27.7%
月に1～3回	17	6.5%	2	6.1%	2	4.3%
年に数回	5	1.9%	1	3.0%	1	2.1%
外出しない	7	2.7%	1	3.0%	1	2.1%
外出できない	10	3.8%	1	3.0%	1	2.1%
無回答	28	10.7%	3	9.1%	3	6.4%
回答者数	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

### 【問 31 外出しない理由】

- 病院生活のため。
- コロナ感染症やインフルエンザに感染しないため。
- 週4でデイサービスを利用で十分
- 特別養護老人ホームに入所のため
- コロナが終わるのを待っています。
- 引きこもり状態



### 【問 31 外出できない理由】

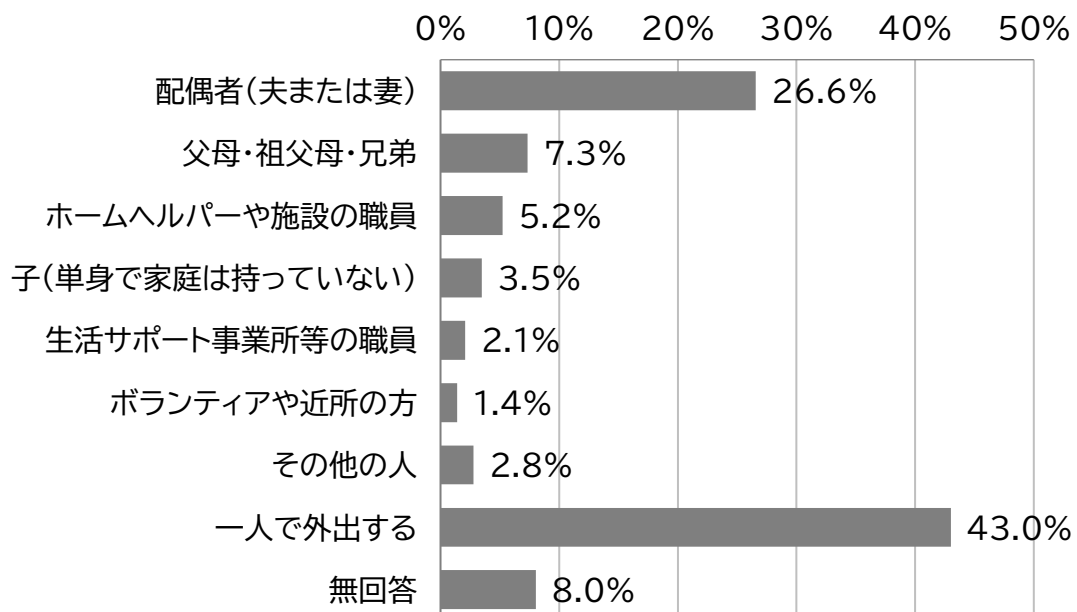
- 入院中
- 散歩位
- 入院
- 一人では移動できない(腰痛のため)。
- 主人の介護で最近出れなくなりました。
- 高次の介護が必要
- 目が不自由で付き添いがいないと歩けない。
- 一人で行動できない。
- 歩行困難のため
- コロナ過であるため
- 人に会えない病気だから

【問 31-1 から問 31-3 は、問 31 で、「ほぼ毎日」～「年に数回」を選択した場合にお答えください。】

問 31-1 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

外出の際の同伴者については、「配偶者(夫または妻)」が 26.6%で最も多く、ついで「父母・祖父母・兄弟」が 7.3%となっています。また、「一人で外出する」も 43.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「配偶者(夫または妻)」が 32.4% (70 件)、知的障がい者では「父母・祖父母・兄弟」が 8 件、精神障がい者では「配偶者(夫または妻)」が 6 件となっています。



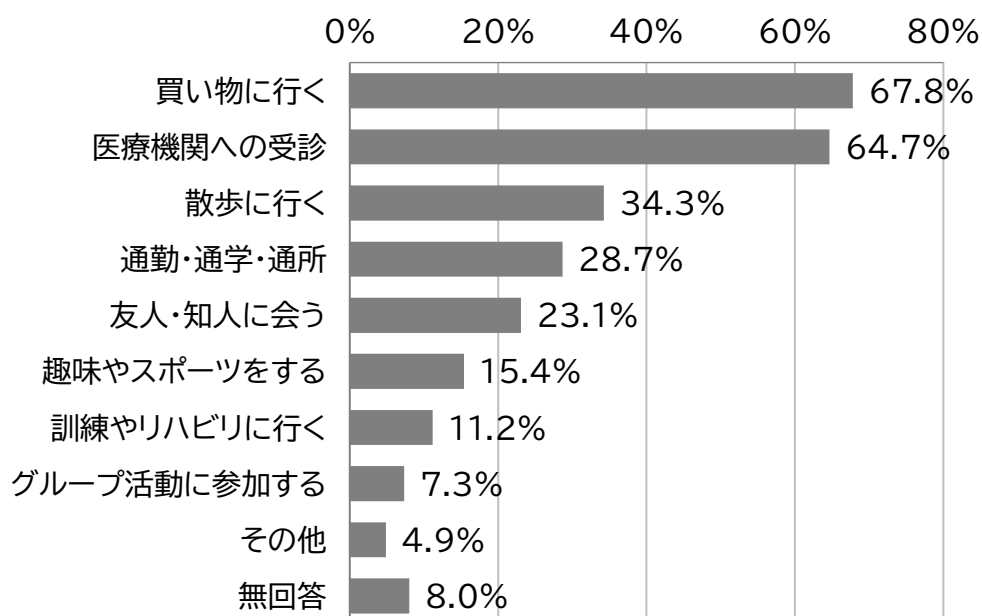
項目	件数	構成比
配偶者(夫または妻)	76	26.6%
父母・祖父母・兄弟	21	7.3%
ホームヘルパーや施設の職員	15	5.2%
子(単身で家庭は持っていない)	10	3.5%
生活サポート事業所等の職員	6	2.1%
ボランティアや近所の方	4	1.4%
その他の人	8	2.8%
一人で外出する	123	43.0%
無回答	23	8.0%
回答者数	286	100.0%
非該当	55	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
父母・祖父母・兄弟	8	3.7%	8	28.6%	5	11.9%
配偶者(夫または妻)	70	32.4%	0	0.0%	6	14.3%
子(単身で家庭は持っていない)	9	4.2%	0	0.0%	1	2.4%
ホームヘルパーや施設の職員	8	3.7%	5	17.9%	2	4.8%
生活サポート事業所等の職員	4	1.9%	2	7.1%	0	0.0%
ボランティアや近所の方	3	1.4%	1	3.6%	0	0.0%
その他の人	7	3.2%	1	3.6%	0	0.0%
一人で外出する	88	40.7%	8	28.6%	27	64.3%
無回答	19	8.8%	3	10.7%	1	2.4%
回答者数	216	100.0%	28	100.0%	42	100.0%

問 31-2 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

外出の目的については、「買い物に行く」が67.8%で最も多く、ついで「医療機関への受診」が64.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「買い物に行く」が68.5% (148件)、知的障がい者では「通勤・通学・通所」「買い物に行く」がそれぞれ17件、精神障がい者では「買い物に行く」が29件となっています。



項目	件数	比率
買い物に行く	194	67.8%
医療機関への受診	185	64.7%
散歩に行く	98	34.3%
通勤・通学・通所	82	28.7%
友人・知人に会う	66	23.1%
趣味やスポーツをする	44	15.4%
訓練やリハビリに行く	32	11.2%
グループ活動に参加する	21	7.3%
その他	14	4.9%
無回答	23	8.0%
回答者数	286	-
非該当	55	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
通勤・通学・通所	47	21.8%	17	60.7%	18	42.9%
訓練やリハビリに行く	24	11.1%	5	17.9%	3	7.1%
医療機関への受診	145	67.1%	14	50.0%	26	61.9%
買い物に行く	148	68.5%	17	60.7%	29	69.0%
友人・知人に会う	58	26.9%	4	14.3%	4	9.5%
趣味やスポーツをする	36	16.7%	6	21.4%	2	4.8%
グループ活動に参加する	19	8.8%	0	0.0%	2	4.8%
散歩に行く	70	32.4%	11	39.3%	17	40.5%
その他	10	4.6%	1	3.6%	3	7.1%
無回答	5	2.3%	2	7.1%	0	0.0%
回答者数	216	-	28	-	42	-

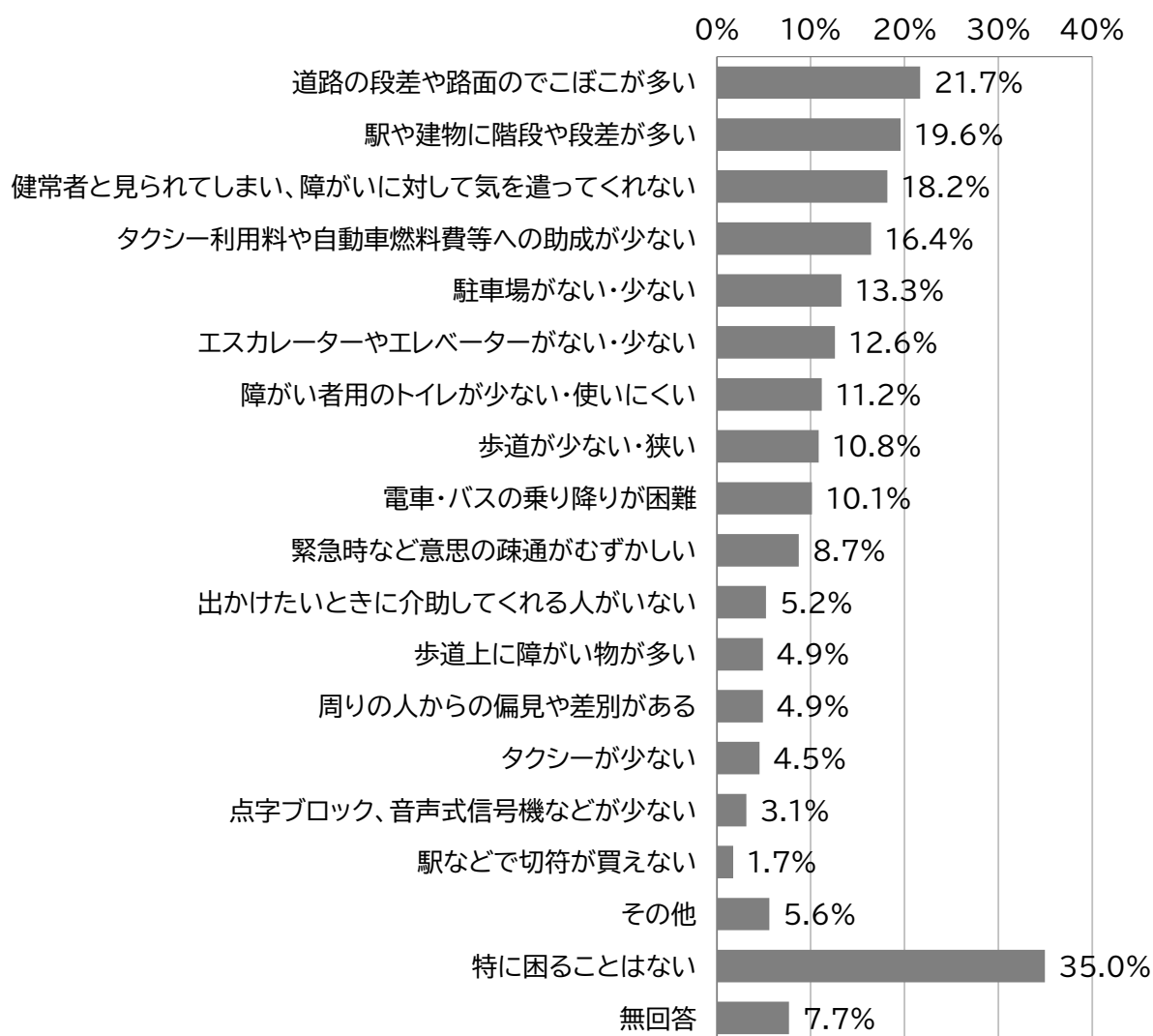
### 【問 31-2 その他の記述】

- 友人と会う。
- 野菜畑、貸農園へ行く
- ペット散歩 買物
- 食事
- ボランティア（ふくしプラザ）
- 外食する、コンサートに行く、美術館に行く、旅行
- 仕事
- デイサービス
- ゴミ出し
- 仕事
- 畑仕事
- ドライブ
- 坂道グループの聖地巡礼
- 旅行
- 食事
- 思考活動

問 31-3 あなたは外出するときに困ることはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

外出の際に困ることについては、「道路の段差や路面のでこぼこが多い」が21.7%で最も多く、ついで「駅や建物に階段や段差が多い」が19.6%、「健常者と見られてしまい、障がいに対して気を遣って欲しくない」が18.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「道路の段差や路面のでこぼこが多い」が24.5% (53件)、知的障がい者では「緊急時など意思の疎通がむずかしい」が10件、精神障がい者では「健常者と見られてしまい、障がいに対して気を遣って欲しくない」が11件となっています。



項目	件数	比率
道路の段差や路面のでこぼが多い	62	21.7%
駅や建物に階段や段差が多い	56	19.6%
健常者と見られてしまい、障がいに対して気を遣ってくれない	52	18.2%
タクシー利用料や自動車燃料費等への助成が少ない	47	16.4%
駐車場がない・少ない	38	13.3%
エスカレーターやエレベーターがない・少ない	36	12.6%
障がい者用のトイレが少ない・使いにくい	32	11.2%
歩道が少ない・狭い	31	10.8%
電車・バスの乗り降りが困難	29	10.1%
緊急時など意思の疎通がむずかしい	25	8.7%
出かけたいときに介助してくれる人がいない	15	5.2%
歩道上に障がい物が多い	14	4.9%
周りの人からの偏見や差別がある	14	4.9%
タクシーが少ない	13	4.5%
点字ブロック、音声式信号機などが少ない	9	3.1%
駅などで切符が買えない	5	1.7%
その他	16	5.6%
特に困ることはない	100	35.0%
無回答	22	7.7%
回答者数	286	-
非該当	55	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
駅や建物に階段や段差が多い	51	23.6%	3	10.7%	2	4.8%
エスカレーターやエレベーターがない・少ない	34	15.7%	1	3.6%	1	2.4%
障がい者用のトイレが少ない・使いにくい	29	13.4%	2	7.1%	1	2.4%
駐車場がない・少ない	33	15.3%	0	0.0%	5	11.9%
駅などで切符が買えない	2	0.9%	2	7.1%	1	2.4%
タクシーが少ない	11	5.1%	1	3.6%	1	2.4%
タクシー利用料や自動車燃料費等への助成が少ない	39	18.1%	3	10.7%	5	11.9%
電車・バスの乗り降りが困難	26	12.0%	2	7.1%	1	2.4%
歩道が少ない・狭い	26	12.0%	3	10.7%	2	4.8%
道路の段差や路面のでこぼが多い	53	24.5%	5	17.9%	4	9.5%
歩道上に障がい物が多い	9	4.2%	3	10.7%	2	4.8%
点字ブロック、音声式信号機などが少ない	9	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
出かけたいときに介助してくれる人がいない	15	6.9%	0	0.0%	0	0.0%
緊急時など意思の疎通がむずかしい	11	5.1%	10	35.7%	4	9.5%
周りの人からの偏見や差別がある	8	3.7%	1	3.6%	5	11.9%
健常者と見られてしまい、障がいに対して気を遣ってくれない	36	16.7%	5	17.9%	11	26.2%
その他	10	4.6%	2	7.1%	4	9.5%
特に困ることはない	73	33.8%	9	32.1%	18	42.9%
無回答	15	6.9%	3	10.7%	1	2.4%
回答者数	216	-	28	-	42	-

### 【問 31-3 その他の記述】

- 信号がみづらい
- どこへ行くのも歩いていくの、坂道などが多いと大変です。
- 電車でシルバーシートを若い人がスマホに夢中で席を立たない。
- 外出は病院行き、介助は送迎バスあり。
- 障害者用駐車スペースを健常者が利用し駐車するときに困る。
- 車を運転することができない。公共交通機関は費用がかかる。
- 物を落とすと拾えない。
- 駐車場に屋根がほしい。(雨の強い日などは車からの乗り降りが困難)
- 歩行、思うようにできない。
- 車椅子対応のタクシーに乗ったことはない→移送サービスの予約になる。
- 休む場所が少ない(椅子などない)。
- 緊急時の案内に文字情報がない。
- 土日のバスが少ないので待ち時間が長い。
- ほとんど一人で出かける。何かトラブルがあった時に、対応出来るか不安。自閉症のため、理解力が少々弱い。
- 木が歩道にはみ出ている歩きづらいところが多い。
- 精神障害者はバスしか割引されない。
- 対人恐怖で人の目が怖い。

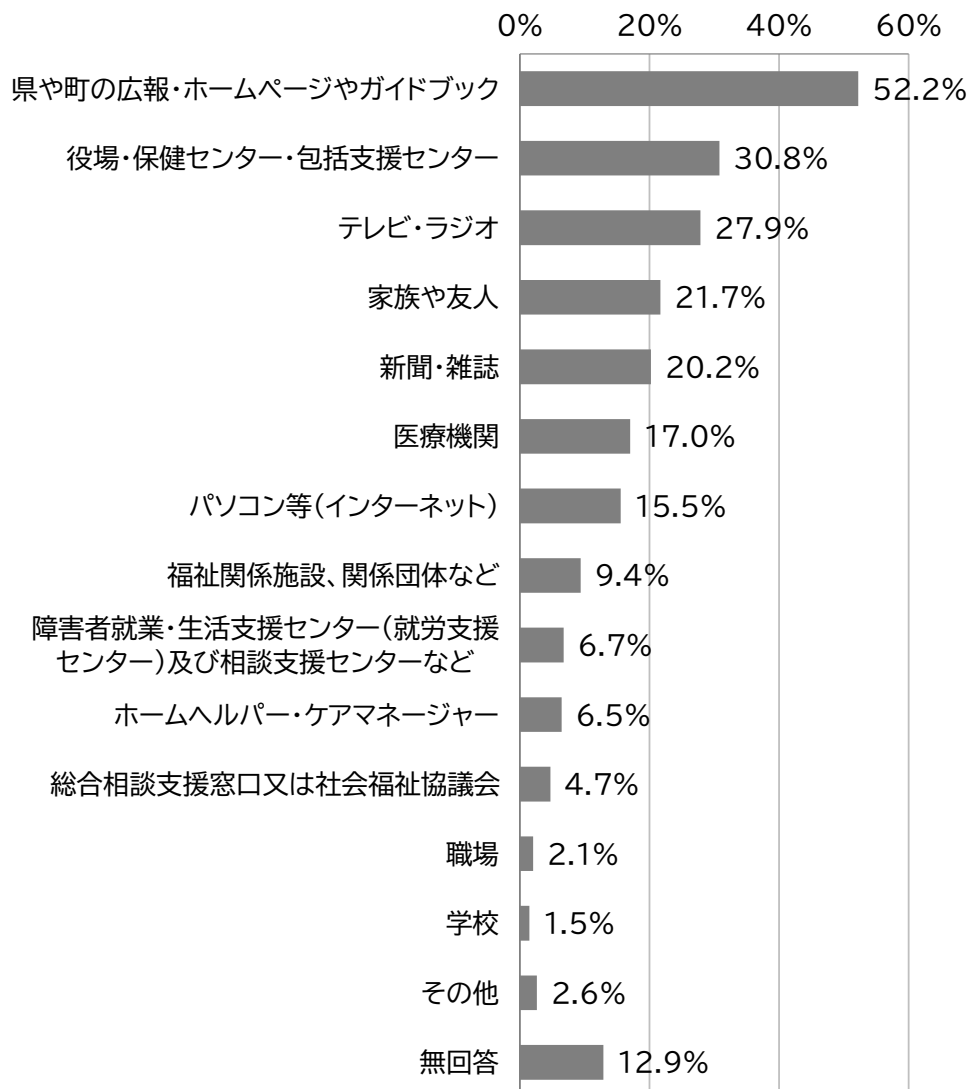
## 6. 重層的支援体制整備事業について

※重層的支援体制整備事業／既存の相談支援や地域づくり支援の取組を活かし、子ども・障害・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような「地域住民の複雑化・複合化したニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する事業

問 32 福祉に関する情報について、どこから情報を得ていますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

福祉の情報源については、「県や町の広報・ホームページやガイドブック」が 52.2%で最も多く、ついで「役場・保健センター・包括支援センター」が 30.8%、「テレビ・ラジオ」が 27.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「県や町の広報・ホームページやガイドブック」が 57.9% (151 件)、知的障がい者では 13 件、精神障がい者では「県や町の広報・ホームページやガイドブック」「役場・保健センター・包括支援センター」がそれぞれ 14 件となっています。





項目	件数	比率
県や町の広報・ホームページやガイドブック	178	52.2%
役場・保健センター・包括支援センター	105	30.8%
テレビ・ラジオ	95	27.9%
家族や友人	74	21.7%
新聞・雑誌	69	20.2%
医療機関	58	17.0%
パソコン等(インターネット)	53	15.5%
福祉関係施設、関係団体など	32	9.4%
障害者就業・生活支援センター(就労支援センター)及び相談支援センターなど	23	6.7%
ホームヘルパー・ケアマネージャー	22	6.5%
総合相談支援窓口又は社会福祉協議会	16	4.7%
職場	7	2.1%
学校	5	1.5%
その他	9	2.6%
無回答	44	12.9%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
県や町の広報・ホームページやガイドブック	151	57.9%	13	39.4%	14	29.8%
新聞・雑誌	63	24.1%	2	6.1%	4	8.5%
テレビ・ラジオ	84	32.2%	4	12.1%	7	14.9%
パソコン等(インターネット)	36	13.8%	4	12.1%	13	27.7%
家族や友人	58	22.2%	5	15.2%	11	23.4%
役場・保健センター・包括支援センター	81	31.0%	10	30.3%	14	29.8%
総合相談支援窓口又は社会福祉協議会	9	3.4%	3	9.1%	4	8.5%
福祉関係施設、関係団体など	20	7.7%	9	27.3%	3	6.4%
学校	2	0.8%	3	9.1%	0	0.0%
職場	5	1.9%	1	3.0%	1	2.1%
医療機関	42	16.1%	5	15.2%	11	23.4%
ホームヘルパー・ケアマネージャー	15	5.7%	3	9.1%	4	8.5%
障害者就業・生活支援センター(就労支援センター)及び相談支援センターなど	10	3.8%	4	12.1%	9	19.1%
その他	5	1.9%	2	6.1%	2	4.3%
無回答	31	11.9%	7	21.2%	6	12.8%
回答者数	261	-	33	-	47	-

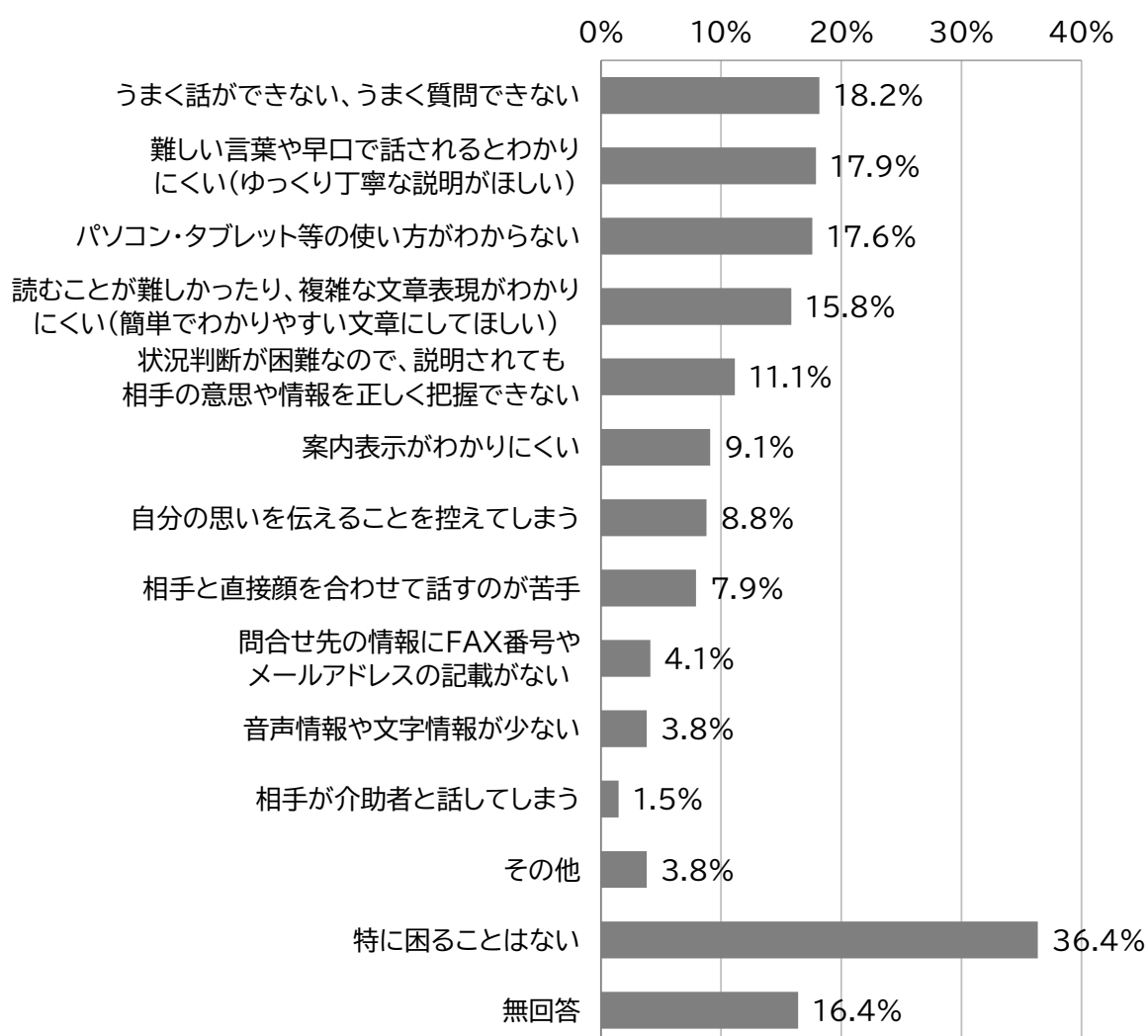
### 【問 32 その他の記述】

- 成年後見人
- 得てない
- 情報は得ていない。
- 分かりません。
- 成年後見人
- 家族
- グループホーム

**問 33 あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)**

情報入手やコミュニケーションで困ることについては、「うまく話ができない、うまく質問できない」が18.2%で最も多く、ついで「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい(ゆっくり丁寧な説明がほしい)」が17.9%、「パソコン・タブレット等の使い方がわからない」が17.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「パソコン・タブレット等の使い方がわからない」が18.4% (48件)、知的障がい者では「うまく話ができない、うまく質問できない」が14件、精神障がい者では13件となっています。



項目	件数	比率
うまく話ができない、うまく質問できない	62	18.2%
難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい(ゆっくり丁寧な説明がほしい)	61	17.9%
パソコン・タブレット等の使い方がわからない	60	17.6%
読むことが難しかったり、複雑な文章表現がわかりにくい(簡単でわかりやすい文章にしてほしい)	54	15.8%
状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない	38	11.1%
案内表示がわかりにくい	31	9.1%
自分の思いを伝えることを控えてしまう	30	8.8%
相手と直接顔を合わせて話すのが苦手	27	7.9%
問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	14	4.1%
音声情報や文字情報が少ない	13	3.8%
相手が介助者と話してしまう	5	1.5%
その他	13	3.8%
特に困ることはない	124	36.4%
無回答	56	16.4%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
案内表示がわかりにくい	23	8.8%	5	15.2%	3	6.4%
音声情報や文字情報が少ない	10	3.8%	2	6.1%	1	2.1%
パソコン・タブレット等の使い方がわからない	48	18.4%	7	21.2%	5	10.6%
問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	12	4.6%	1	3.0%	1	2.1%
相手と直接顔を合わせて話すのが苦手	13	5.0%	4	12.1%	10	21.3%
自分の思いを伝えることを控えてしまう	13	5.0%	6	18.2%	11	23.4%
うまく話ができない、うまく質問できない	35	13.4%	14	42.4%	13	27.7%
相手が介助者と話してしまう	4	1.5%	1	3.0%	0	0.0%
読むことが難しかったり、複雑な文章表現がわかりにくい(簡単でわかりやすい文章にしてほしい)	39	14.9%	9	27.3%	6	12.8%
難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい(ゆっくり丁寧な説明がほしい)	42	16.1%	10	30.3%	9	19.1%
状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない	24	9.2%	9	27.3%	5	10.6%
その他	12	4.6%	0	0.0%	1	2.1%
特に困ることはない	101	38.7%	8	24.2%	15	31.9%
無回答	41	15.7%	6	18.2%	9	19.1%
回答者数	261	-	33	-	47	-

### 【問 33 その他の記述】

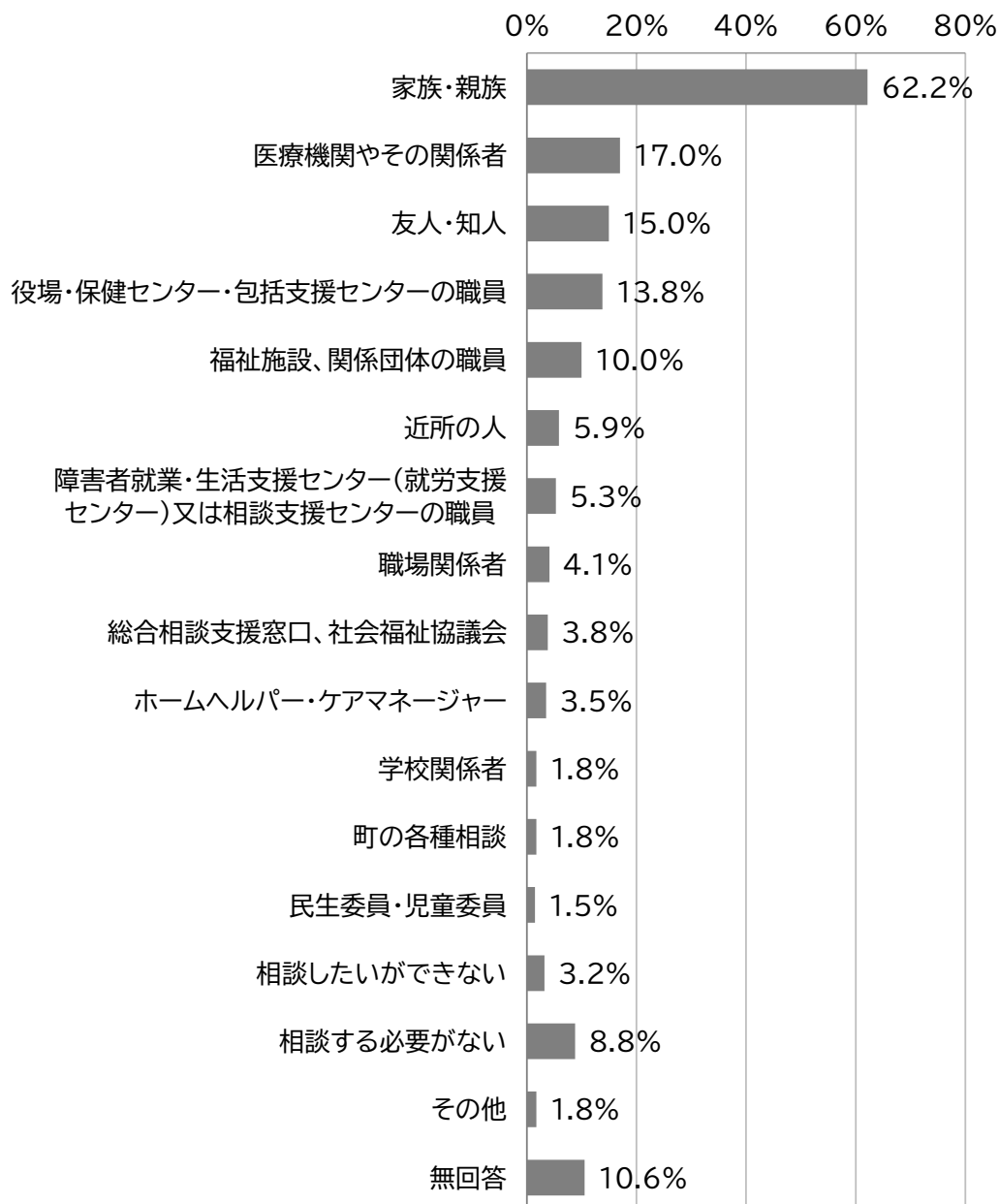
- デジタル化の対応、キャッシュレス化
- パソコン、タブレットを使いこなす人を前提にした情報がほとんど・・・もっとアナログ状態にある人のいることをわかった上での情報が必要
- 補聴器を使っても会話が聞き取りにくい時がある。
- 入院中
- 重症者のため、言語障害、判断・意思表示ができない 情報も入手できない。コミュニケーションもとれない。

- 失語症
- 加齢難聴で聞き取りが完全ではない。
- 話をする人がいない。
- 視覚者のため、パソコン等はやさしい。
- 目が悪いので読みやすくしてほしい。
- 町にきちんと専門知識を持っている方がいてアドバイスがほしい時に受けれるシステムがあったらいい。
- 町の障害者対策の全般についての説明会を3年間に1回ぐらい開催していただければ幸甚である。

問 34 日常生活や職場で困ったことなどを、どなたに相談していますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

相談先については、「家族・親族」が 62.2%で最も多く、ついで「医療機関やその関係者」が 17.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「家族・親族」が 64.4% (168 件)、知的障がい者では 16 件、精神障がい者では 28 件となっています。



項目	件数	比率
家族・親族	212	62.2%
医療機関やその関係者	58	17.0%
友人・知人	51	15.0%
役場・保健センター・包括支援センターの職員	47	13.8%
福祉施設、関係団体の職員	34	10.0%
近所の人	20	5.9%
障害者就業・生活支援センター(就労支援センター)又は相談支援センターの職員	18	5.3%
職場関係者	14	4.1%
総合相談支援窓口、社会福祉協議会	13	3.8%
ホームヘルパー・ケアマネージャー	12	3.5%
学校関係者	6	1.8%
町の各種相談	6	1.8%
民生委員・児童委員	5	1.5%
相談したいができない	11	3.2%
相談する必要がない	30	8.8%
その他	6	1.8%
無回答	36	10.6%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
家族・親族	168	64.4%	16	48.5%	28	59.6%
近所の人	19	7.3%	1	3.0%	0	0.0%
役場・保健センター・包括支援センターの職員	38	14.6%	4	12.1%	5	10.6%
民生委員・児童委員	5	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
医療機関やその関係者	41	15.7%	4	12.1%	13	27.7%
福祉施設、関係団体の職員	21	8.0%	10	30.3%	3	6.4%
総合相談支援窓口、社会福祉協議会	7	2.7%	4	12.1%	2	4.3%
職場関係者	9	3.4%	3	9.1%	2	4.3%
学校関係者	3	1.1%	3	9.1%	0	0.0%
ホームヘルパー・ケアマネージャー	7	2.7%	3	9.1%	2	4.3%
友人・知人	44	16.9%	2	6.1%	5	10.6%
町の各種相談	5	1.9%	1	3.0%	0	0.0%
障害者就業・生活支援センター(就労支援センター)又は相談支援センターの職員	5	1.9%	4	12.1%	9	19.1%
相談したいができない	8	3.1%	0	0.0%	3	6.4%
相談する必要がない	25	9.6%	2	6.1%	3	6.4%
その他	3	1.1%	1	3.0%	2	4.3%
無回答	28	10.7%	4	12.1%	4	8.5%
回答者数	261	-	33	-	47	-

#### 【問 34 その他の記述】

- 入所施設の職員
- ケアマネさん
- 入間障害者基幹相談支援センター
- 成年後見人
- 医者
- 病院
- カウンセラー

問 34-1 問 34 で「14. 相談したいができない」と答えた方にお聞きします。

相談できない理由は何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

相談できない理由については、「相談しても満足がいく回答がもらえない」「プライバシー保護に不安がある」がそれぞれ6件となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「プライバシー保護に不安がある」が5件、精神障がい者では「相談しても満足がいく回答がもらえない」が3件となっています。

項目	件数	比率
相談しても満足がいく回答がもらえない	6	54.5%
プライバシー保護に不安がある	6	54.5%
どこ(だれ)に相談したらよいかわからない	4	36.4%
身近なところに相談できるところがない	4	36.4%
夜間や休日などに相談するところがない	2	18.2%
その他	1	9.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	11	-
非該当	330	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
どこ(だれ)に相談したらよいかわからない	2	25.0%	0	-	2	66.7%
身近なところに相談できるところがない	2	25.0%	0	-	2	66.7%
相談しても満足がいく回答がもらえない	3	37.5%	0	-	3	100.0%
プライバシー保護に不安がある	5	62.5%	0	-	1	33.3%
夜間や休日などに相談するところがない	0	0.0%	0	-	2	66.7%
その他	1	12.5%	0	-	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	-	0	0.0%
回答者数	8	-	0	-	3	-

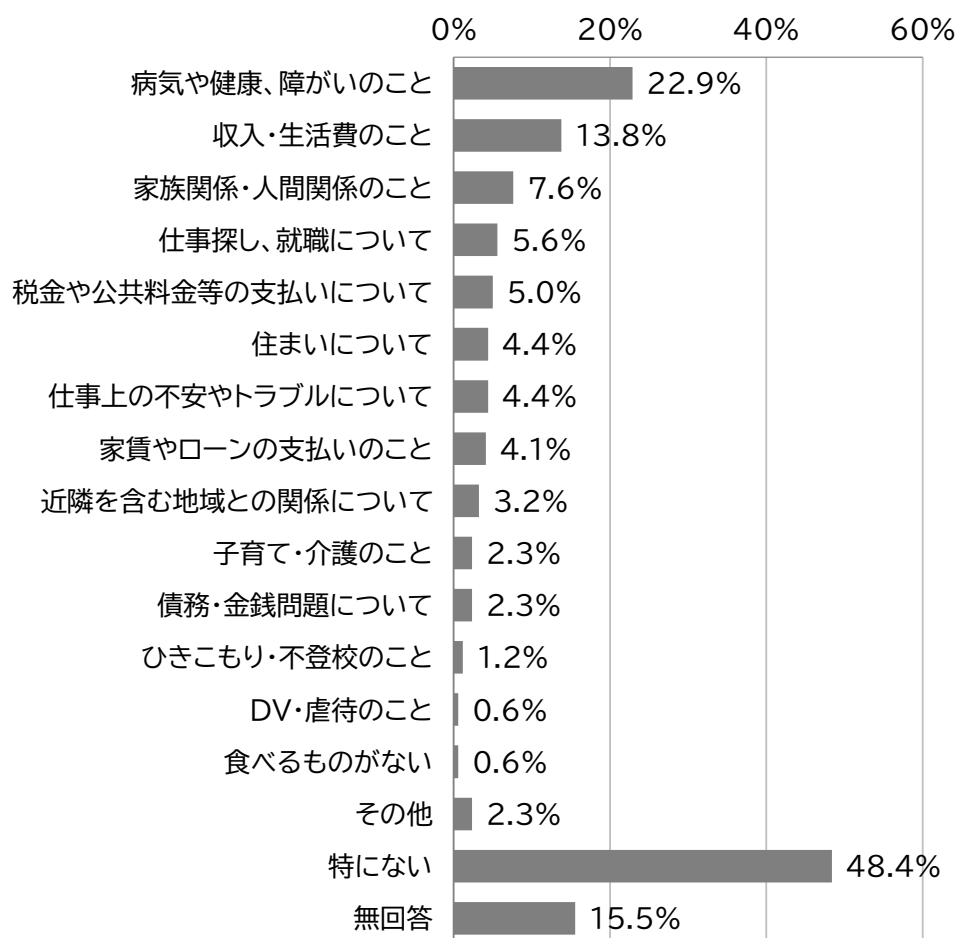
【問 34-1 その他の記述】

- 口がきけない
- 役場担当職員への不信感があり、相談に抵抗がある。

問 35 あなたの福祉にかかわる困りごとで相談したいことはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

ご自身の相談したいことについては、「病気や健康、障がいのこと」が 22.9%で最も多く、ついで「収入・生活費のこと」が 13.8%となっています。一方で「特にない」が 48.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「病気や健康、障がいのこと」が 20.7% (54 件)、知的障がい者では 10 件、精神障がい者では 14 件となっています。





項目	件数	比率
病気や健康、障がいのこと	78	22.9%
収入・生活費のこと	47	13.8%
家族関係・人間関係のこと	26	7.6%
仕事探し、就職について	19	5.6%
税金や公共料金等の支払いについて	17	5.0%
住まいについて	15	4.4%
仕事上の不安やトラブルについて	15	4.4%
家賃やローンの支払いのこと	14	4.1%
近隣を含む地域との関係について	11	3.2%
子育て・介護のこと	8	2.3%
債務・金銭問題について	8	2.3%
ひきこもり・不登校のこと	4	1.2%
DV・虐待のこと	2	0.6%
食べるものがない	2	0.6%
その他	8	2.3%
特にない	165	48.4%
無回答	53	15.5%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
病気や健康、障がいのこと	54	20.7%	10	30.3%	14	29.8%
家賃やローンの支払いのこと	9	3.4%	1	3.0%	4	8.5%
仕事探し、就職について	7	2.7%	2	6.1%	10	21.3%
家族関係・人間関係のこと	13	5.0%	6	18.2%	7	14.9%
DV・虐待のこと	1	0.4%	0	0.0%	1	2.1%
住まいについて	8	3.1%	1	3.0%	6	12.8%
税金や公共料金等の支払いについて	10	3.8%	2	6.1%	5	10.6%
仕事上の不安やトラブルについて	7	2.7%	2	6.1%	6	12.8%
子育て・介護のこと	5	1.9%	3	9.1%	0	0.0%
食べるものがない	1	0.4%	1	3.0%	0	0.0%
収入・生活費のこと	30	11.5%	5	15.2%	12	25.5%
債務・金銭問題について	4	1.5%	2	6.1%	2	4.3%
近隣を含む地域との関係について	6	2.3%	3	9.1%	2	4.3%
ひきこもり・不登校のこと	0	0.0%	1	3.0%	3	6.4%
その他	7	2.7%	1	3.0%	0	0.0%
特にない	134	51.3%	14	42.4%	17	36.2%
無回答	39	14.9%	6	18.2%	8	17.0%
回答者数	261	-	33	-	47	-

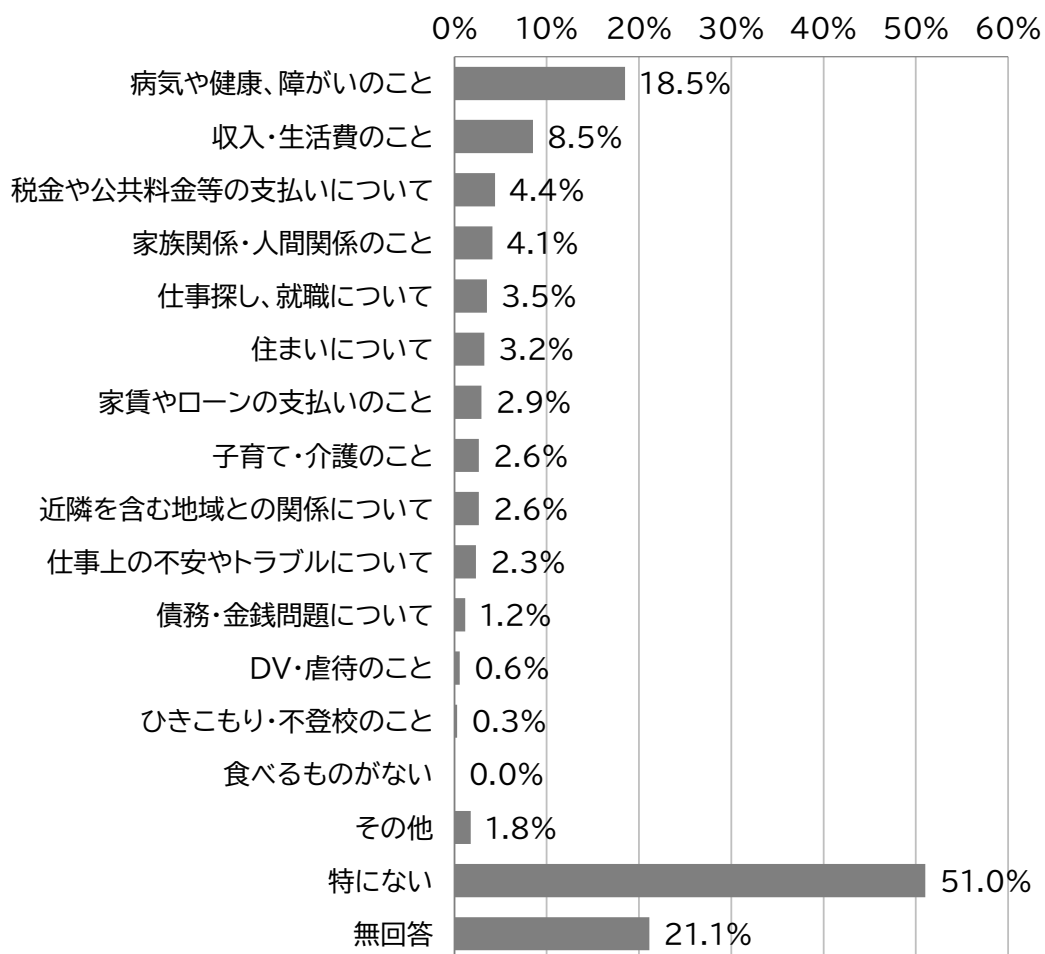
### 【問 35 その他の記述】

- 情報の内容
- 施設・病院職員に 46 時中みてもらっている
- 親が死んだ後の世話について
- 加齢による日常生活
- 今は特にない。今後はわからない
- 成年後見制度について知りたい
- 介護者がいなくなった時の対策等について。
- 将来の生活のこと

問 36 “あなたの家族”の福祉にかかわる困りごとで相談したいことはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

家族の相談したいことについては、「病気や健康、障がいのこと」が 18.5%で最も多く、ついで「収入・生活費のこと」が 8.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「病気や健康、障がいのこと」が 17.2%（45 件）で、知的障がい者では 7 件、精神障がい者では 11 件となっています。



項目	件数	比率
病気や健康、障がいのこと	63	18.5%
収入・生活費のこと	29	8.5%
税金や公共料金等の支払いについて	15	4.4%
家族関係・人間関係のこと	14	4.1%
仕事探し、就職について	12	3.5%
住まいについて	11	3.2%
家賃やローンの支払いのこと	10	2.9%
子育て・介護のこと	9	2.6%
近隣を含む地域との関係について	9	2.6%
仕事上の不安やトラブルについて	8	2.3%
債務・金銭問題について	4	1.2%
DV・虐待のこと	2	0.6%
ひきこもり・不登校のこと	1	0.3%
食べるものがない	0	0.0%
その他	6	1.8%
特になし	174	51.0%
無回答	72	21.1%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
病気や健康、障がいのこと	45	17.2%	7	21.2%	11	23.4%
家賃やローンの支払いのこと	7	2.7%	1	3.0%	2	4.3%
仕事探し、就職について	5	1.9%	2	6.1%	5	10.6%
家族関係・人間関係のこと	6	2.3%	3	9.1%	5	10.6%
DV・虐待のこと	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%
住まいについて	7	2.7%	0	0.0%	4	8.5%
税金や公共料金等の支払いについて	12	4.6%	0	0.0%	3	6.4%
仕事上の不安やトラブルについて	4	1.5%	1	3.0%	3	6.4%
子育て・介護のこと	4	1.5%	3	9.1%	2	4.3%
食べるものがない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入・生活費のこと	23	8.8%	1	3.0%	5	10.6%
債務・金銭問題について	3	1.1%	0	0.0%	1	2.1%
近隣を含む地域との関係について	6	2.3%	1	3.0%	2	4.3%
ひきこもり・不登校のこと	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%
その他	5	1.9%	1	3.0%	0	0.0%
特になし	136	52.1%	17	51.5%	21	44.7%
無回答	55	21.1%	7	21.2%	10	21.3%
回答者数	261	-	33	-	47	-

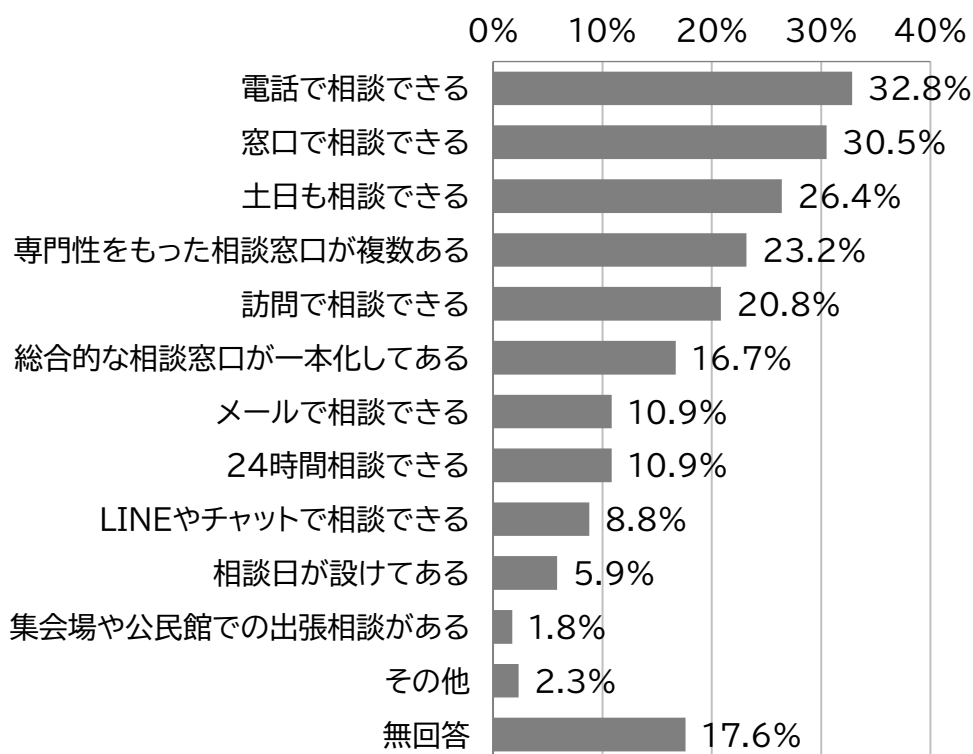
### 【問 36 その他の記述】

- 入院中
- 高齢化して病気や健康が心配
- 我々夫婦が年をとって リカを看られなくなった際
- かわりがいない
- 将来のこと

問 37 あなたが考える福祉にかかわる相談しやすい環境とはどのような環境ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

相談しやすい環境については、「電話で相談できる」が 32.8%で最も多く、ついで「窓口で相談できる」が 30.5%、「土日も相談できる」が 26.4%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「電話で相談できる」が 34.1% (89 件)、知的障がい者では「窓口で相談できる」「土日も相談できる」がそれぞれ 9 件、精神障がい者では「窓口で相談できる」が 19 件となっています。



項目	件数	比率
電話で相談できる	112	32.8%
窓口で相談できる	104	30.5%
土日も相談できる	90	26.4%
専門性をもった相談窓口が複数ある	79	23.2%
訪問で相談できる	71	20.8%
総合的な相談窓口が一本化してある	57	16.7%
メールで相談できる	37	10.9%
24時間相談できる	37	10.9%
LINEやチャットで相談できる	30	8.8%
相談日が設けてある	20	5.9%
集会場や公民館での出張相談がある	6	1.8%
その他	8	2.3%
無回答	60	17.6%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
窓口で相談できる	76	29.1%	9	27.3%	19	40.4%
電話で相談できる	89	34.1%	7	21.2%	16	34.0%
訪問で相談できる	54	20.7%	6	18.2%	11	23.4%
メールで相談できる	26	10.0%	1	3.0%	10	21.3%
LINEやチャットで相談できる	17	6.5%	5	15.2%	8	17.0%
24時間相談できる	26	10.0%	3	9.1%	8	17.0%
土日でも相談できる	64	24.5%	9	27.3%	17	36.2%
相談日が設けてある	14	5.4%	1	3.0%	5	10.6%
専門性をもった相談窓口が複数ある	61	23.4%	8	24.2%	10	21.3%
総合的な相談窓口が一本化してある	41	15.7%	7	21.2%	9	19.1%
集会場や公民館での出張相談がある	6	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
その他	5	1.9%	1	3.0%	2	4.3%
無回答	43	16.5%	9	27.3%	8	17.0%
回答者数	261	-	33	-	47	-

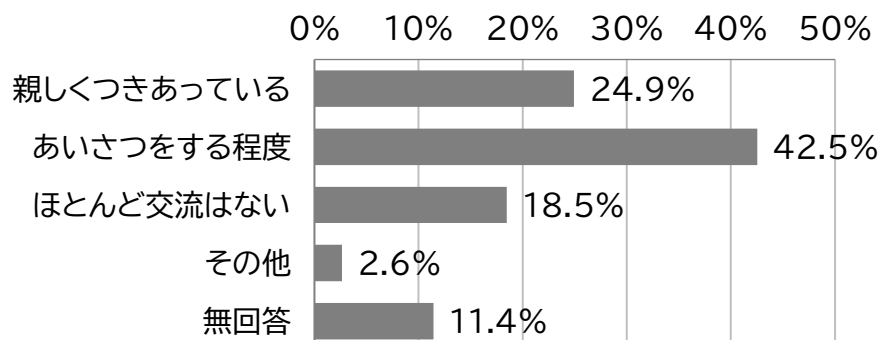
### 【問 37 その他の記述】

- 役場長寿福祉課職員および施設・病院職員と相談する。
- 親身に相談にのってくれるところ
- ZOOM など
- 相談できない。
- 信頼できる相談員がいる。
- 当人の立場で相談して決める。
- 友人、知人

問 38 あなたは、近所や地域の人と交流をしていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

近所や地域の人と交流のについては、「あいさつをする程度」が 42.5%で最も多く、ついで「親しくつきあっている」が 24.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「あいさつをする程度」が 40.6% (106 件)、知的障がい者では 13 件、精神障がい者では 26 件となっています。



項目	件数	構成比
親しくつきあっている	85	24.9%
あいさつをする程度	145	42.5%
ほとんど交流はない	63	18.5%
その他	9	2.6%
無回答	39	11.4%
合計	341	100.0%

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
親しくつきあっている	77	29.5%	5	15.2%	3	6.4%
あいさつをする程度	106	40.6%	13	39.4%	26	55.3%
ほとんど交流はない	37	14.2%	11	33.3%	15	31.9%
その他	8	3.1%	1	3.0%	0	0.0%
無回答	33	12.6%	3	9.1%	3	6.4%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

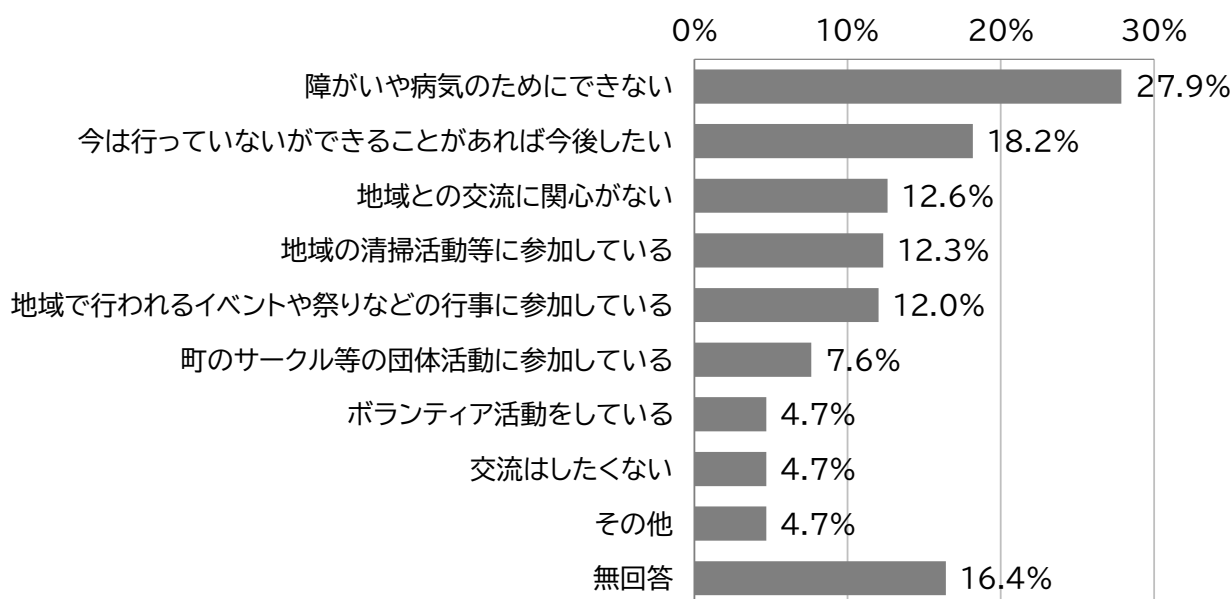
**【問 38 その他の記述】**

- 入院中
- 入院生活のため交流なし
- 手話交流会
- 施設・病院に入っているため地域との交流はない。
- 特定の友人との交流
- 親戚、友人など
- 出来ない。施設に入所している為

問 39 あなたご自身は、地域との交流を深めるための活動をしていますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

地域との交流を深めるための活動については、「障がいや病気のためにできない」が 27.9%で最も多く、ついで「今は行っていないができることがあれば今後したい」が 18.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「障がいや病気のためにできない」が 31.0% (81 件)、知的障がい者では「地域で行われるイベントや祭りなどの行事に参加している」が 9 件、精神障がい者では「障がいや病気のためにできない」が 13 件となっています。



項目	件数	比率
障がいや病気のためにできない	95	27.9%
今は行っていないができることがあれば今後したい	62	18.2%
地域との交流に関心がない	43	12.6%
地域の清掃活動等に参加している	42	12.3%
地域で行われるイベントや祭りなどの行事に参加している	41	12.0%
町のサークル等の団体活動に参加している	26	7.6%
ボランティア活動をしている	16	4.7%
交流はしたくない	16	4.7%
その他	16	4.7%
無回答	56	16.4%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
ボランティア活動をしている	15	5.7%	1	3.0%	0	0.0%
地域の清掃活動等に参加している	37	14.2%	2	6.1%	3	6.4%
地域で行われるイベントや祭りなどの行事に参加している	29	11.1%	9	27.3%	3	6.4%
町のサークル等の団体活動に参加している	25	9.6%	1	3.0%	0	0.0%
今は行っていないができれば今後したい	46	17.6%	4	12.1%	12	25.5%
障がいや病気のためにできない	81	31.0%	1	3.0%	13	27.7%
交流はしたくない	8	3.1%	1	3.0%	7	14.9%
地域との交流に関心がない	29	11.1%	7	21.2%	7	14.9%
その他	10	3.8%	2	6.1%	4	8.5%
無回答	42	16.1%	9	27.3%	5	10.6%
回答者数	261	-	33	-	47	-

### 【問 39 その他の記述】

- 障害者関係の NPO 法人に係っていましたが、高齢のため、昨年隠居。
- 高齢で活動できない。
- 年をとったので今はあまり参加していない。(以前はなんにでも参加していました。)
- 入院生活のためなし。
- 重症者(最重度の脳性麻痺のため何にもできない。)
- 主人が病気のためできない。
- 若い頃はいろいろやったが今はやりたくない。
- 交流できない
- 仕事でほとんどできない。
- コロナ禍でコーラス会の中止
- わからない
- ボランティアには興味がある。

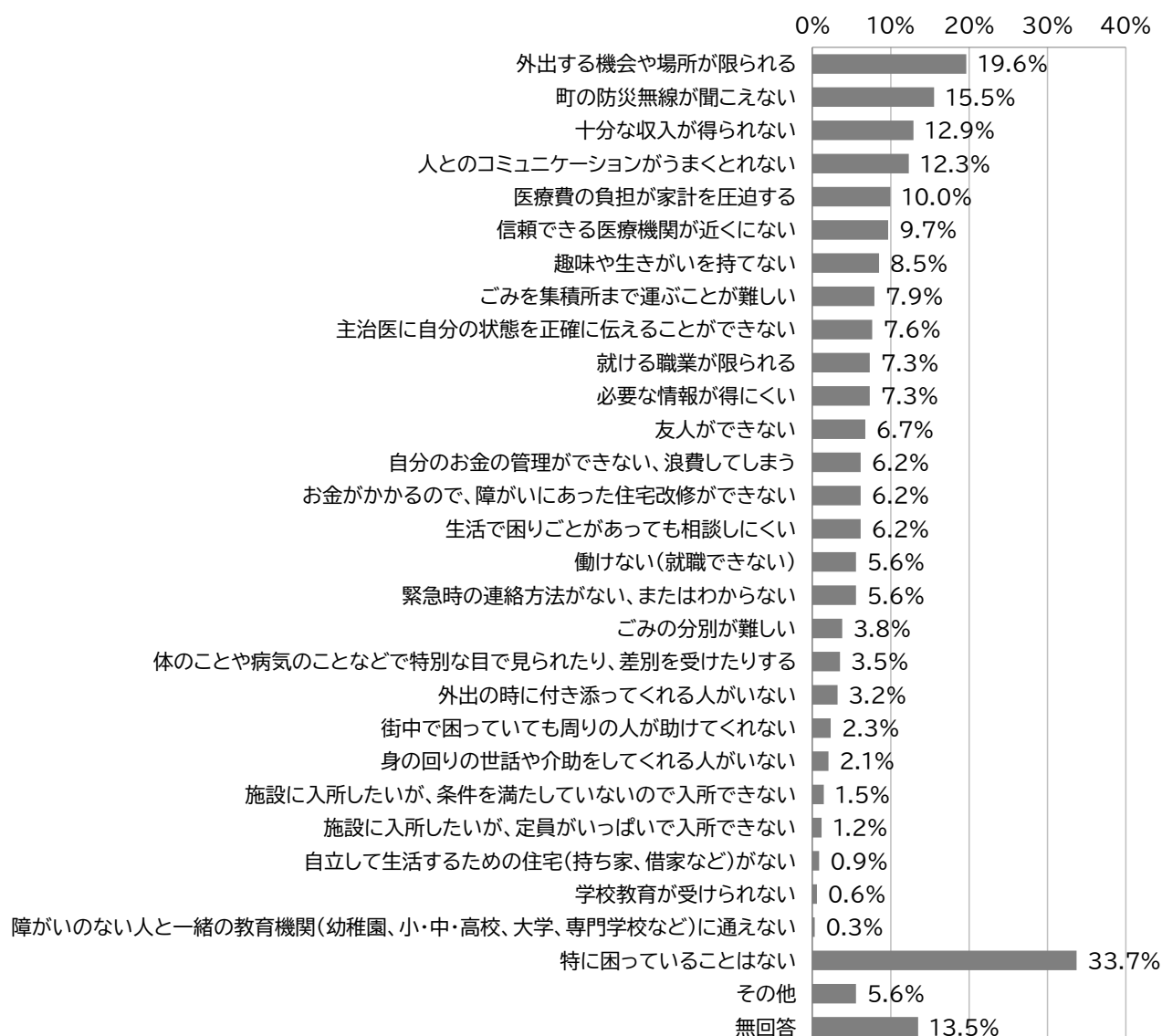


## 7. 福祉サービスについて

問 40 あなたは、現在の生活で困っていることがありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

現在の生活で困っていることについては、「外出する機会や場所が限られる」が 19.6%で最も多く、ついで「町の防災無線が聞こえない」が 15.5%、「十分な収入が得られない」が 12.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「外出する機会や場所が限られる」が 18.0% (47 件)、知的障がい者では「人とのコミュニケーションがうまくとれない」が 9 件、精神障がい者では「趣味や生きがいを持ってない」が 14 件となっています。



項目	件数	比率
外出する機会や場所が限られる	67	19.6%
町の防災無線が聞こえない	53	15.5%
十分な収入が得られない	44	12.9%
人とのコミュニケーションがうまくとれない	42	12.3%
医療費の負担が家計を圧迫する	34	10.0%
信頼できる医療機関が近くにない	33	9.7%
趣味や生きがいを持ってない	29	8.5%
ごみを集積所まで運ぶことが難しい	27	7.9%
主治医に自分の状態を正確に伝えることができない	26	7.6%
就ける職業が限られる	25	7.3%
必要な情報が得にくい	25	7.3%
友人ができない	23	6.7%
自分のお金の管理ができない、浪費してしまう	21	6.2%
お金がかかるので、障がいにあった住宅改修ができない	21	6.2%
生活で困りごとがあっても相談しにくい	21	6.2%
働けない(就職できない)	19	5.6%
緊急時の連絡方法がない、またはわからない	19	5.6%
ごみの分別が難しい	13	3.8%
体のことや病気のことなどで特別な目で見られたり、差別を受けたりする	12	3.5%
外出の時に付き添ってくれる人がいない	11	3.2%
街中で困っていても周りの人が助けてくれない	8	2.3%
身の回りの世話や介助をしてくれる人がいない	7	2.1%
施設に入所したいが、条件を満たしていないので入所できない	5	1.5%
施設に入所したいが、定員がいっぱいで入所できない	4	1.2%
自立して生活するための住宅(持ち家、借家など)がない	3	0.9%
学校教育が受けられない	2	0.6%
障がいのない人と一緒に教育機関(幼稚園、小・中・高校、大学、専門学校など)に通えない	1	0.3%
特に困っていることはない	115	33.7%
その他	19	5.6%
無回答	46	13.5%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
身の回りの世話や介助をしてくれる人がいない	7	2.7%	0	0.0%	0	0.0%
外出の時に付き添ってくれる人がいない	10	3.8%	0	0.0%	1	0.4%
自立して生活するための住宅(持ち家、借家など)がない	0	0.0%	0	0.0%	3	1.1%
自分のお金の管理ができない、浪費してしまう	10	3.8%	3	1.1%	8	3.1%
施設に入所したいが、定員がいっぱいで入所できない	4	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
施設に入所したいが、条件を満たしていないので入所できない	5	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
学校教育が受けられない	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%
障がいのない人と一緒に教育機関(幼稚園、小・中・高校、大学、専門学校など)に通えない	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%
働けない(就職できない)	10	3.8%	0	0.0%	9	3.4%
就ける職業に限られる	11	4.2%	4	1.5%	10	3.8%
十分な収入が得られない	26	10.0%	6	2.3%	12	4.6%
医療費の負担が家計を圧迫する	23	8.8%	2	0.8%	9	3.4%
主治医に自分の状態を正確に伝えることができない	15	5.7%	5	1.9%	6	2.3%
信頼できる医療機関が近くにない	21	8.0%	2	0.8%	10	3.8%
お金がかかるので、障がいにあった住宅改修ができない	18	6.9%	1	0.4%	2	0.8%
趣味や生きがいを持ってない	12	4.6%	3	1.1%	14	5.4%
生活で困りごとがあっても相談しにくい	11	4.2%	2	0.8%	8	3.1%
必要な情報が得にくい	15	5.7%	2	0.8%	8	3.1%
人とのコミュニケーションがうまくとれない	21	8.0%	9	3.4%	12	4.6%
友人ができない	10	3.8%	2	0.8%	11	4.2%
外出する機会や場所が限られる	47	18.0%	8	3.1%	12	4.6%
街中で困っていても周りの人が助けてくれない	4	1.5%	2	0.8%	2	0.8%
体のことや病気のことなどで特別な目で見られたり、差別を受けたりする	6	2.3%	1	0.4%	5	1.9%
町の防災無線が聞こえない	45	17.2%	1	0.4%	7	2.7%
緊急時の連絡方法がない、またはわからない	10	3.8%	3	1.1%	6	2.3%
ごみを集積所まで運ぶことが難しい	26	10.0%	0	0.0%	1	0.4%
ごみの分別が難しい	8	3.1%	3	1.1%	2	0.8%
特に困っていることはない	94	36.0%	11	4.2%	10	3.8%
その他	13	5.0%	3	1.1%	3	1.1%
無回答	33	12.6%	7	2.7%	6	2.3%
回答者数	261	-	33	-	47	-

#### 【問 40 その他の記述】

- 耳が遠い。
- 築 50 年の家が古くなっているが、新築はおろか、中古への買い換えもむずかしい。
- 具体的なサービスが有るのがわからない。(次のページにありました)
- 収入より支出が多い。
- 全て妻がやってくれる。
- ごみ集積場の掃除当番が出来ない。
- 重症者(重度重複心身障害者)で入所施設(病院付き)で看護・介護の世話を受けているので特に困ったことはない。
- 大学病院の医師に早足で歩くようにと言われたが早く歩くと息が苦しくなり出来ない。転ぶなどとも言われゆっくり歩くが、買物くらいです。
- 近隣への買い物など外出のために使用できる交通。
- 両親の介護。
- 今は困っていないがこれからはわかりません。
- ゴミは近所の人が手伝ってくれている。
- 困ってる？なわけあるかーい。
- 一人で行動できない。
- 公共交通機関をもっと便利に。デマンドに応える手段をもっと便利に。

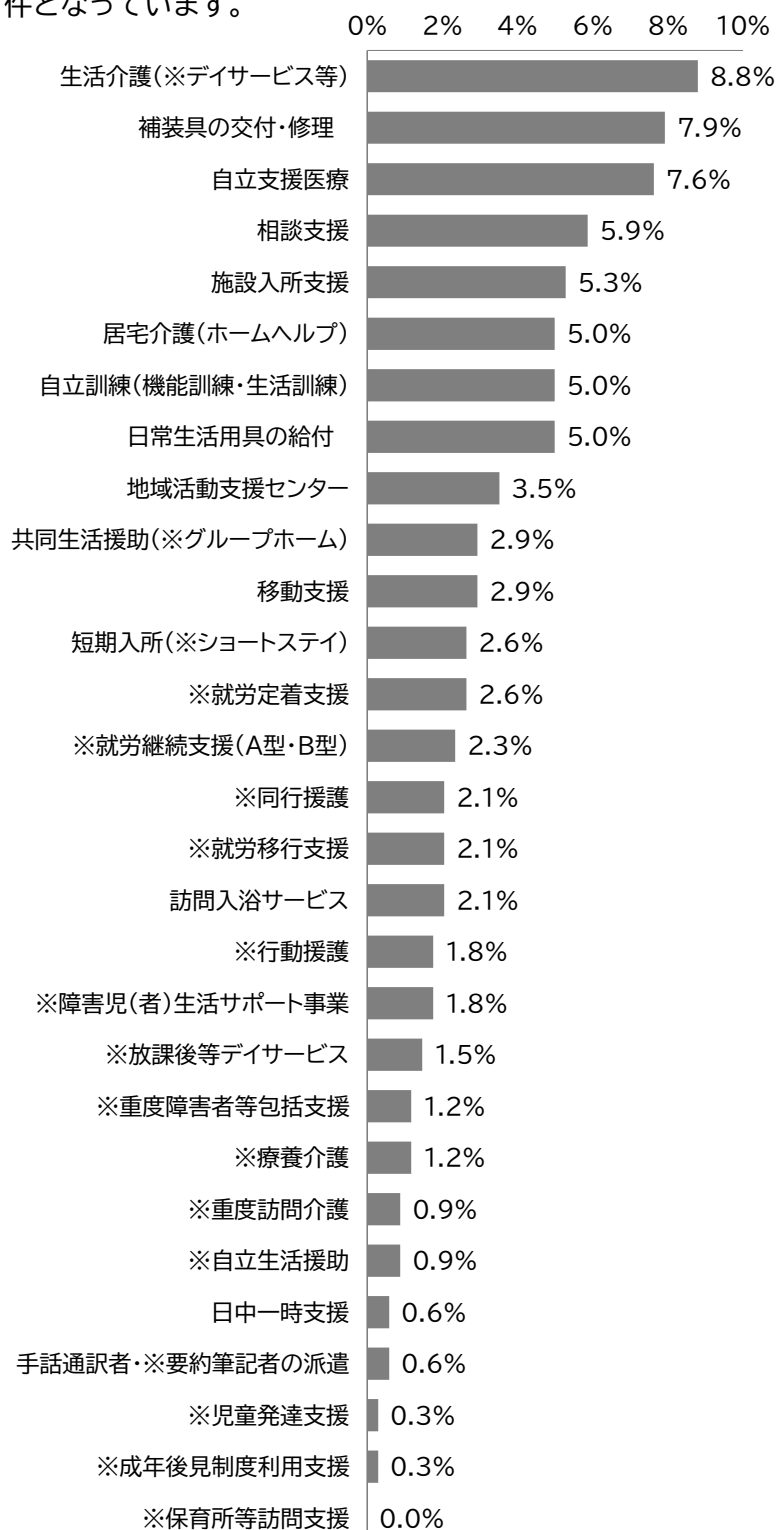
- 役場担当職員の対応に不信感があり、相談手続き等に困っている。
- 大字隣組（神社寺院を含む）の役員を免除を町全体に図っていただきたい。
- 今のところは自立しているが、将来はわからない87歳。
- デイサービス等の時間制限がありすぎて家族の仕事の時間にも制限がかかる。
- 言葉が不明瞭なので聞き取りにくい。
- 今のところ、家族皆元気なので特に困っていない、が、これから年を重ねると心配。
- 国民年金だけで生活が苦しいが68歳なので働くところがない。
- インフレ、円安。
- 親と死別した後のことは考えが分からなくて難しい。
- 住んでいる地域の役員の仕事が回ってくる。地域の交流よりも1つでいいので役員の仕事を減らしてほしい。障害や病気を持っていてもそれを班の人には話したくない。
- マイカーを手放してしまい、近隣のホームセンターに買い物ができない。
- 人が怖い。体が痛くてやりたいことができない。とにかく辛い。

問 41 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。  
 (「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)

【現在利用】

現在利用しているサービスについては、「生活介護(デイサービス)」が8.8%で最も多く、ついで「補装具の交付・修理」が7.9%、「自立支援医療」が7.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「生活介護(デイサービス)」「補装具の交付・修理」がそれぞれ10.0% (26件)、知的障がい者では「施設入所支援」が7件、精神障がい者では「自立支援医療」が22件となっています。



項目	現在、利用している		利用していない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
生活介護(※デイサービス等)	30	8.8%	175	51.3%	136	39.9%	341	100.0%
補装具の交付・修理	27	7.9%	173	50.7%	141	41.3%	341	100.0%
自立支援医療	26	7.6%	159	46.6%	156	45.7%	341	100.0%
相談支援	20	5.9%	172	50.4%	149	43.7%	341	100.0%
施設入所支援	18	5.3%	182	53.4%	141	41.3%	341	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	17	5.0%	186	54.5%	138	40.5%	341	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	17	5.0%	180	52.8%	144	42.2%	341	100.0%
日常生活用具の給付	17	5.0%	178	52.2%	146	42.8%	341	100.0%
地域活動支援センター	12	3.5%	180	52.8%	149	43.7%	341	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	10	2.9%	183	53.7%	148	43.4%	341	100.0%
移動支援	10	2.9%	179	52.5%	152	44.6%	341	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	9	2.6%	184	54.0%	148	43.4%	341	100.0%
※就労定着支援	9	2.6%	175	51.3%	157	46.0%	341	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	8	2.3%	176	51.6%	157	46.0%	341	100.0%
※同行援護	7	2.1%	180	52.8%	154	45.2%	341	100.0%
※就労移行支援	7	2.1%	177	51.9%	157	46.0%	341	100.0%
訪問入浴サービス	7	2.1%	183	53.7%	151	44.3%	341	100.0%
※行動援護	6	1.8%	181	53.1%	154	45.2%	341	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	6	1.8%	179	52.5%	156	45.7%	341	100.0%
※放課後等デイサービス	5	1.5%	175	51.3%	161	47.2%	341	100.0%
※重度障害者等包括支援	4	1.2%	184	54.0%	153	44.9%	341	100.0%
※療養介護	4	1.2%	185	54.3%	152	44.6%	341	100.0%
※重度訪問介護	3	0.9%	185	54.3%	153	44.9%	341	100.0%
※自立生活援助	3	0.9%	182	53.4%	156	45.7%	341	100.0%
日中一時支援	2	0.6%	184	54.0%	155	45.5%	341	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	2	0.6%	186	54.5%	153	44.9%	341	100.0%
※児童発達支援	1	0.3%	179	52.5%	161	47.2%	341	100.0%
※成年後見制度利用支援	1	0.3%	188	55.1%	152	44.6%	341	100.0%
※保育所等訪問支援	0	0.0%	181	53.1%	160	46.9%	341	100.0%

【身体障がい者】

項目	現在、利用している		利用していない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
生活介護(※デイサービス等)	26	10.0%	129	49.4%	106	40.6%	261	100.0%
補装具の交付・修理	26	10.0%	125	47.9%	110	42.1%	261	100.0%
日常生活用具の給付	17	6.5%	128	49.0%	116	44.4%	261	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	14	5.4%	139	53.3%	108	41.4%	261	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	13	5.0%	134	51.3%	114	43.7%	261	100.0%
施設入所支援	11	4.2%	137	52.5%	113	43.3%	261	100.0%
相談支援	11	4.2%	131	50.2%	119	45.6%	261	100.0%
地域活動支援センター	9	3.4%	133	51.0%	119	45.6%	261	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	8	3.1%	138	52.9%	115	44.1%	261	100.0%
移動支援	8	3.1%	133	51.0%	120	46.0%	261	100.0%
※行動援護	5	1.9%	133	51.0%	123	47.1%	261	100.0%
※同行援護	5	1.9%	134	51.3%	122	46.7%	261	100.0%
訪問入浴サービス	5	1.9%	135	51.7%	121	46.4%	261	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	5	1.9%	132	50.6%	124	47.5%	261	100.0%
※重度障害者等包括支援	4	1.5%	136	52.1%	121	46.4%	261	100.0%
※重度訪問介護	3	1.1%	137	52.5%	121	46.4%	261	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	3	1.1%	138	52.9%	120	46.0%	261	100.0%
※療養介護	3	1.1%	137	52.5%	121	46.4%	261	100.0%
自立支援医療	2	0.8%	135	51.7%	124	47.5%	261	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	2	0.8%	137	52.5%	122	46.7%	261	100.0%
※就労移行支援	1	0.4%	134	51.3%	126	48.3%	261	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	1	0.4%	133	51.0%	127	48.7%	261	100.0%
※放課後等デイサービス	1	0.4%	130	49.8%	130	49.8%	261	100.0%
日中一時支援	1	0.4%	137	52.5%	123	47.1%	261	100.0%
※就労定着支援	0	0.0%	134	51.3%	127	48.7%	261	100.0%
※児童発達支援	0	0.0%	131	50.2%	130	49.8%	261	100.0%
※自立生活援助	0	0.0%	138	52.9%	123	47.1%	261	100.0%
※保育所等訪問支援	0	0.0%	132	50.6%	129	49.4%	261	100.0%
※成年後見制度利用支援	0	0.0%	138	52.9%	123	47.1%	261	100.0%

## 【知的障がい者】

項目	現在、利用している		利用していない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
施設入所支援	7	21.2%	17	51.5%	9	27.3%	33	100.0%
※放課後等デイサービス	4	12.1%	16	48.5%	13	39.4%	33	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	3	9.1%	18	54.5%	12	36.4%	33	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	3	9.1%	18	54.5%	12	36.4%	33	100.0%
生活介護(※デイサービス等)	2	6.1%	18	54.5%	13	39.4%	33	100.0%
※就労定着支援	2	6.1%	17	51.5%	14	42.4%	33	100.0%
相談支援	2	6.1%	18	54.5%	13	39.4%	33	100.0%
自立支援医療	2	6.1%	17	51.5%	14	42.4%	33	100.0%
※行動援護	1	3.0%	18	54.5%	14	42.4%	33	100.0%
※同行援護	1	3.0%	17	51.5%	15	45.5%	33	100.0%
※就労移行支援	1	3.0%	18	54.5%	14	42.4%	33	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	1	3.0%	19	57.6%	13	39.4%	33	100.0%
※児童発達支援	1	3.0%	18	54.5%	14	42.4%	33	100.0%
※自立生活援助	1	3.0%	18	54.5%	14	42.4%	33	100.0%
訪問入浴サービス	1	3.0%	18	54.5%	14	42.4%	33	100.0%
日中一時支援	1	3.0%	18	54.5%	14	42.4%	33	100.0%
地域活動支援センター	1	3.0%	18	54.5%	14	42.4%	33	100.0%
※成年後見制度利用支援	1	3.0%	19	57.6%	13	39.4%	33	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	0	0.0%	19	57.6%	14	42.4%	33	100.0%
※重度訪問介護	0	0.0%	18	54.5%	15	45.5%	33	100.0%
※重度障害者等包括支援	0	0.0%	18	54.5%	15	45.5%	33	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	0	0.0%	18	54.5%	15	45.5%	33	100.0%
※療養介護	0	0.0%	19	57.6%	14	42.4%	33	100.0%
※保育所等訪問支援	0	0.0%	19	57.6%	14	42.4%	33	100.0%
移動支援	0	0.0%	19	57.6%	14	42.4%	33	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	0	0.0%	19	57.6%	14	42.4%	33	100.0%
補装具の交付・修理	0	0.0%	19	57.6%	14	42.4%	33	100.0%
日常生活用具の給付	0	0.0%	20	60.6%	13	39.4%	33	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	0	0.0%	19	57.6%	14	42.4%	33	100.0%

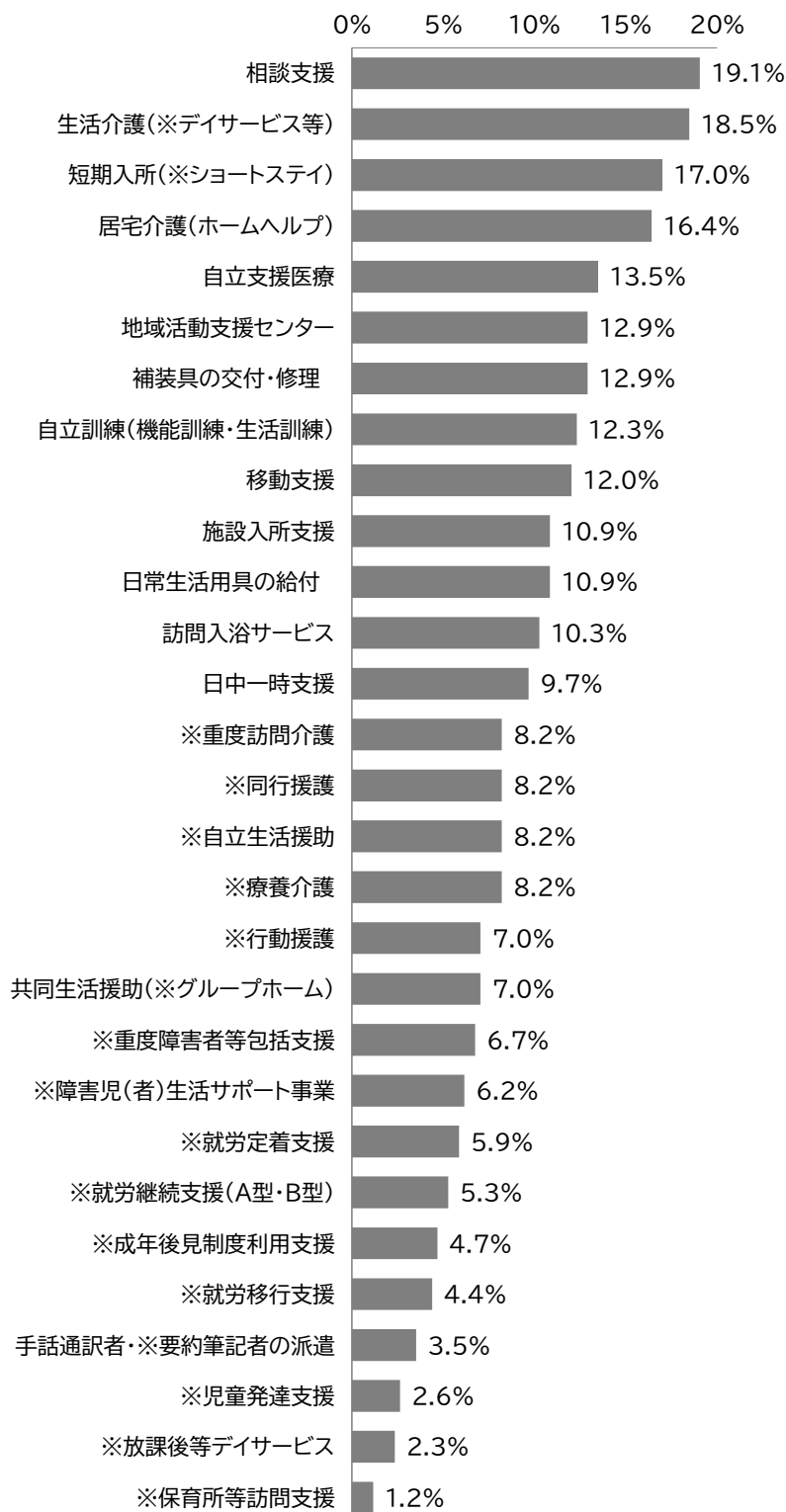
## 【精神障がい者】

項目	現在、利用している		利用していない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
自立支援医療	22	46.8%	7	14.9%	18	38.3%	47	100.0%
※就労定着支援	7	14.9%	24	51.1%	16	34.0%	47	100.0%
相談支援	7	14.9%	23	48.9%	17	36.2%	47	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	6	12.8%	24	51.1%	17	36.2%	47	100.0%
※就労移行支援	5	10.6%	25	53.2%	17	36.2%	47	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	4	8.5%	27	57.4%	16	34.0%	47	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	3	6.4%	28	59.6%	16	34.0%	47	100.0%
生活介護(※デイサービス等)	2	4.3%	28	59.6%	17	36.2%	47	100.0%
※自立生活援助	2	4.3%	26	55.3%	19	40.4%	47	100.0%
移動支援	2	4.3%	27	57.4%	18	38.3%	47	100.0%
地域活動支援センター	2	4.3%	29	61.7%	16	34.0%	47	100.0%
※同行援護	1	2.1%	29	61.7%	17	36.2%	47	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	1	2.1%	28	59.6%	18	38.3%	47	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	1	2.1%	28	59.6%	18	38.3%	47	100.0%
※療養介護	1	2.1%	29	61.7%	17	36.2%	47	100.0%
訪問入浴サービス	1	2.1%	30	63.8%	16	34.0%	47	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	1	2.1%	28	59.6%	18	38.3%	47	100.0%
補装具の交付・修理	1	2.1%	29	61.7%	17	36.2%	47	100.0%
※重度訪問介護	0	0.0%	30	63.8%	17	36.2%	47	100.0%
※重度障害者等包括支援	0	0.0%	30	63.8%	17	36.2%	47	100.0%
※行動援護	0	0.0%	30	63.8%	17	36.2%	47	100.0%
※児童発達支援	0	0.0%	30	63.8%	17	36.2%	47	100.0%
※放課後等デイサービス	0	0.0%	29	61.7%	18	38.3%	47	100.0%
施設入所支援	0	0.0%	28	59.6%	19	40.4%	47	100.0%
※保育所等訪問支援	0	0.0%	30	63.8%	17	36.2%	47	100.0%
日中一時支援	0	0.0%	29	61.7%	18	38.3%	47	100.0%
日常生活用具の給付	0	0.0%	30	63.8%	17	36.2%	47	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	0	0.0%	30	63.8%	17	36.2%	47	100.0%
※成年後見制度利用支援	0	0.0%	31	66.0%	16	34.0%	47	100.0%

### 【今後利用】

今後利用したいサービスについては、「相談支援」が19.1%で最も多く、ついで「生活介護(デイサービス)」が18.5%、「短期入所(※ショートステイ)」が17.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「生活介護(デイサービス)」がそれぞれ20.7%(54件)、知的障がい者では「※放課後等デイサービス」が6件、精神障がい者では「自立支援医療」が22件となっています。





項目	今後、利用したい		利用しない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
相談支援	65	19.1%	98	28.7%	178	52.2%	341	100.0%
生活介護(※デイサービス等)	63	18.5%	109	32.0%	169	49.6%	341	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	58	17.0%	114	33.4%	169	49.6%	341	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	56	16.4%	117	34.3%	168	49.3%	341	100.0%
自立支援医療	46	13.5%	109	32.0%	186	54.5%	341	100.0%
地域活動支援センター	44	12.9%	118	34.6%	179	52.5%	341	100.0%
補装具の交付・修理	44	12.9%	124	36.4%	173	50.7%	341	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	42	12.3%	122	35.8%	177	51.9%	341	100.0%
移動支援	41	12.0%	119	34.9%	181	53.1%	341	100.0%
施設入所支援	37	10.9%	128	37.5%	176	51.6%	341	100.0%
日常生活用具の給付	37	10.9%	126	37.0%	178	52.2%	341	100.0%
訪問入浴サービス	35	10.3%	132	38.7%	174	51.0%	341	100.0%
日中一時支援	33	9.7%	127	37.2%	181	53.1%	341	100.0%
※重度訪問介護	28	8.2%	129	37.8%	184	54.0%	341	100.0%
※同行援護	28	8.2%	127	37.2%	186	54.5%	341	100.0%
※自立生活援助	28	8.2%	129	37.8%	184	54.0%	341	100.0%
※療養介護	28	8.2%	131	38.4%	182	53.4%	341	100.0%
※行動援護	24	7.0%	130	38.1%	187	54.8%	341	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	24	7.0%	133	39.0%	184	54.0%	341	100.0%
※重度障害者等包括支援	23	6.7%	128	37.5%	190	55.7%	341	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	21	6.2%	130	38.1%	190	55.7%	341	100.0%
※就労定着支援	20	5.9%	134	39.3%	187	54.8%	341	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	18	5.3%	135	39.6%	188	55.1%	341	100.0%
※成年後見制度利用支援	16	4.7%	145	42.5%	180	52.8%	341	100.0%
※就労移行支援	15	4.4%	137	40.2%	189	55.4%	341	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	12	3.5%	148	43.4%	181	53.1%	341	100.0%
※児童発達支援	9	2.6%	140	41.1%	192	56.3%	341	100.0%
※放課後等デイサービス	8	2.3%	140	41.1%	193	56.6%	341	100.0%
※保育所等訪問支援	4	1.2%	145	42.5%	192	56.3%	341	100.0%

【身体障がい者】

項目	今後、利用したい		利用しない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
生活介護(※デイサービス等)	54	20.7%	77	29.5%	130	49.8%	261	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	49	18.8%	81	31.0%	131	50.2%	261	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	46	17.6%	85	32.6%	130	49.8%	261	100.0%
相談支援	44	16.9%	74	28.4%	143	54.8%	261	100.0%
補装具の交付・修理	39	14.9%	87	33.3%	135	51.7%	261	100.0%
日常生活用具の給付	33	12.6%	88	33.7%	140	53.6%	261	100.0%
施設入所支援	31	11.9%	95	36.4%	135	51.7%	261	100.0%
移動支援	31	11.9%	87	33.3%	143	54.8%	261	100.0%
地域活動支援センター	31	11.9%	88	33.7%	142	54.4%	261	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	30	11.5%	91	34.9%	140	53.6%	261	100.0%
訪問入浴サービス	30	11.5%	95	36.4%	136	52.1%	261	100.0%
日中一時支援	26	10.0%	92	35.2%	143	54.8%	261	100.0%
※重度訪問介護	23	8.8%	91	34.9%	147	56.3%	261	100.0%
※同行援護	23	8.8%	90	34.5%	148	56.7%	261	100.0%
※療養介護	23	8.8%	94	36.0%	144	55.2%	261	100.0%
※行動援護	20	7.7%	93	35.6%	148	56.7%	261	100.0%
自立支援医療	19	7.3%	94	36.0%	148	56.7%	261	100.0%
※重度障害者等包括支援	18	6.9%	91	34.9%	152	58.2%	261	100.0%
※自立生活援助	17	6.5%	100	38.3%	144	55.2%	261	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	15	5.7%	100	38.3%	146	55.9%	261	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	11	4.2%	98	37.5%	152	58.2%	261	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	9	3.4%	108	41.4%	144	55.2%	261	100.0%
※成年後見制度利用支援	8	3.1%	109	41.8%	144	55.2%	261	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	7	2.7%	103	39.5%	151	57.9%	261	100.0%
※就労定着支援	6	2.3%	103	39.5%	152	58.2%	261	100.0%
※就労移行支援	4	1.5%	104	39.8%	153	58.6%	261	100.0%
※児童発達支援	4	1.5%	103	39.5%	154	59.0%	261	100.0%
※保育所等訪問支援	3	1.1%	104	39.8%	154	59.0%	261	100.0%
※放課後等デイサービス	2	0.8%	105	40.2%	154	59.0%	261	100.0%

## 【知的障がい者】

項目	今後、利用したい		利用しない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
※放課後等デイサービス	6	18.2%	9	27.3%	18	54.5%	33	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	5	15.2%	10	30.3%	18	54.5%	33	100.0%
相談支援	5	15.2%	11	33.3%	17	51.5%	33	100.0%
地域活動支援センター	5	15.2%	11	33.3%	17	51.5%	33	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	5	15.2%	11	33.3%	17	51.5%	33	100.0%
自立支援医療	5	15.2%	10	30.3%	18	54.5%	33	100.0%
※就労移行支援	4	12.1%	11	33.3%	18	54.5%	33	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	4	12.1%	11	33.3%	18	54.5%	33	100.0%
※就労定着支援	4	12.1%	11	33.3%	18	54.5%	33	100.0%
※児童発達支援	4	12.1%	11	33.3%	18	54.5%	33	100.0%
※自立生活援助	4	12.1%	10	30.3%	19	57.6%	33	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	4	12.1%	11	33.3%	18	54.5%	33	100.0%
移動支援	4	12.1%	11	33.3%	18	54.5%	33	100.0%
日中一時支援	4	12.1%	11	33.3%	18	54.5%	33	100.0%
※成年後見制度利用支援	4	12.1%	12	36.4%	17	51.5%	33	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	3	9.1%	12	36.4%	18	54.5%	33	100.0%
※同行援護	3	9.1%	13	39.4%	17	51.5%	33	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	3	9.1%	12	36.4%	18	54.5%	33	100.0%
施設入所支援	3	9.1%	11	33.3%	19	57.6%	33	100.0%
※重度訪問介護	2	6.1%	14	42.4%	17	51.5%	33	100.0%
※重度障害者等包括支援	2	6.1%	13	39.4%	18	54.5%	33	100.0%
生活介護(※デイサービス等)	2	6.1%	12	36.4%	19	57.6%	33	100.0%
補装具の交付・修理	2	6.1%	13	39.4%	18	54.5%	33	100.0%
日常生活用具の給付	2	6.1%	13	39.4%	18	54.5%	33	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	2	6.1%	14	42.4%	17	51.5%	33	100.0%
※行動援護	1	3.0%	14	42.4%	18	54.5%	33	100.0%
※療養介護	1	3.0%	14	42.4%	18	54.5%	33	100.0%
※保育所等訪問支援	1	3.0%	14	42.4%	18	54.5%	33	100.0%
訪問入浴サービス	1	3.0%	14	42.4%	18	54.5%	33	100.0%

## 【精神障がい者】

項目	今後、利用したい		利用しない		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
自立支援医療	22	46.8%	5	10.6%	20	42.6%	47	100.0%
相談支援	16	34.0%	13	27.7%	18	38.3%	47	100.0%
※就労定着支援	10	21.3%	20	42.6%	17	36.2%	47	100.0%
地域活動支援センター	8	17.0%	19	40.4%	20	42.6%	47	100.0%
居宅介護(ホームヘルプ)	7	14.9%	20	42.6%	20	42.6%	47	100.0%
生活介護(※デイサービス等)	7	14.9%	20	42.6%	20	42.6%	47	100.0%
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	7	14.9%	21	44.7%	19	40.4%	47	100.0%
※就労移行支援	7	14.9%	22	46.8%	18	38.3%	47	100.0%
※就労継続支援(A型・B型)	7	14.9%	21	44.7%	19	40.4%	47	100.0%
※自立生活援助	7	14.9%	19	40.4%	21	44.7%	47	100.0%
短期入所(※ショートステイ)	6	12.8%	21	44.7%	20	42.6%	47	100.0%
移動支援	6	12.8%	21	44.7%	20	42.6%	47	100.0%
共同生活援助(※グループホーム)	5	10.6%	22	46.8%	20	42.6%	47	100.0%
※障害児(者)生活サポート事業	5	10.6%	21	44.7%	21	44.7%	47	100.0%
※療養介護	4	8.5%	23	48.9%	20	42.6%	47	100.0%
訪問入浴サービス	4	8.5%	23	48.9%	20	42.6%	47	100.0%
※成年後見制度利用支援	4	8.5%	24	51.1%	19	40.4%	47	100.0%
※重度訪問介護	3	6.4%	24	51.1%	20	42.6%	47	100.0%
※重度障害者等包括支援	3	6.4%	24	51.1%	20	42.6%	47	100.0%
※行動援護	3	6.4%	23	48.9%	21	44.7%	47	100.0%
施設入所支援	3	6.4%	22	46.8%	22	46.8%	47	100.0%
日中一時支援	3	6.4%	24	51.1%	20	42.6%	47	100.0%
補装具の交付・修理	3	6.4%	24	51.1%	20	42.6%	47	100.0%
※同行援護	2	4.3%	24	51.1%	21	44.7%	47	100.0%
日常生活用具の給付	2	4.3%	25	53.2%	20	42.6%	47	100.0%
※児童発達支援	1	2.1%	26	55.3%	20	42.6%	47	100.0%
手話通訳者・※要約筆記者の派遣	1	2.1%	26	55.3%	20	42.6%	47	100.0%
※放課後等デイサービス	0	0.0%	26	55.3%	21	44.7%	47	100.0%
※保育所等訪問支援	0	0.0%	27	57.4%	20	42.6%	47	100.0%

**【問 41 補装具の品目】**

- 下肢装具
- 補聴器 × 6 件
- ストマ × 4 件
- 車椅子、短下肢装具
- 手すり、ベット
- 車いす
- 靴 × 2 件
- 車いす
- 短下肢装具
- 頭部保護帽

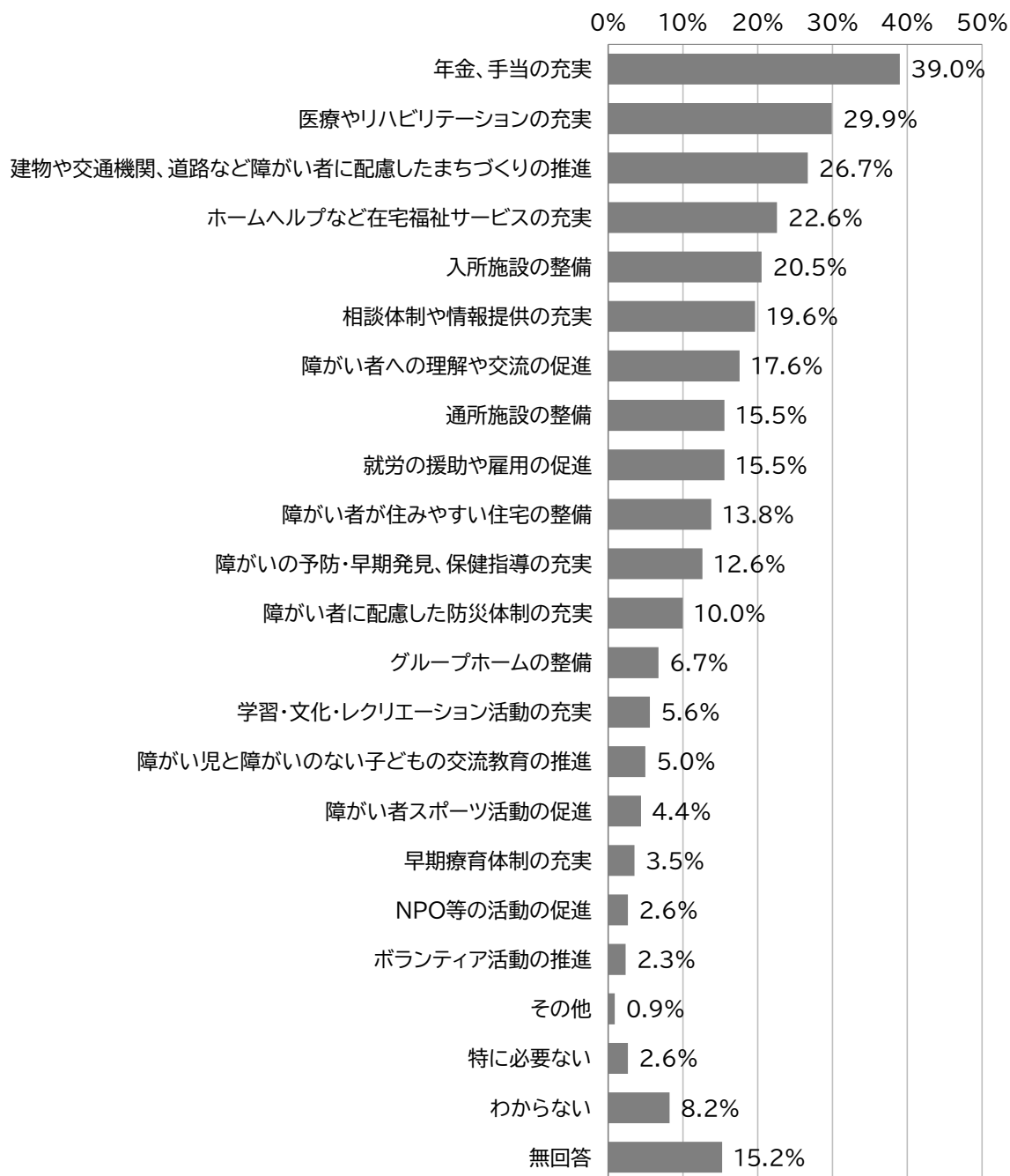
**問 41 日常生活用具の品目】**

- ストマ × 2 件
- ベット × 2 件
- 手すり
- FAX 機、インターホンのラップ
- おむつ × 2 件
- 拡大鏡ルーペ
- 手すり、杖、イス
- 手すり、入浴台
- FAX × 2 件
- シャワーキャリー

**問 42 あなたは、障がいがある方のためにこれから特に力を入れるべきだと思う施策はどのようなことですか。(該当する番号4つまでに○をつけてください)**

これから特に力を入れる施策については、「年金、手当の充実」が 39.0%で最も多く、ついで「医療やリハビリテーションの充実」が 29.9%、「建物や交通機関、道路など障がい者に配慮したまちづくりの推進」が 26.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「年金、手当の充実」が 35.2% (92 件)、知的障がい者では 12 件、精神障がい者では 29 件となっています。



項目	件数	比率
年金、手当の充実	133	39.0%
医療やリハビリテーションの充実	102	29.9%
建物や交通機関、道路など障がい者に配慮したまちづくりの推進	91	26.7%
ホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実	77	22.6%
入所施設の整備	70	20.5%
相談体制や情報提供の充実	67	19.6%
障がい者への理解や交流の促進	60	17.6%
通所施設の整備	53	15.5%
就労の援助や雇用の促進	53	15.5%
障がい者が住みやすい住宅の整備	47	13.8%
障がいの予防・早期発見、保健指導の充実	43	12.6%
障がい者に配慮した防災体制の充実	34	10.0%
グループホームの整備	23	6.7%
学習・文化・レクリエーション活動の充実	19	5.6%
障がい児と障がいのない子どもの交流教育の推進	17	5.0%
障がい者スポーツ活動の促進	15	4.4%
早期療育体制の充実	12	3.5%
NPO等の活動の促進	9	2.6%
ボランティア活動の推進	8	2.3%
その他	3	0.9%
特に必要ない	9	2.6%
わからない	28	8.2%
無回答	52	15.2%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
ホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実	66	25.3%	6	2.3%	5	1.9%
入所施設の整備	57	21.8%	7	2.7%	6	2.3%
通所施設の整備	40	15.3%	7	2.7%	6	2.3%
グループホームの整備	13	5.0%	3	1.1%	7	2.7%
相談体制や情報提供の充実	41	15.7%	11	4.2%	15	5.7%
障がいの予防・早期発見、保健指導の充実	29	11.1%	4	1.5%	10	3.8%
早期療育体制の充実	7	2.7%	3	1.1%	2	0.8%
医療やリハビリテーションの充実	89	34.1%	9	3.4%	4	1.5%
就労の援助や雇用の促進	32	12.3%	3	1.1%	18	6.9%
障がい児と障がいのない子どもの交流教育の推進	13	5.0%	3	1.1%	1	0.4%
学習・文化・レクリエーション活動の充実	14	5.4%	3	1.1%	2	0.8%
障がい者スポーツ活動の促進	12	4.6%	3	1.1%	0	0.0%
建物や交通機関、道路など障がい者に配慮したまちづくりの推進	82	31.4%	1	0.4%	8	3.1%
障がい者が住みやすい住宅の整備	39	14.9%	3	1.1%	5	1.9%
障がい者に配慮した防災体制の充実	29	11.1%	2	0.8%	3	1.1%
年金、手当の充実	92	35.2%	12	4.6%	29	11.7%
ボランティア活動の推進	6	2.3%	2	0.8%	0	0.0%
NPO等の活動の促進	7	2.7%	2	0.8%	0	0.0%
障がい者への理解や交流の促進	44	16.9%	6	2.3%	10	3.8%
その他	3	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
特に必要ない	9	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	23	8.8%	3	1.1%	2	0.8%
無回答	39	14.9%	7	2.7%	6	2.3%
回答者数	261	-	33	-	47	-

#### 【問 42 その他の記述】

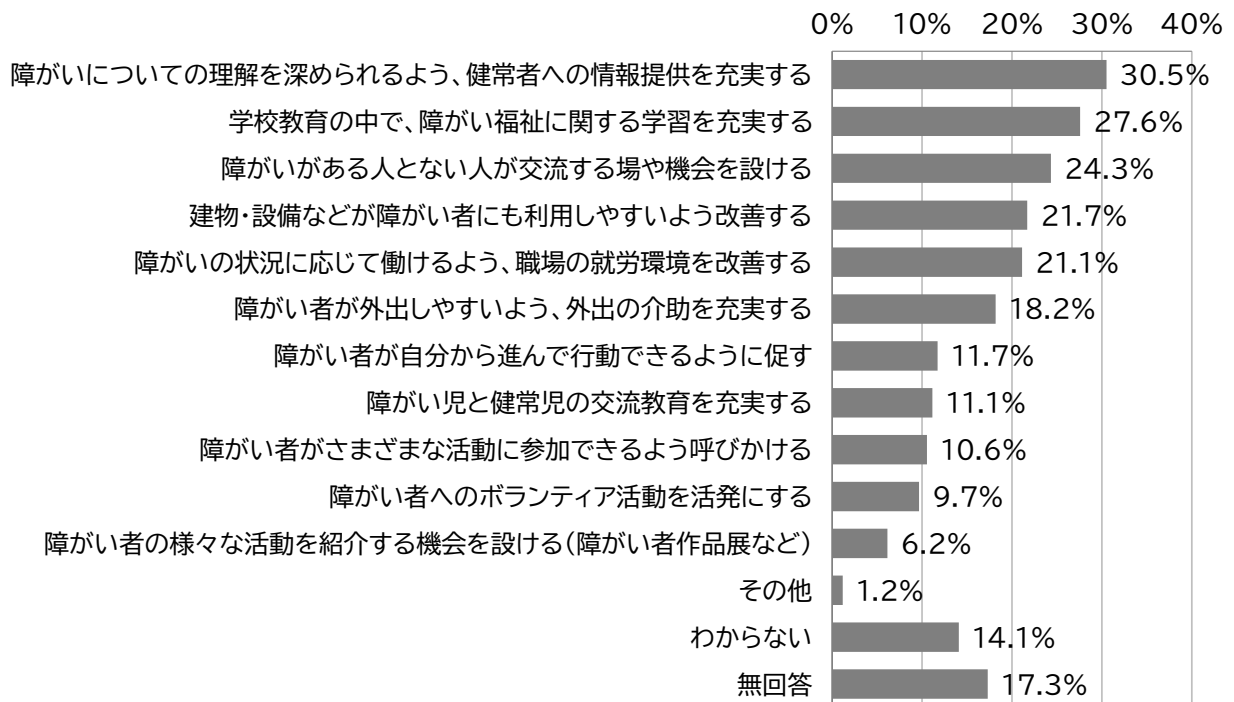
- 学校教育での、障害者についての教育を十分に。

## 8. 地域との交流について

問 43 障がいがある人とない人がお互いに理解しあい、共に生きる社会をつくっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(該当する番号3つまでに○をつけてください)

障がいがある人とない人が、共に生きる社会になるために必要なことについては、「障がいについての理解を深められるよう、健常者への情報提供を充実する」が30.5%で最も多く、ついで「学校教育の中で、障がい福祉に関する学習を充実する」が27.6%、「障がいがある人とない人が交流する場や機会を設ける」が24.3%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「障がいについての理解を深められるよう、健常者への情報提供を充実する」が29.5%（77件）、知的障がい者では「学校教育の中で、障がい福祉に関する学習を充実する」が11件、精神障がい者では「障がいについての理解を深められるよう、健常者への情報提供を充実する」が18件となっています。



項目	件数	比率
障がいについての理解を深められるよう、健常者への情報提供を充実する	104	30.5%
学校教育の中で、障がい福祉に関する学習を充実する	94	27.6%
障がいがある人とない人が交流する場や機会を設ける	83	24.3%
建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する	74	21.7%
障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する	72	21.1%
障がい者が外出しやすいよう、外出の介助を充実する	62	18.2%
障がい者が自分から進んで行動できるように促す	40	11.7%
障がい児と健常児の交流教育を充実する	38	11.1%
障がい者がさまざまな活動に参加できるよう呼びかける	36	10.6%
障がい者へのボランティア活動を活発にする	33	9.7%
障がい者の様々な活動を紹介する機会を設ける(障がい者作品展など)	21	6.2%
その他	4	1.2%
わからない	48	14.1%
無回答	59	17.3%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
障がいがある人とない人が交流する場や機会を設ける	64	24.5%	8	24.2%	11	23.4%
障がいについての理解を深められるよう、健常者への情報提供を充実する	77	29.5%	9	27.3%	18	38.3%
学校教育の中で、障がい福祉に関する学習を充実する	66	25.3%	11	33.3%	17	36.2%
障がい児と健常児の交流教育を充実する	28	10.7%	7	21.2%	3	6.4%
障がい者へのボランティア活動を活発にする	28	10.7%	4	12.1%	1	2.1%
障がい者がさまざまな活動に参加できるよう呼びかける	30	11.5%	2	6.1%	4	8.5%
障がい者が外出しやすいよう、外出の介助を充実する	49	18.8%	5	15.2%	8	17.0%
建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する	68	26.1%	1	3.0%	5	10.6%
障がい者が自分から進んで行動できるように促す	31	11.9%	3	9.1%	6	12.8%
障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する	47	18.0%	9	27.3%	16	34.0%
障がい者の様々な活動を紹介する機会を設ける(障がい者作品展など)	16	6.1%	3	9.1%	2	4.3%
その他	2	0.8%	0	0.0%	2	4.3%
わからない	34		7		7	
無回答	48	18.4%	5	15.2%	6	12.8%
回答者数	261	-	33	-	47	-

#### 【問 43 その他の記述】

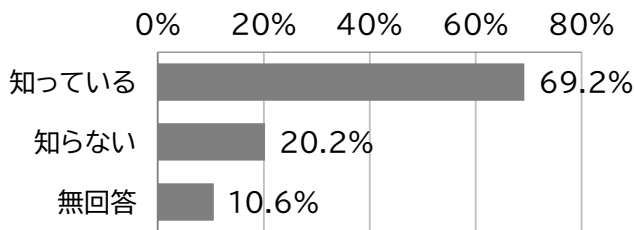
- 障害のない人が障害のある人を理解するのは不可能だと思う。ほんのちょっとのことをしても何も変わらない。
- 共に生きるに対しては必要ないと思います。

## 9. 防災対策について

問 44 あなたは、災害時の避難場所を知っていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

災害時の避難場所の認知度については、「知っている」が 69.2%、「知らない」が 20.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「知っている」が 72.0% (188 件)、知的障がい者では 18 件、精神障がい者では 30 件となっています。



項目	件数	構成比
知っている	236	69.2%
知らない	69	20.2%
無回答	36	10.6%
合計	341	100.0%

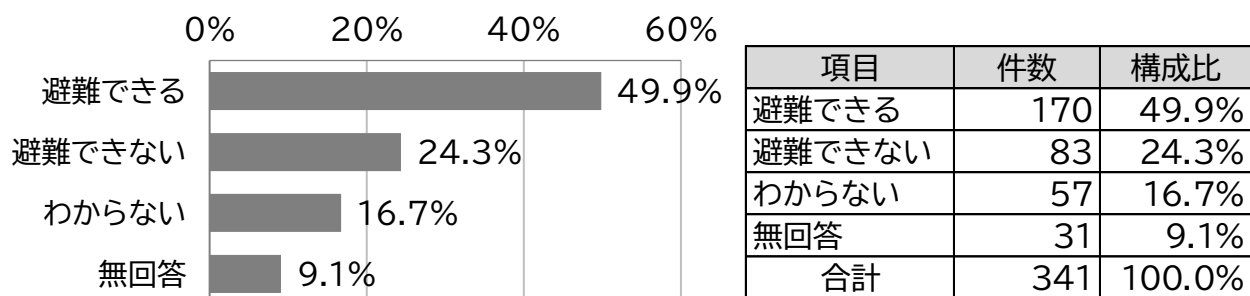
項目	知っている	知らない	無回答	合計
身体障がい者	188	48	25	261
	72.0%	18.4%	9.6%	100.0%
知的障がい者	18	9	6	33
	54.5%	27.3%	18.2%	100.0%
精神障がい者	30	12	5	47
	63.8%	25.5%	10.6%	100.0%



問 45 あなたは、火事や地震などの災害時に、ひとりで避難できますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

災害時にひとりで避難できるかについては、「避難できる」が 49.9%、「避難できない」が 24.3%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「避難できる」が 49.4% (129 件)、知的障がい者では 13 件、精神障がい者では 28 件となっています。

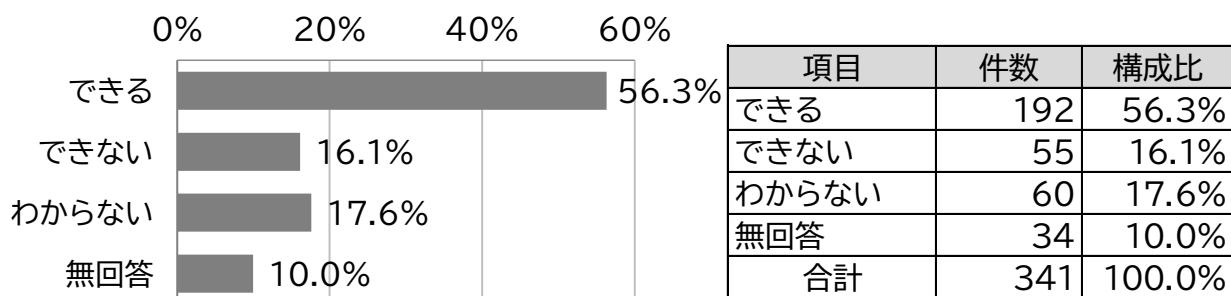


項目	避難できる	避難できない	わからない	無回答	合計
身体障がい者	129	69	43	20	261
	49.4%	26.4%	16.5%	7.7%	100.0%
知的障がい者	13	9	6	5	33
	39.4%	27.3%	18.2%	15.2%	100.0%
精神障がい者	28	5	8	6	47
	59.6%	10.6%	17.0%	12.8%	100.0%

問 46 あなたは、火事や地震などの災害時に、人に知らせて助けを求めることができますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

災害時に助けを求めることができるかについては、「できる」が 56.3%、「できない」が 16.1% となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「できる」が 60.2% (157 件)、知的障がい者では 11 件、精神障がい者では 24 件となっています。

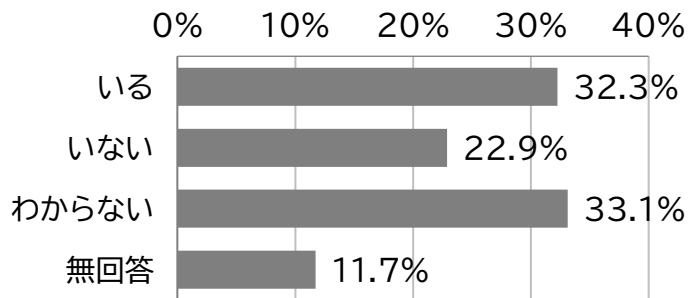


項目	できる	できない	わからない	無回答	合計
身体障がい者	157 60.2%	44 16.9%	39 14.9%	21 8.0%	261 100.0%
知的障がい者	11 33.3%	8 24.2%	8 24.2%	6 18.2%	33 100.0%
精神障がい者	24 51.1%	3 6.4%	13 27.7%	7 14.9%	47 100.0%

**問 47 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

近所に助けてくれる人がいるかについては、「いる」が32.3%、「いない」が22.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「いる」が34.1% (89件)、知的障がい者では13件、精神障がい者では「いない」が18件となっています。



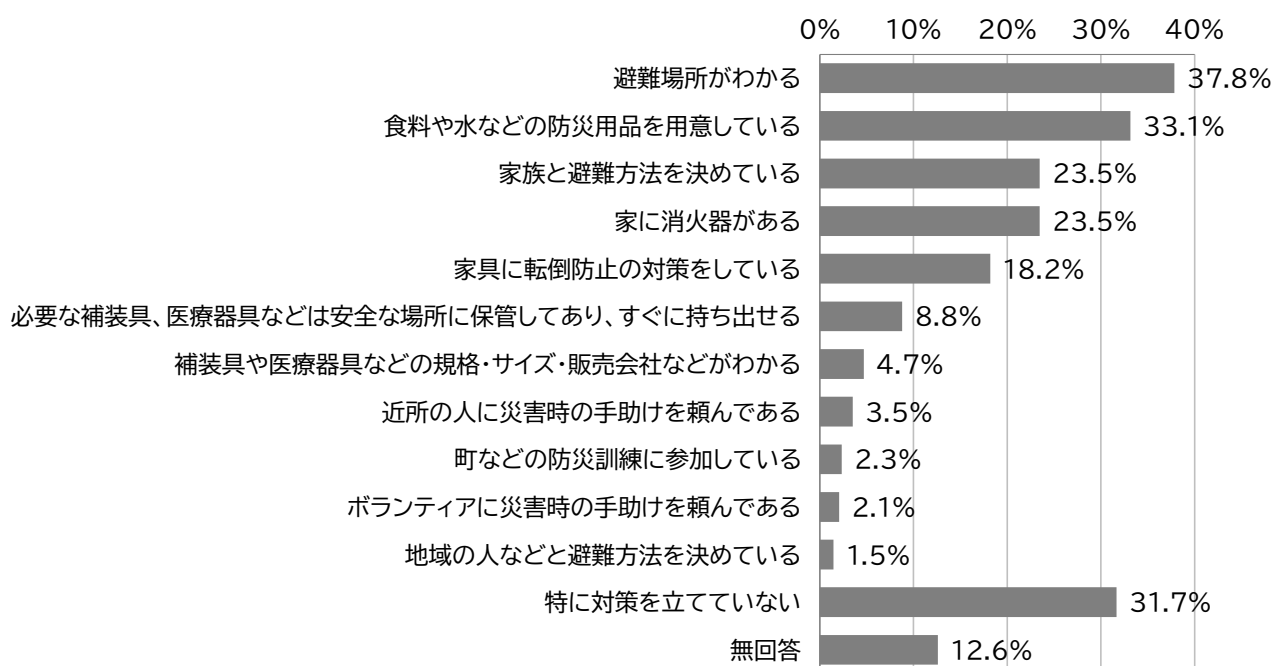
項目	件数	構成比
いる	110	32.3%
いない	78	22.9%
わからない	113	33.1%
無回答	40	11.7%
合計	341	100.0%

項目	いる	いない	わからない	無回答	合計
身体障がい者	89 34.1%	53 20.3%	92 35.2%	27 10.3%	261 100.0%
知的障がい者	13 39.4%	7 21.2%	6 18.2%	7 21.2%	33 100.0%
精神障がい者	8 17.0%	18 38.3%	15 31.9%	6 12.8%	47 100.0%

問 48 あなたは、火事や地震など災害時の対策を立てていますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

災害時の対策を立てているかについては、「避難場所がわかる」が 37.8%で最も多く、ついで「食料や水などの防災用品を用意している」が 33.1%、「家族と避難方法を決めている」「家に消火器がある」がそれぞれ 23.5%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「避難場所がわかる」が 39.8% (104 件)、知的障がい者では「食料や水などの防災用品を用意している」が 8 件、精神障がい者では「避難場所がわかる」が 19 件となっています。



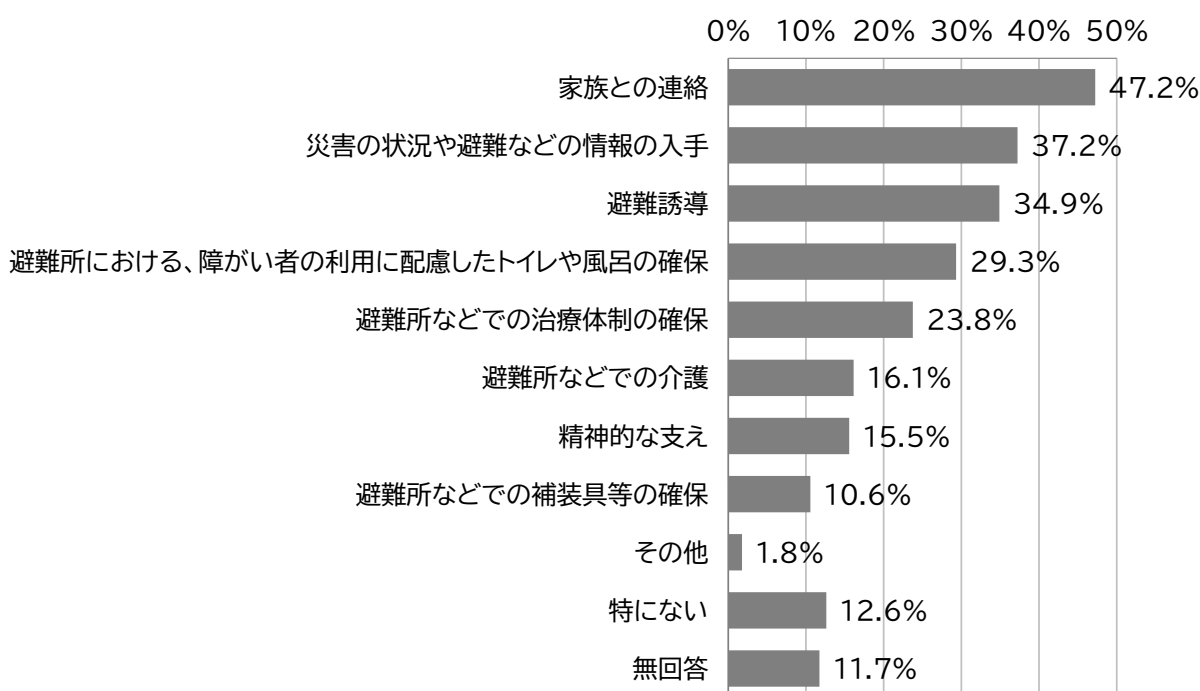
項目	件数	比率
避難場所がわかる	129	37.8%
食料や水などの防災用品を用意している	113	33.1%
家族と避難方法を決めている	80	23.5%
家に消火器がある	80	23.5%
家具に転倒防止の対策をしている	62	18.2%
必要な補装具、医療器具などは安全な場所に保管してあり、すぐに持ち出せる	30	8.8%
補装具や医療器具などの規格・サイズ・販売会社などがわかる	16	4.7%
近所の人に災害時の手助けを頼んである	12	3.5%
町などの防災訓練に参加している	8	2.3%
ボランティアに災害時の手助けを頼んである	7	2.1%
地域の人などと避難方法を決めている	5	1.5%
特に対策を立てていない	108	31.7%
無回答	43	12.6%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
家族と避難方法を決めている	70	26.8%	6	18.2%	4	8.5%
地域の人などと避難方法を決めている	3	1.1%	2	6.1%	0	0.0%
ボランティアに災害時の手助けを頼んである	7	2.7%	0	0.0%	0	0.0%
近所の人に災害時の手助けを頼んである	11	4.2%	1	3.0%	0	0.0%
食料や水などの防災用品を用意している	93	35.6%	8	24.2%	12	25.5%
必要な補装具、医療器具などは安全な場所に保管してあり、すぐに持ち出せる	26	10.0%	3	9.1%	1	2.1%
補装具や医療器具などの規格・サイズ・販売会社などがわかる	16	6.1%	0	0.0%	0	0.0%
家具に転倒防止の対策をしている	53	20.3%	3	9.1%	6	12.8%
家に消火器がある	65	24.9%	3	9.1%	12	25.5%
避難場所がわかる	104	39.8%	6	18.2%	19	40.4%
町などの防災訓練に参加している	7	2.7%	1	3.0%	0	0.0%
特に対策を立てていない	83	31.8%	10	30.3%	15	31.9%
無回答	28	10.7%	9	27.3%	6	12.8%
回答者数	261	-	33	-	47	-

**問 49 もしも火事や地震などが発生したときには、あなたはどのような手助け、支援をしてほしいと思いますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)**

災害時にしてほしい手助け・支援については、「家族との連絡」が 47.2%で最も多く、ついで「災害の状況や避難などの情報の入手」が 37.2%、「避難誘導」が 34.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「家族との連絡」が 48.7% (127 件)、知的障がい者では「避難誘導」が 16 件、精神障がい者では「家族との連絡」が 20 件となっています。



項目	件数	比率
家族との連絡	161	47.2%
災害の状況や避難などの情報の入手	127	37.2%
避難誘導	119	34.9%
避難所における、障がい者の利用に配慮したトイレや風呂の確保	100	29.3%
避難所などでの治療体制の確保	81	23.8%
避難所などでの介護	55	16.1%
精神的な支え	53	15.5%
避難所などでの補装具等の確保	36	10.6%
その他	6	1.8%
特にない	43	12.6%
無回答	40	11.7%
回答者数	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
災害の状況や避難などの情報の入手	103	39.5%	9	27.3%	15	31.9%
家族との連絡	127	48.7%	14	42.4%	20	42.6%
避難誘導	90	34.5%	16	48.5%	13	27.7%
避難所などでの補装具等の確保	32	12.3%	3	9.1%	1	2.1%
避難所などでの治療体制の確保	67	25.7%	4	12.1%	10	21.3%
避難所などでの介護	44	16.9%	6	18.2%	5	10.6%
避難所における、障がい者の利用に配慮したトイレや風呂の確保	91	34.9%	3	9.1%	6	12.8%
精神的な支え	34	13.0%	5	15.2%	14	29.8%
その他	5	1.9%	0	0.0%	1	2.1%
特にない	29	11.1%	6	18.2%	8	17.0%
無回答	27	10.3%	7	21.2%	6	12.8%
回答者数	261	-	33	-	47	-

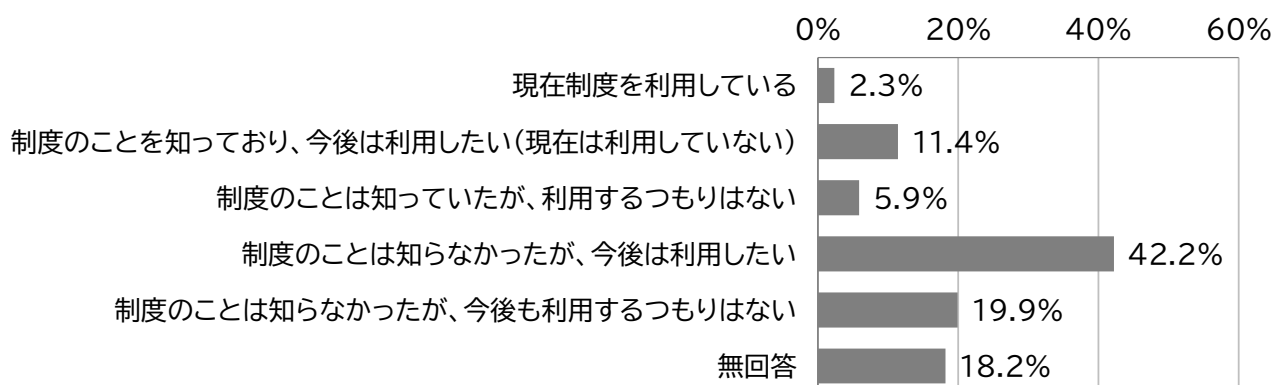
#### 【問 49 その他の記述】

- 施設入所なので常に護られている。
- 避難所で床に高さのある場所で寝たり、座ったり出来る事。
- 町にも普段使用している医療の道具を備えてほしい。いざというとき病院へはすぐ部品ももらえないこともある為。
- 避難所における情報保障。
- 服薬している薬の確保。

問 50 あなたは、※避難行動要支援者支援制度を知っていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

避難行動要支援者支援制度の認知度については、「制度のことは知らなかったが、今後は利用したい」が42.2%で最も多く、ついで「制度のことは知らなかったが、今後も利用するつもりはない」が19.9%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「制度のことは知らなかったが、今後は利用したい」が42.9%（112件）、知的障がい者では11件、精神障がい者では21件となっています。



項目	件数	構成比
現在制度を利用している	8	2.3%
制度のことを知っており、今後は利用したい(現在は利用していない)	39	11.4%
制度のことは知っていたが、利用するつもりはない	20	5.9%
制度のことは知らなかったが、今後は利用したい	144	42.2%
制度のことは知らなかったが、今後も利用するつもりはない	68	19.9%
無回答	62	18.2%
合計	341	100.0%

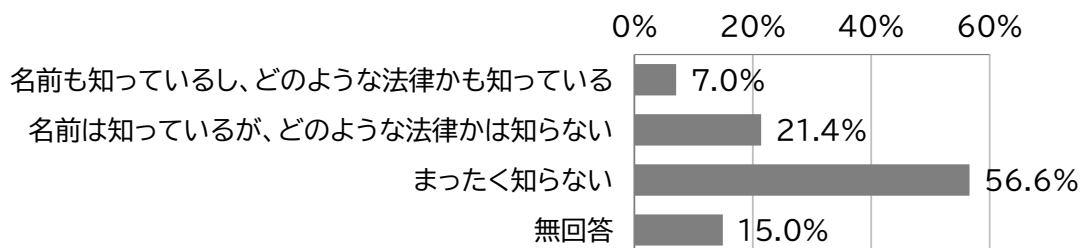
項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
現在制度を利用している	8	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
制度のことを知っており、今後は利用したい(現在は利用していない)	34	13.0%	3	9.1%	2	4.3%
制度のことは知っていたが、利用するつもりはない	19	7.3%	0	0.0%	1	2.1%
制度のことは知らなかったが、今後は利用したい	112	42.9%	11	33.3%	21	44.7%
制度のことは知らなかったが、今後も利用するつもりはない	43	16.5%	9	27.3%	16	34.0%
無回答	45	17.2%	10	30.3%	7	14.9%
合計	261	100.0%	33	100.0%	47	100.0%

## 10. 権利擁護について

問 51 障がい者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する「障害者差別解消法」が平成 28 年4月(令和3年5月改正)に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

「障害者差別解消法」の認知度については、「まったく知らない」が 56.6%、「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」が 21.4%、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」が 7.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「まったく知らない」が 52.9% (138 件)、知的障がい者では 22 件、精神障がい者では 33 件となっています。



項目	件数	構成比
名前も知っているし、どのような法律かも知っている	24	7.0%
名前は知っているが、どのような法律かは知らない	73	21.4%
まったく知らない	193	56.6%
無回答	51	15.0%
合計	341	100.0%

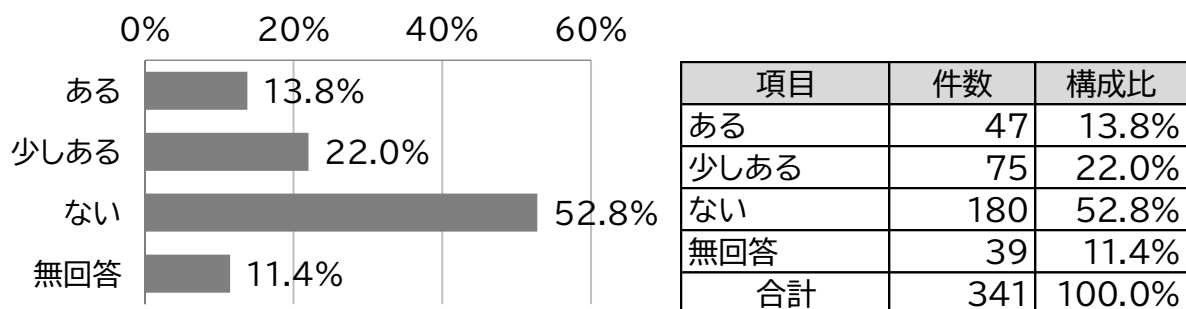
項目	名前も知っているし、 どのような法律かも 知っている	名前は知っているが、 どのような法律かは 知らない	まったく知ら ない	無回答	合計
身体障がい者	20 7.7%	63 24.1%	138 52.9%	40 15.3%	261 100.0%
知的障がい者	1 3.0%	4 12.1%	22 66.7%	6 18.2%	33 100.0%
精神障がい者	3 6.4%	6 12.8%	33 70.2%	5 10.6%	47 100.0%



**問 52 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。**

差別や嫌な思いをしたことがあるかについては、「ない」が 52.8%、「少しある」が 22.0%、「ある」が 13.8%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「ない」が 55.6% (145 件)、知的障がい者では 13 件、精神障がい者では 22 件となっています。



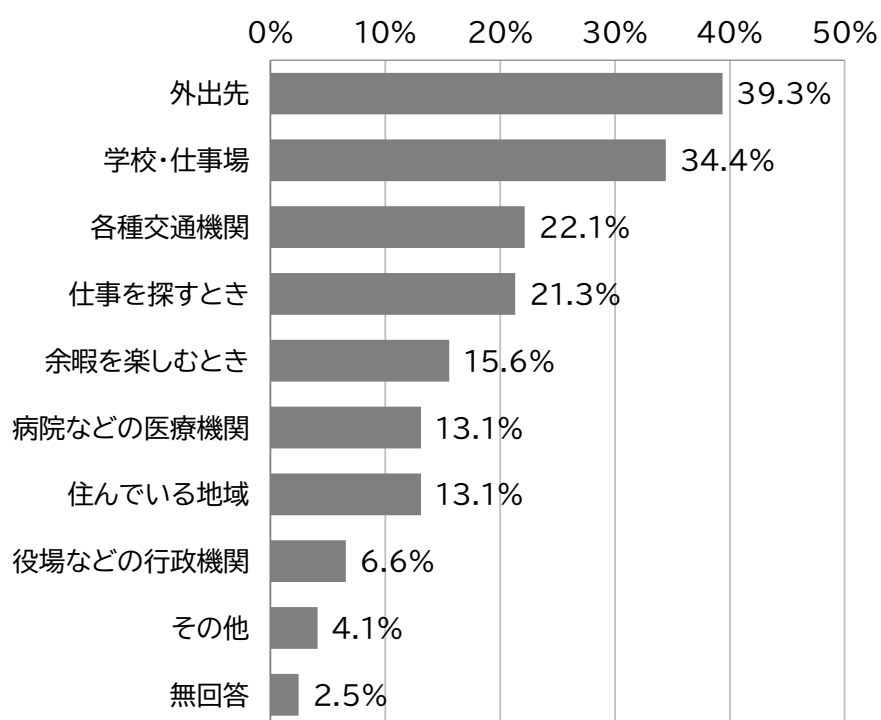
項目	ある	少しある	ない	無回答	合計
身体障がい者	29	59	145	28	261
	11.1%	22.6%	55.6%	10.7%	100.0%
知的障がい者	7	7	13	6	33
	21.2%	21.2%	39.4%	18.2%	100.0%
精神障がい者	11	9	22	5	47
	23.4%	19.1%	46.8%	10.6%	100.0%

問 52-1 問 52 で、「ある」又は「少しある」と回答された方にお聞きします。

どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

差別や嫌な思いをした場所については、「外出先」が 39.3%で最も多く、ついで「学校・仕事場」が 34.4%、「各種交通機関」が 22.1%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「外出先」が 37.5% (33 件)、知的障がい者では 16 件、精神障がい者では「学校・仕事場」が 7 件となっています。



項目	件数	比率
外出先	48	39.3%
学校・仕事場	42	34.4%
各種交通機関	27	22.1%
仕事を探するとき	26	21.3%
余暇を楽しむとき	19	15.6%
病院などの医療機関	16	13.1%
住んでいる地域	16	13.1%
役場などの行政機関	8	6.6%
その他	5	4.1%
無回答	3	2.5%
回答者数	122	-
非該当	219	-
合計	341	-

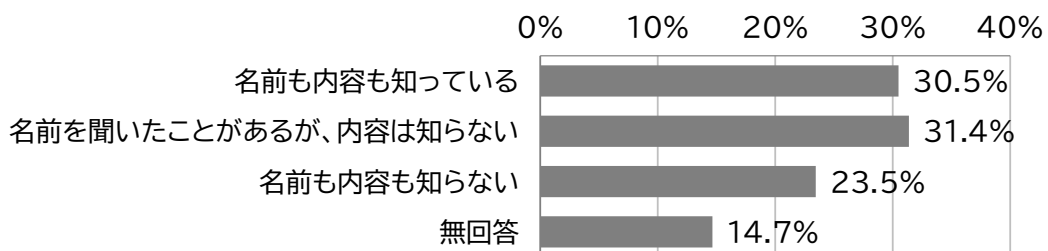
項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
学校・仕事場	28	31.8%	9	27.3%	7	35.0%
仕事を探すとき	20	22.7%	14	42.4%	5	25.0%
外出先	33	37.5%	16	48.5%	6	30.0%
余暇を楽しむとき	12	13.6%	3	9.1%	3	15.0%
各種交通機関	21	23.9%	4	12.1%	4	20.0%
役場などの行政機関	6	6.8%	6	18.2%	0	0.0%
病院などの医療機関	9	10.2%	3	9.1%	4	20.0%
住んでいる地域	11	12.5%	5	15.2%	5	25.0%
その他	4	4.5%	0	0.0%	1	5.0%
無回答	2	2.3%	7	21.2%	1	5.0%
回答者数	88	-	33	-	20	-

#### 【問 52-1 その他の記述】

- 警察官から言葉（さいたま市）。
- 色々なところで有です。
- 友人・知人との間で。
- バスで障害者手帳を見せたとき半額にしてくれなかった。

#### 問 53 成年後見制度をご存じですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

成年後見制度の認知度については、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 31.4%、「名前も内容も知っている」が 30.5%、「名前も内容も知らない」が 23.5%となっています。障がい別にみると、身体障がい者では「名前も内容も知っている」「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」がそれぞれ 32.2%（84 件）、知的障がい者では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 10 件、精神障がい者では「名前も内容も知らない」が 17 件となっています。



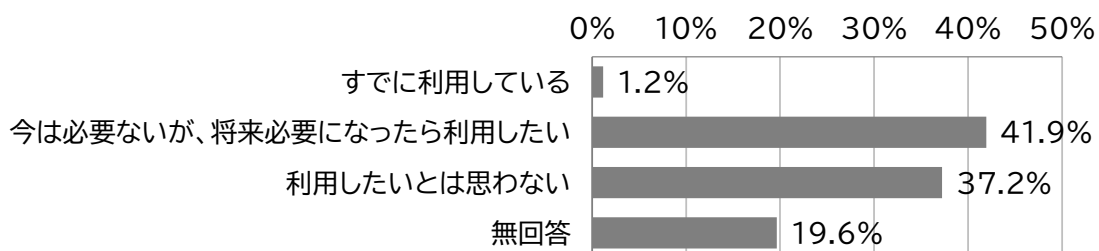
項目	件数	構成比
名前も内容も知っている	104	30.5%
名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	107	31.4%
名前も内容も知らない	80	23.5%
無回答	50	14.7%
合計	341	100.0%

項目	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答	合計
身体障がい者	84	84	54	39	261
	32.2%	32.2%	20.7%	14.9%	100.0%
知的障がい者	9	10	9	5	33
	27.3%	30.3%	27.3%	15.2%	100.0%
精神障がい者	11	13	17	6	47
	23.4%	27.7%	36.2%	12.8%	100.0%

問 54 成年後見制度を利用したいと思いますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

成年後見制度の利用については、「今は必要ないが、将来必要になったら利用したい」が41.9%、「利用したいとは思わない」が37.2%、「すでに利用している」が1.2%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「今は必要ないが、将来必要になったら利用したい」が38.3%（100件）、知的障がい者では18件、精神障がい者では25件となっています。



項目	件数	構成比
すでに利用している	4	1.2%
今は必要ないが、将来必要になったら利用したい	143	41.9%
利用したいとは思わない	127	37.2%
無回答	67	19.6%
合計	341	100.0%

項目	すでに利用している	今は必要ないが、将来必要になったら利用したい	利用したいとは思わない	無回答	合計
身体障がい者	2	100	105	54	261
	0.8%	38.3%	40.2%	20.7%	100.0%
知的障がい者	2	18	8	5	33
	6.1%	54.5%	24.2%	15.2%	100.0%
精神障がい者	0	25	14	8	47
	0.0%	53.2%	29.8%	17.0%	100.0%

## 11. 介助者について

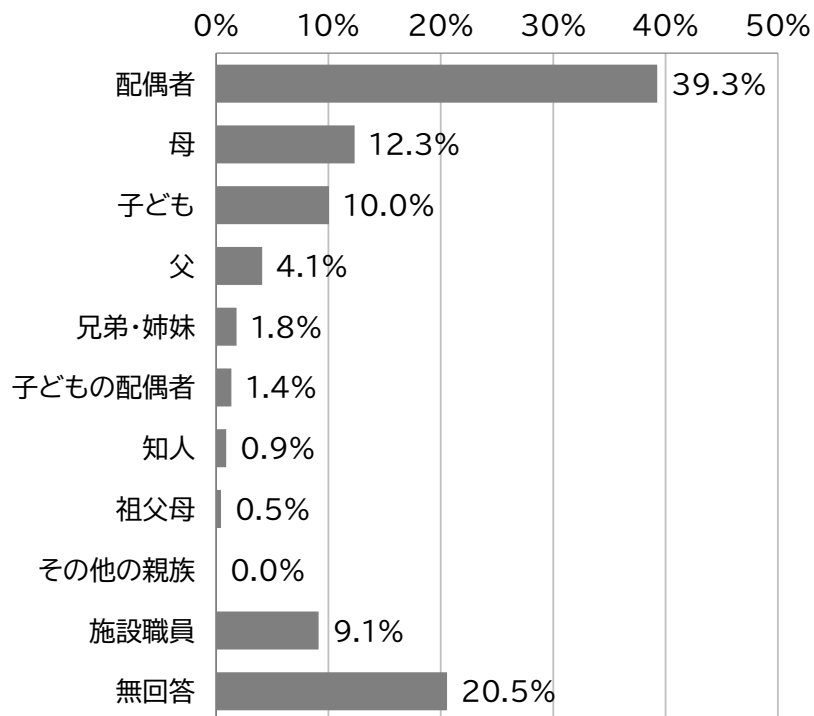
問 55～問 64 は、障がいがある方を日ごろ主に介助している方にうかがいます。なお、ここにおける「あなた」とは、介助者の方をさします。

介助者がいない方は、27 ページの自由回答にお進みください。

**問 55 あなたは、障がいがある方からみて、どんな関係にあたりますか。**  
(該当する番号1つに○をつけてください。)

介助者については、「配偶者」が 39.3%で最も多く、ついで「母」が 12.3%、「子ども」が 10.0%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「配偶者」が 47.0% (79 件)、知的障がい者では「施設職員」が 10 件、「母」が 8 件、精神障がい者では「母」が 10 件となっています。



項目	件数	構成比
配偶者	86	39.3%
母	27	12.3%
子ども	22	10.0%
父	9	4.1%
兄弟・姉妹	4	1.8%
子どもの配偶者	3	1.4%
知人	2	0.9%
祖父母	1	0.5%
その他の親族	0	0.0%
施設職員	20	9.1%
無回答	45	20.5%
回答者数	219	100.0%
非該当	122	-
合計	341	-

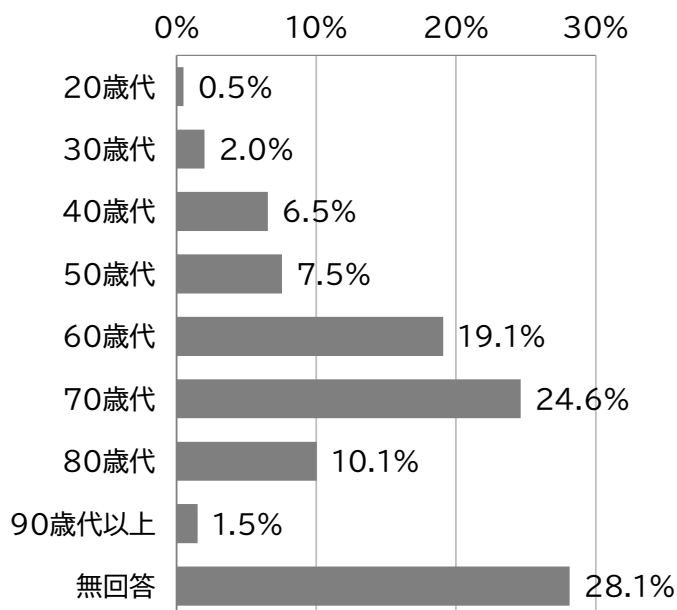
項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
配偶者	79	47.0%	0	0.0%	7	25.0%
子ども	19	11.3%	1	4.3%	2	7.1%
子どもの配偶者	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
父	6	3.6%	1	4.3%	2	7.1%
母	9	5.4%	8	34.8%	10	35.7%
祖父母	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%
兄弟・姉妹	3	1.8%	0	0.0%	1	3.6%
その他の親族	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
知人	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
施設職員	10	6.0%	10	43.5%	0	0.0%
無回答	37	22.0%	2	8.7%	6	21.4%
合計	168	100.0%	23	100.0%	28	100.0%

問55で「施設職員」とお答えの方は、問56以降の設問への回答は不要です。27ページの自由回答にお進みください。

#### 問 56 あなたは何歳ですか。

介助者の年齢については、「70歳代」が24.6%で最も多く、ついで「60歳代」が19.1%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「70歳代」が26.6%（42件）、知的障がい者では「30歳代」が4件、精神障がい者では「60歳代」が6件となっています。



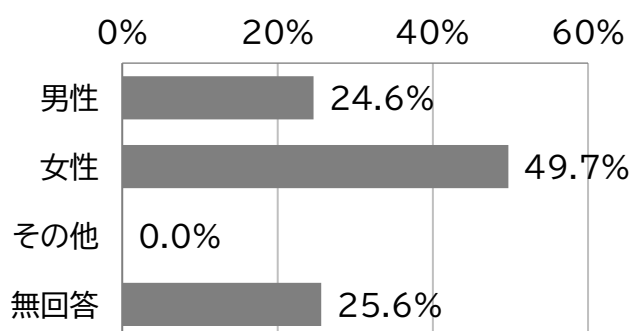
項目	件数	構成比
20歳代	1	0.5%
30歳代	4	2.0%
40歳代	13	6.5%
50歳代	15	7.5%
60歳代	38	19.1%
70歳代	49	24.6%
80歳代	20	10.1%
90歳代以上	3	1.5%
無回答	56	28.1%
合計	199	100.0%
非該当	142	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
20歳代	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%
30歳代	0	0.0%	4	30.8%	0	0.0%
40歳代	8	5.1%	1	7.7%	4	14.3%
50歳代	11	7.0%	0	0.0%	4	14.3%
60歳代	30	19.0%	2	15.4%	6	21.4%
70歳代	42	26.6%	3	23.1%	4	14.3%
80歳代	18	11.4%	0	0.0%	2	7.1%
90歳代以上	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	46	29.1%	2	15.4%	8	28.6%
合計	158	100.0%	13	100.0%	28	100.0%

問 57 あなたの性別は。(該当する番号1つに○をつけてください。)

介助者の性別については、「女性」が49.7%、「男性」が24.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「女性」が48.1% (76件)、知的障がい者では10件、精神障がい者では13件となっています。



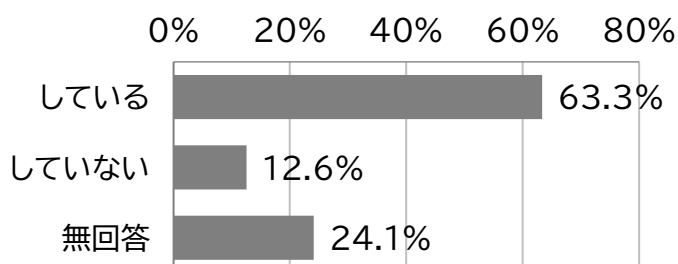
項目	件数	構成比
男性	49	24.6%
女性	99	49.7%
その他	0	0.0%
無回答	51	25.6%
合計	199	100.0%
非該当	142	-
合計	341	-

項目	男性	女性	その他	無回答	合計
身体障がい者	40	76	0	42	158
	25.3%	48.1%	0.0%	26.6%	100.0%
知的障がい者	1	10	0	2	13
	7.7%	76.9%	0.0%	15.4%	100.0%
精神障がい者	8	13	0	7	28
	28.6%	46.4%	0.0%	25.0%	100.0%

**問 58 あなたは、障がいがある方と同居していますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

障がい者との同居については、「している」が63.3%、「していない」が12.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「している」が60.8%（96件）、知的障がい者では11件、精神障がい者では19件となっています。



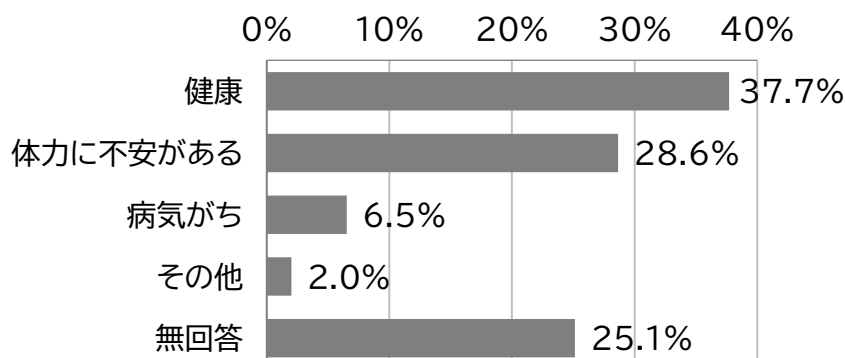
項目	件数	構成比
している	126	63.3%
していない	25	12.6%
無回答	48	24.1%
合計	199	100.0%
非該当	142	-
合計	341	-

項目	している	していない	無回答	合計
身体障がい者	96 60.8%	22 13.9%	40 25.3%	158 100.0%
知的障がい者	11 84.6%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%
精神障がい者	19 67.9%	2 7.1%	7 25.0%	28 100.0%

**問 59 あなたの健康状態はいかがですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

介助者の健康状態については、「健康」が37.7%、「体力に不安がある」が28.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「健康」が37.3%（59件）、知的障がい者では9件、精神障がい者では「体力に不安がある」が8件となっています。





項目	件数	構成比
健康	75	37.7%
体力に不安がある	57	28.6%
病気がち	13	6.5%
その他	4	2.0%
無回答	50	25.1%
合計	199	100.0%
非該当	142	-
合計	341	-

項目	健康	体力に不安がある	病気がち	その他	無回答	合計
身体障がい者	59	46	9	3	41	158
	37.3%	29.1%	5.7%	1.9%	25.9%	100.0%
知的障がい者	9	3	0	0	1	13
	69.2%	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%
精神障がい者	7	8	4	1	8	28
	25.0%	28.6%	14.3%	3.6%	28.6%	100.0%

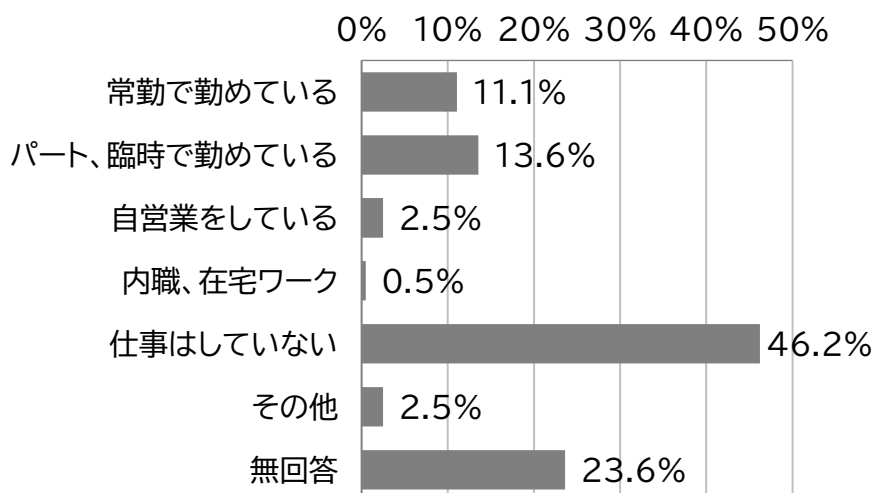
**【問 59 その他の記述】**

- 自病あり
- 腎不全
- 糖尿病
- 精神障害者
- 精神病

**問 60 あなたは仕事を持っていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)**

介助者の仕事については、「仕事はしていない」が 46.2%で最も多く、ついで「パート、臨時で勤めている」が 13.6%、「常勤で勤めている」が 11.1%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「仕事はしていない」が 43.7% (69 件)、知的障がい者では 7 件、精神障がい者では 16 件となっています。



項目	件数	構成比
常勤で勤めている	22	11.1%
パート、臨時で勤めている	27	13.6%
自営業をしている	5	2.5%
内職、在宅ワーク	1	0.5%
仕事はしていない	92	46.2%
その他	5	2.5%
無回答	47	23.6%
合計	199	100.0%
非該当	142	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
常勤で勤めている	19	12.0%	2	15.4%	1	3.6%
パート、臨時で勤めている	21	13.3%	3	23.1%	3	10.7%
自営業をしている	5	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
内職、在宅ワーク	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%
仕事はしていない	69	43.7%	7	53.8%	16	57.1%
その他	5	3.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	39	24.7%	1	7.7%	7	25.0%
合計	158	100.0%	13	100.0%	28	100.0%

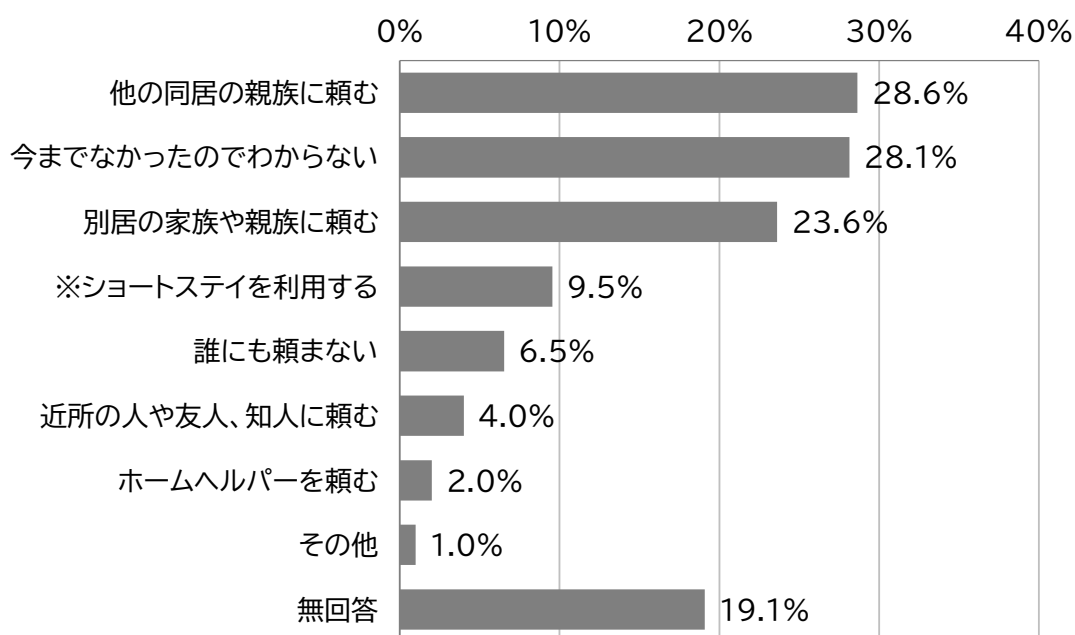
**【問 60 その他の記述】**

- 農業
- 家で仕事している
- 派遣
- 家庭菜園

**問 61 あなたが病気の時や外出で長期に留守になる時などにはどうしますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)**

介助者の長期の留守の時については、「他の同居の親族に頼む」が 28.6%で最も多く、ついで「今までなかったのわからない」が 28.1%、「別居の家族や親族に頼む」が 23.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「今までなかったのわからない」が 26.6% (42 件)、知的障がい者では「他の同居の親族に頼む」が 9 件、精神障がい者では「今までなかったのわからない」が 13 件となっています。



項目	件数	比率
他の同居の親族に頼む	57	28.6%
今までなかったのわからない	56	28.1%
別居の家族や親族に頼む	47	23.6%
※ショートステイを利用する	19	9.5%
誰にも頼まない	13	6.5%
近所の人や友人、知人に頼む	8	4.0%
ホームヘルパーを頼む	4	2.0%
その他	2	1.0%
無回答	38	19.1%
回答者数	199	-
非該当	142	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
他の同居の親族に頼む	40	25.3%	9	69.2%	8	28.6%
別居の家族や親族に頼む	39	24.7%	4	30.8%	4	14.3%
近所の人や友人、知人に頼む	6	3.8%	2	15.4%	0	0.0%
※ショートステイを利用する	18	11.4%	0	0.0%	1	3.6%
ホームヘルパーを頼む	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
誰にも頼まない	9	5.7%	0	0.0%	4	14.3%
今までなかったのわからない	42	26.6%	1	7.7%	13	46.4%
その他	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	33	20.9%	1	7.7%	4	14.3%
回答者数	158	-	13	-	28	-

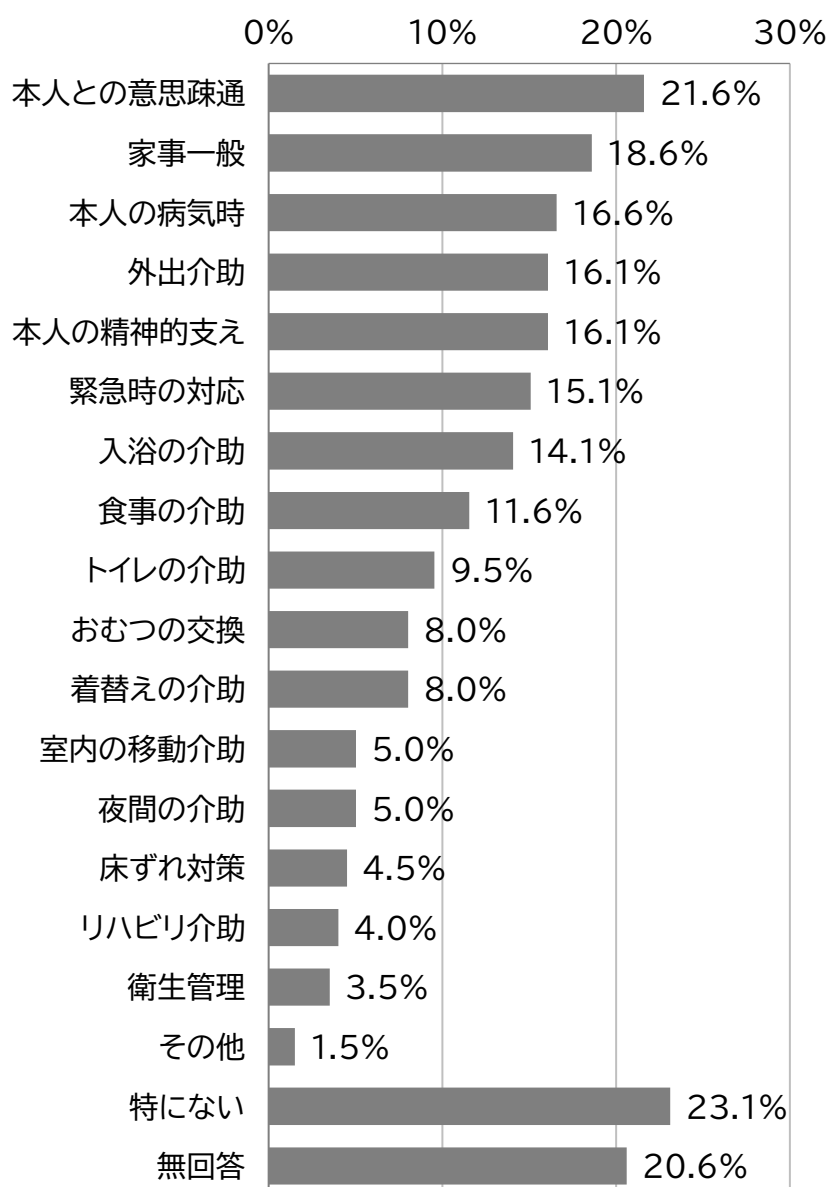
#### 【問 61 その他の記述】

- 施設に入っているの。
- 1～2時間なら一人で待っている。
- 介助が必要でない為
- 出かけるときは必ず友人に一言声をかけている。
- 施設に入所なので
- 病院で預かってもらう。

問 62 介助をする上で、特に大変なことは何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

介助で特に大変なことについては、「本人との意思疎通」が 21.6%で最も多く、ついで「家事一般」が 18.6%、「本人の病気時」が 16.6%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「入浴の介助」「本人との意思疎通」「家事一般」がそれぞれ 17.7% (28 件)、知的障がい者では「本人との意思疎通」が 7 件、精神障がい者では「本人の精神的支え」が 9 件となっています。



項目	件数	比率
本人との意思疎通	43	21.6%
家事一般	37	18.6%
本人の病気時	33	16.6%
外出介助	32	16.1%
本人の精神的支え	32	16.1%
緊急時の対応	30	15.1%
入浴の介助	28	14.1%
食事の介助	23	11.6%
トイレの介助	19	9.5%
おむつの交換	16	8.0%
着替えの介助	16	8.0%
室内の移動介助	10	5.0%
夜間の介助	10	5.0%
床ずれ対策	9	4.5%
リハビリ介助	8	4.0%
衛生管理	7	3.5%
その他	3	1.5%
特にない	46	23.1%
無回答	41	20.6%
回答者数	199	-
非該当	142	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
食事の介助	23	14.6%	0	0.0%	0	0.0%
トイレの介助	18	11.4%	0	0.0%	1	3.6%
おむつの交換	14	8.9%	0	0.0%	2	7.1%
入浴の介助	28	17.7%	0	0.0%	0	0.0%
着替えの介助	15	9.5%	0	0.0%	1	3.6%
衛生管理	5	3.2%	0	0.0%	2	7.1%
床ずれ対策	8	5.1%	0	0.0%	1	3.6%
室内の移動介助	9	5.7%	0	0.0%	1	3.6%
外出介助	27	17.1%	1	7.7%	4	14.3%
リハビリ介助	8	5.1%	0	0.0%	0	0.0%
夜間の介助	9	5.7%	0	0.0%	1	3.6%
本人との意思疎通	28	17.7%	7	53.8%	8	28.6%
本人の精神的支え	21	13.3%	2	15.4%	9	32.1%
本人の病気時	23	14.6%	2	15.4%	8	28.6%
緊急時の対応	26	16.5%	3	23.1%	1	3.6%
家事一般	28	17.7%	4	30.8%	5	17.9%
その他	2	1.3%	1	7.7%	0	0.0%
特にない	36	22.8%	4	30.8%	6	21.4%
無回答	34	21.5%	1	7.7%	6	21.4%
回答者数	158	-	13	-	28	-

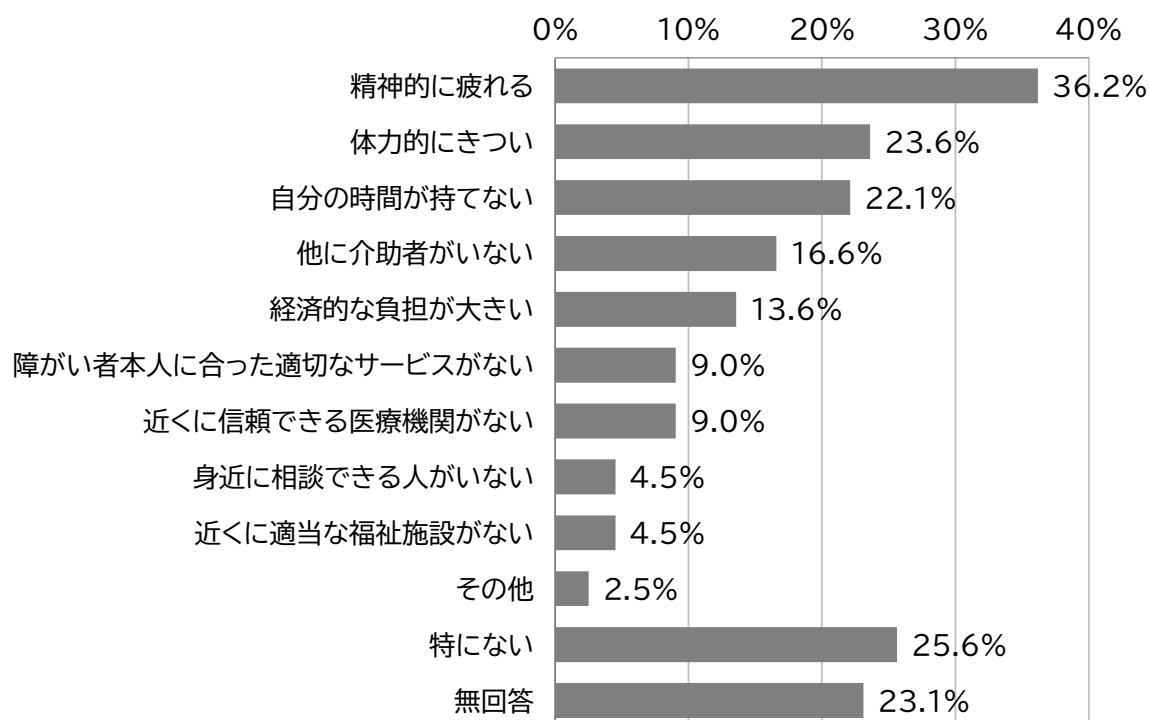
【問 62 その他の記述】

- 現在いないのでわからない。

問 63 介助をする上で、悩みや問題がありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)

介助の悩みや問題については、「精神的に疲れる」が 36.2%で最も多く、ついで「体力的にきつい」が 23.6%、「自分の時間が持てない」が 22.1%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「精神的に疲れる」が 34.2%（54 件）、知的障がい者では 7 件、精神障がい者では 11 件となっています。



項目	件数	比率
精神的に疲れる	72	36.2%
体力的にきつい	47	23.6%
自分の時間が持てない	44	22.1%
他に介助者がいない	33	16.6%
経済的な負担が大きい	27	13.6%
障がい者本人に合った適切なサービスがない	18	9.0%
近くに信頼できる医療機関がない	18	9.0%
身近に相談できる人がいない	9	4.5%
近くに適当な福祉施設がない	9	4.5%
その他	5	2.5%
特にない	51	25.6%
無回答	46	23.1%
回答者数	199	-
非該当	142	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
体力的にきつい	38	24.1%	4	30.8%	5	17.9%
精神的に疲れる	54	34.2%	7	53.8%	11	39.3%
自分の時間が持てない	33	20.9%	4	30.8%	7	25.0%
他に介助者がいない	24	15.2%	5	38.5%	4	14.3%
経済的な負担が大きい	20	12.7%	1	7.7%	6	21.4%
身近に相談できる人がいない	7	4.4%	1	7.7%	1	3.6%
近くに適当な福祉施設がない	6	3.8%	2	15.4%	1	3.6%
障がい者本人に合った適切なサービスがない	12	7.6%	3	23.1%	3	10.7%
近くに信頼できる医療機関がない	14	8.9%	0	0.0%	4	14.3%
その他	2	1.3%	2	15.4%	1	3.6%
特になし	39	24.7%	4	30.8%	8	28.6%
無回答	39	24.7%	1	7.7%	6	21.4%
回答者数	158	-	13	-	28	-

### 【問 63 その他の記述】

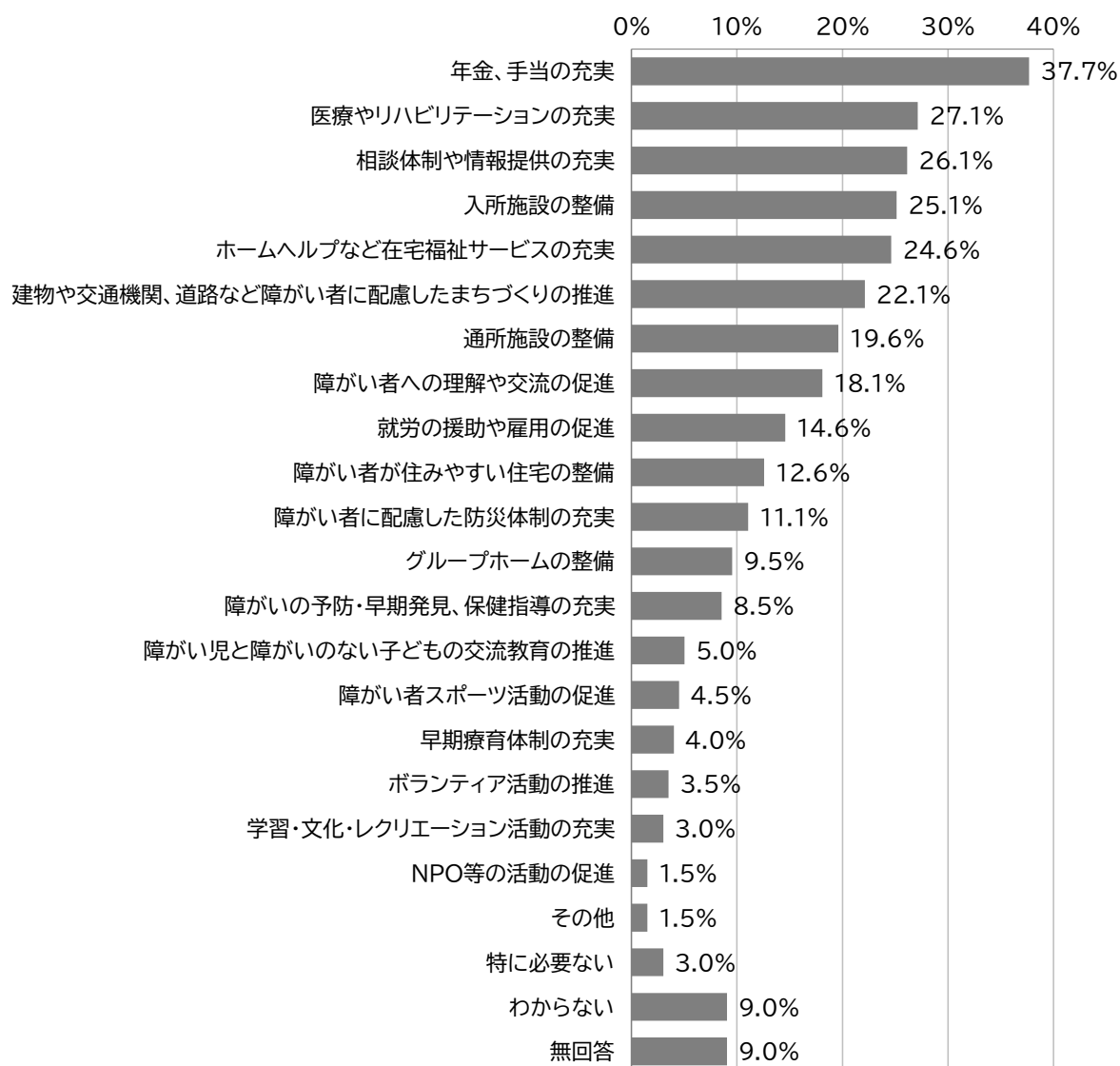
- 仕事との両立が非常に困難。
- ちょっとうるさい。
- まともに働けない。
- 将来の心配。
- 介護に理解を得られず、雇い止めされ、ハローワークでも対応が悪く、仕事がなかなか見つからず経済的に困っている。



問 64 鳩山町で、障がいがある方のためにこれから特に力を入れるべきだと思う施策はどのようなことですか。(該当する番号4つまでに○をつけてください)

鳩山町の特に力を入れるべき施策については、「年金、手当の充実」が 37.7%で最も多く、ついで「医療やリハビリテーションの充実」が 27.1%、「相談体制や情報提供の充実」が 26.1%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者では「年金、手当の充実」が 33.5% (53 件)、知的障がい者では「通所施設の整備」「相談体制や情報提供の充実」「年金、手当の充実」がそれぞれ 6 件、精神障がい者では「年金、手当の充実」が 16 件となっています。



項目	件数	比率
年金、手当の充実	75	37.7%
医療やリハビリテーションの充実	54	27.1%
相談体制や情報提供の充実	52	26.1%
入所施設の整備	50	25.1%
ホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実	49	24.6%
建物や交通機関、道路など障がい者に配慮したまちづくりの推進	44	22.1%
通所施設の整備	39	19.6%
障がい者への理解や交流の促進	36	18.1%
就労の援助や雇用の促進	29	14.6%
障がい者が住みやすい住宅の整備	25	12.6%
障がい者に配慮した防災体制の充実	22	11.1%
グループホームの整備	19	9.5%
障がいの予防・早期発見、保健指導の充実	17	8.5%
障がい児と障がいのない子どもの交流教育の推進	10	5.0%
障がい者スポーツ活動の促進	9	4.5%
早期療育体制の充実	8	4.0%
ボランティア活動の推進	7	3.5%
学習・文化・レクリエーション活動の充実	6	3.0%
NPO等の活動の促進	3	1.5%
その他	3	1.5%
特に必要ない	6	3.0%
わからない	18	9.0%
無回答	18	9.0%
回答者数	199	-
非該当	142	-
合計	341	-

項目	身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
ホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実	44	27.8%	3	23.1%	2	7.1%
入所施設の整備	43	27.2%	2	15.4%	5	17.9%
通所施設の整備	28	17.7%	6	46.2%	5	17.9%
グループホームの整備	13	8.2%	2	15.4%	4	14.3%
相談体制や情報提供の充実	36	22.8%	6	46.2%	10	35.7%
障がいの予防・早期発見、保健指導の充実	12	7.6%	3	23.1%	2	7.1%
早期療育体制の充実	4	2.5%	4	30.8%	0	0.0%
医療やリハビリテーションの充実	48	30.4%	1	7.7%	5	17.9%
就労の援助や雇用の促進	17	10.8%	3	23.1%	9	32.1%
障がい児と障がいのない子どもの交流教育の推進	8	5.1%	1	7.7%	1	3.6%
学習・文化・レクリエーション活動の充実	4	2.5%	0	0.0%	2	7.1%
障がい者スポーツ活動の促進	7	4.4%	1	7.7%	1	3.6%
建物や交通機関、道路など障がい者に配慮したまちづくりの推進	40	25.3%	1	7.7%	3	10.7%
障がい者が住みやすい住宅の整備	19	12.0%	0	0.0%	6	21.4%
障がい者に配慮した防災体制の充実	19	12.0%	0	0.0%	3	10.7%
年金、手当の充実	53	33.5%	6	46.2%	16	57.1%
ボランティア活動の推進	5	3.2%	1	7.7%	1	3.6%
NPO等の活動の促進	1	0.6%	0	0.0%	2	7.1%
障がい者への理解や交流の促進	26	16.5%	2	15.4%	8	28.6%
その他	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
特に必要ない	6	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	14	8.9%	0	0.0%	4	14.3%
無回答	15	9.5%	2	15.4%	1	3.6%
回答者数	158	-	13	-	28	-

#### 【問 64 その他の記述】

- 庭木の整備。
- 介助者へのケア。(介助の仕方の色々な方法紹介とか、ストレスのコントロールとか)

## 12. 自由記述

### ◎身体障がい者の記述

- 本人入院中のためアンケートに対しあまり協力できませんでした。(90歳代以上, 女性)
- ご本人は長期入院中。コミュニケーション不能。後見類型。今後も入院が継続する予定。(90歳代以上, 女性)
- アンケート設問が、障害の内容により回答しにくいものが多いのでは。障害や生活レベル(ステージ)：子供、学生、就労世代、老齢などにより、設問をスキップできる/または、ステージに合せた設問選択できる方が、回答しやすく、実情を伝えることができると思いました。(70歳代, 男性)
- 1回の量が多い。部門で分けてやってほしい。(複数回など) (40歳代, 女性)
- 多くの人が見える所の道路だけでなく、利用する人の多い側道の道路の整備、電線にかぶさった大木等の注意(整備)をお願いしたい。(80歳代, 女性)
- 福祉課の対応する方が親切で丁寧な人がいないのが残念です。初めて窓口に行く人が多いと思いますので！(70歳代, 女性)
- これから年金だけでは生活して行けないので仕事しながら年金をもらいたいが病気で身体障がい者になってしまったので、いつまで仕事ができるのか不安です。(60歳代, 男性)
- もっと障がい者のことに目をむけて、気軽に障がい者が相談や話しができる町にしたい(50歳代, 男性)
- 年金生活者のため受給額が目減りしてきているので、金銭手当等で支援して欲しい。(60歳代, 男性)
- よくテレビなどで幸福の町一位とかいうことをききますが、どんなことなのか、わかりかねます。車がないと生活の範囲がかぎられてきて、大変です。なにをするのもお金が必要になります。(ハトタクなどを利用して) 幸福の町とかいうことで、あき巢や、へんな電話などが、ふえているということです。一人暮らしの人が多くなっているのです。物騒です。必ずカギをかけるようにしています。(80歳代, 女性)
- 1質問が多すぎると思う。途中であきてしまう。(80歳代, 男性)
- 人工関節の手術(4、5回)をして40数年たちました。家事はなんとかやっています。無理はできません。庭の草取りなどは腰にきて、すべり症といわれています。できない事は夫に助けてもらっています。(80歳代, 女性)
- 母の介護を自宅でした。仕事と介護の両立は大変で、施設に入所させました。入所したことで笑顔で会いに行くことができるようになりました。しかし、母の年金収入だけでは施設の費用は足りず、毎日息子の私が負担しており家計を圧迫しております。どのお宅も同じような問題を抱えていると思いますが、この部分を何かサポートしていただければとても救われます。鳩山町は他の市町村と比べると温かい町だと感じており、既に良く配慮いただいていると思いますが、制度などができたら更に素晴らしい町になると思います。(80歳代, 女性)
- 私の場合は、今の障がいより、徐々に高齢になるにつれて、色々やりづらさが出て来ているように思う。・字が書きづらくなっている。・定期的に病院には行って検査は受けている。・物残れを感じる。70才すぎた頃から、徐々に感じています。これも高齢によるもの

なのか？人それぞれだとは思っていますが、自分では気をつけて行こうとは思ってます。  
(70 歳代, 女性)

- 固定資産税、無料、税金が高い、公務員多いです。障害者年金もっと上げてほしい。(60 歳代, 男性)
- 車 スピード件①スピードだしすぎ、あいさつない件、②道路車多い、③車庫に入れてほしい、住宅工事に道路に車とめての工事こまる。(70 歳代, 男性)
- 鳩山町では、障害者のことについて、よくやって下さっていると思います。大変感謝致しております。一概に障害者といっても、いろんな種類や状態、症状の障害者がいます。しかも、軽い障害者から中程度の障害者、重度の障害者、超重度・重複（重症児者）の人までいろいろです。すべて障害者として、ひとくくりにはできません。それぞれに対応した施策となると大変だと思いますが、今後共、適切に対応していただきたく何卒よろしくお願い致します。(50 歳代, 男性)
- 鳩山町は障がい者に対し、施設も規定もしっかりしていると思います。今後更に良いものに向する事を願います。(90 歳代以上, 女性)
- 足（人工股関節）は 20 年しかもたないので 10 年過ぎたのであと 10 年です。もう一度入院（2 ヶ月）すると、それがきっかけで認知症になることもあるらしい。先ことは、分からない。でも、61 歳の時と 81 歳では、体力・気力も違うので、心配しています。認知症になったら、家族はお手上げです。施設に入るしかないと思われます。そんな時 町はどのように対処して下さるのか？(70 歳代, 女性)
- ○現状の事は答えられるのですが、先の事は、予想が難しく答えにくいです。○介助する方が主となるアンケートの方が大事な事が多いと思います。(60 歳代, 女性)
- いつも大変お世話になっております。公的支援を利用させて頂きながら仕事を続けることが出来ております。感謝申し上げます。仕事をしなければならない者、したい者が仕事を続けられる環境を整えることは全く容易ではありませんので、鳩山町で様々な御支援を頂き本当にありがたいと思っております。(10 歳代, 女性)
- 自宅にこもりがち。1 年に 1 度の旅、または月に 1 度温泉を兼ねたバス旅行ができると生きる楽しみになるかと思う。また、買い物ができるバス(デマンド)がゆっくり 1 日配慮してもらえると嬉しい。(丸広位)行きたい。坂戸(丸広)なくなり東松山位まで行きたい。(80 歳代, 女性)
- この様なアンケートが何回もありますが有効利用されているのでしょうか？疑問に思います。大変だと思いますがよろしくお願い致します。(60 歳代, 男性)
- 誘致ブロック等設置を多くしてほしい。街灯を多くしてほしい。(40 歳代, 男性)
- 民生委員さんの役に立たない。(70 歳代, 男性)
- デイサービスの時間が短すぎる。認知症の介護の人は大変です。介護する側に配慮がほしい。ゆっくり休むことができない。疲れは出ている。介護している側の意見、現状をしっかり把握してほしい。事件が起きてからでは困りますし、どうすることもできないでいる人が多いのではないのでしょうか？情報を得てください。(70 歳代, 女性)
- 職業訓練にどのようなものがあるのですか？どこでやっているのですか？(40 歳代, 男性)
- 自宅でこれからも暮らしていける様に望んでいるが今後の在宅における様々な支援が充

実してほしい(70 歳代, 女性)

- 障害ある、なしに関わらず住みやすい町であることを望みます。経済的な援助は大変ありがたいです。障害のある人だから優しくしようという考えではなく人それぞれ助けてほしい時もありお互いに助けたり、助けられたりするのがいい生き方につながるのではないかと思います。健常者が障害者を助けるのではなく健常者にも時にもろい部分があるのは当然。そんな時健常者でも障害者でも助けられるときは助けの力になればと思います。一方通行の障害者援助になりません用学校などでは特に。(70 歳代, 女性)
- ホームヘルパーがほしいと思います(80 歳代, 女性)
- 現在、安く入れる施設がなく不便さを感じています。年金生活で施設が高いと、ちょっと無理があるのでもう少し安く入れる所があったらと思っています、それも、出来れば近くで！(70 歳代, 男性)
- 障害者1級なのでデマンドタクシーの補助1回100円とか何回か無料のチケット(年12枚など)があると外出が容易にする(60 歳代, 男性)
- ・広報は鳩山の(裏)の人口、+、-は転出なのか死亡なのか知りたい。・古新聞、段ボールなど町に出しているが自治会や新聞屋さんも同じようにやっている。どこに出したらいいのか、重いので歩かないほうがいいかなとか思っている。(80 歳代, 女性)
- 用語ガイドは適切ですがそれでも質問に理解が困ることがある。個人の能力不足でしょうね。(80 歳代, 女性)
- 視覚障害者なので質問事項に得にくいものもあり回答が難しいものもあった。(70 歳代, 男性)
- 鳩山町にはグループホームなどの施設はたくさんありますが、常に見守りが必要な障害者を預かってくれる施設がないので病院へお願いするしかない。常勤の看護師たちがいる安心して預かってくれる施設が出来ればと願ってます。(70 歳代, 男性)
- 地域福祉、障害者福祉担当(特にベテランの方)は大変親切で大切に対応して下さり感動しました。前向きになろうと思えました。医療費無料は大変ありがたいですが障害に直接関係ない(私の場合は内部なので)歯科などは自費でよいのではないかと。税金なので、と思う。(60 歳代, 女性)
- 質問の意味があいまいなものが多く答えるのが困難だった。一応本人に代わる気持ちで回答したが本人に質問を理解したり、考えて回答する力がない場合どう答えてよいのかがよくわからなかった。質問が現状で、どのことを尋ねているのか、混在していてわかりにくかった。(60 歳代, 男性)
- 雑でごめんなさい。楽しかったです。(10 歳代, 女性)
- 親は先に死にます。後々よろしく願います。(60 歳代, 女性)
- 役場の方はいつも親切にいろいろな質問や困ったことなど教えてくださり対応していただいております。(80 歳代, 男性)
- 色々な充実に期待します。(60 歳代, 女性)
- 鳩山町は非常に住みやすい町です。将来西友がなくなる時の食物等を考えることが多くなった。空き家が目立つようになってきた。対策を至急考えてください。(70 歳代, 男性)
- 現在特に問題はありません。近所付き合いも的等にできていますし、家族で気晴らしにな

- ることもしています。知り合いになれば、手助けもしてあげています。(70歳代, 男性)
- アンケートにも、記入はしましたが、災害時病院などすぐ行かれず必要な部品が家にそなえていなくてもなくなった場合、避難所などに行けばもらえるシステムがあっしてほしいのと、トイレも不衛生になるので障害者へも優しいトイレなど設置が出来る様になどあったら安心です。(不明, 不明)
  - ・障害者を持つ人と時間、接する町職員をもっと増やし、障害者を持つ人に現状、希望を能動的につかみ行政に反映させてほしい。このアンケートもその1歩として活用してください。・親亡き後に残された障害者を持つ人の生活に役立つグループホームが必要だと思います(80歳代, 男性)
  - 問42と問64は書き出しの「あなたは」と「鳩山町で」の4文字が異なるだけで内容は全く同じだと思いますが何故でしょうか?(70歳代, 男性)
  - 支援を受けないと生活できない障害者はたくさんいます。支援体制の充実、強化を希望します(70歳代, 女性)
  - 障害者アンケート調査以来のお願いとして送付がありました件について。障害者にはいろんな障害を持っているものがあります。アンケート調査にはそれぞれ各障害者を一緒くれたんにして調査していると思われませんが、何箇所か、該当者に適したアンケート調査といえるか、漠然としたアンケート調査として見受けられる。個々にあったアンケート調査の中には該当する障害者と該当していない障害者があり、何のアンケートとしての主旨が分からない。今後、各々の障害者に適したアンケート調査をお願いしたい。※誰に対してのアンケート調査なのか、今後ともよろしく願いいたします。(70歳代, 男性)
  - ニュータウン在住のものですが諸所相談事、手続等役場出張所にて完結できる様になると歩行困難者にとって大変ありがたいことです。ご配慮の程を。(80歳代, 男性)
  - 町役場長寿福祉課の窓口を訪れる障害者及び家族は、様々な葛藤を抱えています。かつて、私自身、精神障害を持つ家族の相談で窓口を訪れた時、担当職員の面談時の対応に強い不信感を抱く経験をしました。伴走型支援、アウトリーチ、断らない相談支援等々、何となくやっている感がありますが、どんなにいいことと思われる制度や体制でも、その基盤となる相談支援が信頼関係のないところで成り立つわけがありません。信頼関係のないところで「伴走型支援」、又は「アウトリーチ」と言われてもこちらからお断りしたくなります。幸い他市長の相談支援センターや他市町の社協に相談に乗っていただいたり、情報を得たりしてかろうじて救われ、暮らしを繋いでおりますが、この鳩山町が、相談するにしてもまた情報を得るにしても一番遠い存在になっていて本当に辛く不自由な思いしております。(70歳代, 男性)
  - 交通が不便。車がないと家族に頼るしかない(70歳代, 不明)
  - 自分一人では自転車も乗れないので、お使いに行きたくてもすぐに行けない。家の人も仕事に行っているので頼めない。それが一番困っている。 障害者のためにいろいろな心配ありがとうございます。これからもよろしく願います。(80歳代, 女性)
  - 現在、行われている障害者への福祉事業を有難く思っています。これからの若い人たちが障害に打ち勝って生きられるようあらゆる面での支援をお願いします(90歳代以上, 女性)
  - お世話になり感謝申し上げます。この様に現状を把握し福祉政策に生かそうとしてくださ

る町の姿勢をありがたく思います。(40歳代, 女性)

- 高齢化率の高いニュータウンで、障害者に優しい街づくりは、高齢者にとっても好ましい状況だと思います。真に「日本一の幸せな町、づくりの為、厳しい財政環境か」と思いますが、ご尽力いただきますよう願っております。(70歳代, 男性)
- 内部障害につきましては、30年～40年の代の健康診断に基づき、健康相談の充実を図ればほとんど防止することが出来ると推測いたします。(80歳代, 男性)
- 私共の年代(自分87歳、妻85歳)で共稼ぎで年金がともにあり(共に定年まで勤めあげた者)はどうか生活はできているが、年々年金等はあてにならず日本そのものが弱者は生活困難になると思う。(娘はカナダに在住しているが、年金で生活している。60歳)。北欧のように安心して老後が暮らせる社会が必要と思う。(80歳代, 男性)
- 鳩山町も広域手話通訳者派遣の早期実現を望みます。そのために養成や県で行われているレベルアップ講習会などの参加を促してほしいです。(60歳代, 女性)

#### ◎知的障がい者の記述

- 障害者を持つ親として、親が死んだら我が子はどうやって生活して行くだらうかと心配なりません。障害者を持つ親は皆考えは一緒です。行政がそのの所をしっかりとサポートして下さることを切に願っています。(40歳代, 男性)
- マスコミ発表によると日本1 幸せな町、鳩山町なので今は特に問題はないが。鳩山町は消滅都市になると意見もあり。地方分権の介護保険を守るためにも先々のことを考えて対策してほしいです(50歳代, 女性)
- ①障害にもわかりやすいホームページを作ってほしい。②交通とかももっと安全な道や歩道にしてほしい(川沿いの道で車いす乗ってる人を見ると砂利道は危ないと思うので補修してほしい。)。③今この世の中なので、交流とか難しいと思いますがもっと障害についてわかってほしいし、学校でも保健体育とかあるならそのどっかで活用してほしい。④本当に外見だけしか見てもらえないのでつらい人もいたり、色々抱え込む人もたくさんできています。私も、その中の一人なのですが。もっとたくさんの人に知ってもらいたいし、差別やイジメも多いのも現実なので安定できる・・・安心して・・・いける(暮らせるように)仕事でも、学校でも、障害の人だって同じ人間なので学べるような(障害について)ボランティアとか勉強等があると自分のためにも他の人の為にもなると思います(20歳代, 女性)
- 年金手当の充実を望みます。現在2級一。1級にしてほしい！なぜか？成年後見制度、利用したいが、2級の場合、後見人の手当2万近く支払うそう。すると本人の生活費がなくなってしまう。できないので(相談したが)親の目の黒いうちは頑張る以外ないとやめにしました。(40歳代, その他)
- デマンドタクシー北坂戸駅までをもっと安くしてほしい。元気な時は必要なくても高齢で一人暮らしになって、体が弱くなったときに福祉や助け合いが必要になると思います。普段から近所の人と仲良くコミュニケーションを取り助け合いが必要だと思います。(40歳代, 女性)
- 障害があると、いろいろなことにお金がかかるしそうしないと暮らしていけないのに、親



がそのために働いて少し所得が上がると手当等が次から次へとなくなっていくというのは違和感しかない。障害児を預かってくれるデイサービスも時間が一般的な学童施設に比べて極端に短く障害児の親は働く時間も場所も制限がかけられて負担ばかりふえていく。自立支援や生活支援と言葉ではいくらでも出てくるけど実態は全く逆の動きを取っていてつらさが増していくばかりです。(10歳代, 男性)

- 知恵遅れのない発達障害児(小1)の親です。学校では通級を利用、放課後デイは坂戸と飯能に通っています。知恵遅れがないため、医療機関では訓練は受けられないものといわれましたが、学校生活での困りごとが多く、先生方も大変そうですし本人もストレスが溜まり、「死にたい」と言い出すなど親もサポートの仕方が分からず困っています。放課後デイでの支援を期待していますが、鳩山町には息子の特性に合いそうな事業所がなく町外へいっている為下の子を連れての送迎が大変です。町内の事業所も良さそうですが今は運動やIT特化型など放課後デイも求められ、息子もプログラミングなど相性がいいと本人も望んでいるので通級や放課後デイの支援にもぜひ取り入れていただきたいです。しかし、役場の方がIT療養の事業所を探してくださったり、息子の特性から中学校のカウンセラーの先生に来ていただいたりと大変感謝しております。今後共よろしくお願いします。(10歳未満, 男性)
- 発達障害の子がおり、光の家でのリハビリと児童発達支援に通っています。療育につながるまで、時間がかかりました。すすすく相談は年3回ほどでは機会を逃してしまいましたので必要な時に受診が出来たらいいなと思いました。また、相談窓口があいまいで役場や保健センターの職員の方々は親切な対応をしてくださいましたが、発達障害や福祉サービスに詳しい印象ではなかったのですぐに精通している光の家や関係機関につなげてほしかったです。また、鳩山町の児相は1か所で、自由系のいい事業所(運動療育系や総合系など)を誘致、紹介などをしていただけたら家族にとっても、送迎の負担など軽減されより良く暮らせると思いました。要望をたくさん書いてしまいました但现在福祉サービスを利用させていただき感謝申し上げます。(10歳未満, 男性)
- この様なアンケートは読むのも書くのも大変です。やめていただけたらと思います。以上(40歳代, 男性)

### ◎精神障がい者の記述

- ニュータウンからちよっくまへ行く手段が少ないです。高坂駅~おごせ方面へのバスがあると便利なのですが・・・。ニュータウン内を通らないので不便です。ちよっくまのあんドーナツとカレーパン絶品なので気軽に買いにいけないのがおしいです。自分の障がいについては、おかげ様でパートですが就職できるまでになりました。ありがとうございます。(40歳代, 女性)
- 現在訪問看護を受けて大変良いです。(70歳代, 女性)
- 高齢の高次脳機能障害の相談にのってくれる窓口がなく、精神障害者保健福祉手帳を取得するのに2年もかかった。このコロナ禍に身体の不自由な高齢者を上尾や川越の病院まで連れても行けないので、近くで診てもらえる病院がほしい。またコロナワクチン接種で2日間副反応で苦しんでいても救急搬送してもらおうことができず、やっと救急搬送されたと

ころ 2 ヶ月の入院となった。自分の意志を病気の為上手く伝えられない人のフォローをもっとしてもらえないと本人の身の置き場がない。また、介護離職をして介護の為コロナ感染する訳にもいかず就労できない 60 才以下の家族には経済的な救助をしてほしい。(障害児を育てている親にはありますよね?子どもも老人も同じです!) 役場の介護・障害担当職員の対応はとても悪い! 窓口についても誰も窓口まで出てこない。(となりの町民課の職員が出てきてくれます) もっとサービス業であることを自覚して下さい。町民への奉仕の仕事ですよ、机上の仕事は手を止めてお客様対応が第一では? 課長以下、しっかり対応していただきたいと思います。(70 歳代, 男性)

- 生きてるのしんどい。できれば早く死にたい。生まれたくなかった。(30 歳代, 女性)
- 自立支援の手続きに行ったとき中年女性に上からの目線で対応された。私より年下であるし言い方がとても失礼で馬鹿にされたと思い悔しい思いをした。自立支援を担当している事、相応しくないと思う。(60 歳代, 女性)
- できたら、障害者手帳、自立支援医療の継続手続きの簡素化。(毎年のように同じことを書いているから)(60 歳代, 男性)
- 日頃お世話になっています。麻雀など、レクができる通所施設(自由に出入りできる)があると嬉しいです。(30 歳代, 男性)
- この忙しい時にアンケートなんかやらせるな。二度とアンケートなんかやるな。いい加減にしろ。ばかやろう。(50 歳代, 男性)
- 仕事のことで難しい。(50 歳代, 男性)
- 障害者のための納得できる、働ける場所がほしいです。経済的にも、ゆとりを持てるようになりたいです。(30 歳代, 男性)
- 現在、娘はパートで物流の仕事についてますが、一般職として入ったので現在の状態でいつまで働けるか心配です。また、現在の勤務先が不便なところにあるため将来のことを考えると障害者就労支援センターの紹介を得て近場で見つけられたらと思っています。(40 歳代, 女性)
- ここ数年でガソリン代がすごく上がっているのに燃料費の補助は全く変わらない。ワクチン接種の時も病気で人と会うことができないのに大勢の人がいる会場に行かないと受けられなかった。本当に困っている人に特別な配慮を示してほしい。どうしてもできないことがあるんです。(40 歳代, 男性)
- 自宅の家の中を盗撮されている。iPhone の中身をハッキングされている。周りの勝手な解釈で白い目で見られている。(馬鹿にされている)(怖い)(50 歳代, 男性)
- 精神障害の事についてもっと理解してほしいです。(40 歳代, 男性)
- 介護者が仕事に行っている間、要介護者が安心して過ごせる通所施設がほしい。金銭面でのサポートもまだ不十分。(40 歳代, 女性)

資料 調査票



## 用語ガイド

### か行

**グループホーム**／地域において共同生活を営むのに支障のない知的障がい者や精神障がい者が、日常生活における援助等を受けながら自立して生活する施設。

**行動援護**／行動に著しい困難を有する知的障がいや精神障がいのある方が、行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護、排せつ、食事等の介護のほか、行動する際に必要な援助を行います。

### さ行

**児童発達支援**／日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス。

**重度障害者等包括支援**／常時介護を必要とする障がい者に対して、介護の必要度が著しく高い場合に居宅介護等を包括的に提供する事業。

**重度訪問介護**／重度の肢体不自由者で常時介護を必要とする障がい者に対して、自宅で入浴、排せつ、食事の介護などの介助や、外出時における移動の介護を総合的に提供する事業。

**就労移行支援**／一般就労を希望する人に、一定期間、生産活動やその他の活動機会の提供、知識や能力向上のための訓練を行う事業。

**就労継続支援**／通常の事業所で働くことが困難な人に、就労機会の提供や生産活動その他の活動機会の提供、知識や能力向上のための訓練を行う事業。一般就労が可能と見込まれる人を対象とするA型(雇成型)、就労に必要な知識及び能力の向上・維持が期待される人を対象とするB型(非雇成型)がある。

**就労定着支援**／就労移行支援等を利用して通常の事業所に新たに雇用された障がい者の方の就労の継続を図るため、企業、障害福祉サービス事業所、医療機関等との連絡調整を行うと共に、雇用に伴い生じる日常生活又は社会生活を営む上での問題に対する相談、助言、指導等を行う。

**障害者差別解消法**／全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として制定された。

**障害者生活サポート**／在宅の障がい者の地域生活を支援するため、町に登録してあるサービス提供事業者から移送サービスや外出援助サービス、派遣による介護サービスなどを利用した場合に援助を行うもの。

**ジョブコーチ**／障がい者の就労にあたり、出来ることと出来ないことを事業所に伝達するなど、障がい者が円滑に就労できるように職場内外の支援環境を整える者。

**自立生活援助**／居宅において単身等で生活する方に対し、定期的な巡回訪問又は随時通報

を受けて行う訪問、相談対応等により、自立した日常生活を営む上での問題を把握し、必要な情報の提供や関係機関等の連絡調整等の援助を行うもの。

**生活ホーム／身体障がい者または知的障がい者で、自立した生活を望みながらも家庭環境や住宅事情等でそれができない方が、生活面での指導・援助を受けながら少人数で生活する施設。**

**成年後見制度利用支援／知的障がい者、精神障がい者の成年後見制度利用申し立てに要する経費などを助成するもの。**

## **た行**

**短期入所(ショートステイ)／介護者が病気や冠婚葬祭等により、在宅での生活が維持的に困難になった人が、施設、病院等に短期間入所するサービス。**

**デイケア／在宅の心身障がい者等が通って、医学的管理のもとで機能訓練や社会適応訓練など、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を図るサービス。**

**デイサービス／在宅の心身障がい者等が通って、創作的活動、機能訓練、社会適応訓練、入浴、給食の提供を受け、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を図るサービス。**

**同行援護／移動に著しい困難を有する視覚障がいのある方が外出する際、ご本人に同行し、移動に必要な情報の提供や、移動の援護、排せつ、食事等の介護のほか、ご本人が外出する際に必要な援助を適切かつ効果的に行います。**

## **は行**

**鳩山町総合相談支援窓口／ご家庭内又はお一人で複数の問題を抱えていて、どこに相談すれば良いのか分からない等の困り事に対して、相談支援包括化推進員が相談支援、関係機関との連携やつなぐ役目を果たします。**

**避難行動要支援者支援制度／障がいがある方や高齢の方など、災害発生時に一人で避難することが困難な方(要支援者)の情報を事前に避難行動要支援者名簿に登録しておくことにより、自治会・自主防災組織・民生委員・消防などの防災関係機関がその情報を保有し、災害発生時に要支援者に対して救出や避難誘導、安否確認などを速やかに行えるようにするための制度。**

**保育所等訪問支援／保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービス。**

**放課後等デイサービス／学校の授業終了後や休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービス。**

## **や行**

**要約筆記者の派遣／聴覚障がい者に、話の内容をその場で文字にして伝える筆記通訳をする人を派遣するもの。**

## ら行

リハビリテーション／機能訓練、日常生活訓練、言語訓練など、日常生活や社会生活に必要な各種の訓練・指導を行い、その機能の更生または維持をめざすもの。

療養介護／医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービス。

---

**重層的支援体制整備事業のための福祉事業等意向調査  
及び鳩山町障害者福祉計画策定のための  
アンケート調査 調査結果報告書**

令和5年2月

鳩山町 長寿福祉課  
〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸 184 番地 16  
電話:049-296-1241 FAX:049-296-3390

---